

569. 1-N77-2ウ



1200500746987

569.1
7



始



569.1
N77
Z



鑛業法令及關係法規

(昭和十六年
五月現行)



法人團
日本鑛山協會發行

918
97

目次

一、鑛業法	一
一、鑛業法中改正法律ノ一部施行期日ノ件	元
一、鑛業法施行細則	元
一、採掘出願ニ關シ鑛山監督局長ヘ委任ノ件	九
一、砂鑛法	九
一、砂鑛法中改正法律施行期日ノ件	一〇
一、砂鑛法施行細則	一五
一、產金法	一六
一、產金法施行令	一七
一、產金法施行規則	一八
一、產金獎勵規則	一九
一、鑛區稅法	二〇
一、登錄稅法(拔萃)	二二
一、登錄稅法施行規則(拔萃)	二六
一、鑛業登錄令	二九
一、鑛業登錄令施行細則	三四

目次

一



一、試掘權ノ存續期間延長登錄ニ關スル件	三〇〇
一、砂鑛業登錄ニ關スル件	三〇〇
一、砂鑛業登錄ニ關スル細則	三〇三
一、鑛業警察規則	三〇〇
一、鑛業警察規則係員ノ資格ノ特例ニ關スル件	三〇一
一、石炭坑爆發取締規則	二八三
一、石炭坑用爆藥類及機械器具取締規則	二八七
一、石炭坑用爆藥類及機械器具檢定規則	二九〇
一、石炭増産獎勵金交付規則	三〇五
一、石炭山新坑開發助成金交付規則	三〇〇
一、探鑛獎勵金交付規則	三〇八
一、鑛山機械化獎勵規則	三三〇
一、重要鑛物増産法	三三五
一、重要鑛物増産法施行期日ノ件	三四〇
一、重要鑛物増産法施行令	三四〇
一、重要鑛物増産法施行規則	三四〇
一、重要鑛物増産法施行規則	三四三
一、石油資源開發法	三四六
一、石油資源開發法施行規則	三四九

一、鑛夫就業扶助規則	三五六
一、鑛夫就業扶助規則中ノ特例ニ關スル件	三九三
一、砂鑛業ニ於ケル雇傭就業規則及砂鑛夫名簿等ニ關スル件	三九五
一、勞働者年金保險法	三九六
一、健康保險法	四二三
一、健康保險法施行令	四二三
一、健康保險法施行規則	四六一
一、工業勞働者最低年齡法	五四一
一、工業勞働者最低年齡法施行規則	五四三
一、臨時租稅措置法	五四四
一、臨時租稅措置法施行規則	五四九
一、臨時資金調整法	五四七
一、臨時資金調整法施行令	五四三
一、臨時資金調整法施行細則(略)	五四八
一、從業者移動防止令	五四八
一、從業者移動防止令施行規則(略)	五七四
一、勞働者災害扶助法	五七五
一、勞働者災害扶助法施行令	五七九

- 一、勞働者災害扶助法施行規則(略)..... 五八六
- 一、鑛石配給規則..... 五八六
- 一、鑛業調査規則..... 五九〇
- 一、退職積立金及退職手当法..... 六〇三
- 一、退職積立金及退職手当法施行令..... 六〇四
- 一、退職積立金及退職手当法施行規則..... 六〇三
- 一、銃砲火藥類取締法(拔萃)..... 六〇六
- 一、銃砲火藥類取締法施行規則(拔萃)..... 六〇七
- 一、銃砲火藥類取締法施行細則(拔萃)..... 六〇三
- 一、軍機保護法(拔萃)..... 六〇三
- 一、軍機保護法施行規則(陸軍)(拔萃)..... 六〇四
- 一、軍機保護法施行規則(海軍)(拔萃)..... 六〇八
- 一、要塞地帶法(拔萃)..... 六一
- 一、要塞地帶法施行規則(陸軍)(拔萃)..... 六一
- 一、要塞地帶法施行規則(海軍)(拔萃)..... 六〇四
- 一、軍港要港ニ關スル件..... 六一
- 一、軍港要港規則(拔萃)..... 六一
- 一、鑛業特設電話規則..... 六一

- 一、陸軍輸送港域軍事取締法(拔萃)..... 六一〇
- 一、陸軍輸送港域軍事取締法施行規則(拔萃)..... 六一
- 一、鑛山監督局ノ名稱及管轄區域..... 六一

鑛業法

明治三十八年三月
法律第四十五號

改正

明治四〇年第一號、四三年第一〇號、四四年第九號、大正一
三年第二二號、昭和二年第三六號、六年第六五號、九年第三七
號、一〇年第二四號、一四年第二三號、一五年第三一號、第一
〇二號

第一章 總 則

第一條 本法ニ於テ鑛業ト稱スルハ鑛物ノ試掘、採掘及之ニ附屬スル事業ヲ謂フ

第二條 本法ニ於テ鑛物ト稱スルハ金鑛、銀鑛、銅鑛、鉛鑛、蒼鉛鑛、錫鑛、安質母尼鑛、水銀鑛、
亜鉛鑛、鐵鑛、硫化鐵鑛、格魯謨鐵鑛、滿俺鑛、重石鑛、水鉛鑛、砒鑛、ニツケル鑛、コバルト
鑛、燐鑛、黑鉛、石炭、亜炭、石油、土瀝青、硫黃、石膏、重晶石、明礬石、螢石及石綿ヲ謂フ
但シ砂鑛ハ此ノ限ニ在ラス

炭化水素ヲ主成分トスル天然瓦斯ハ之ヲ石油ト看做ス但シ工業用其ノ他ノ營利ヲ目的トセスシテ
單ニ一家ノ自用ニ供スルモノニハ本法ヲ適用セス

第三條 未タ採掘セサル鑛物（廢鑛及鑛滓ヲ含ム）ハ國ノ所有トス

第四條 本法ニ於テ鑛業權ト稱スルハ試掘權及採掘權ヲ謂フ

鑛業權者ハ鑛區ニ於テ其ノ許可ヲ受ケタル鑛物ヲ掘採シ及之ヲ取得スル權利ヲ有ス但シ鑛區ノ重
複シタル場合ニ於テハ鑛業權者ハ互ニ其ノ權利ヲ制限セラル

第五條 帝國臣民又ハ帝國法律ニ從ヒ成立シタル法人ニ非サレハ鑛業權者トナルコトヲ得ス

第六條 本法ニ規定シタル鑛業權者ノ權利義務ハ鑛業權ト共ニ移轉ス

本法ノ規定ニ依リ爲シタル手續其ノ他ノ行爲ハ鑛業ヲ出願セムトスル者、鑛業出願人、鑛業權者、土地所有者又ハ關係人ノ承繼人ニ對シテモ其ノ效力ヲ有ス

第七條 二人以上共同シテ鑛業ヲ爲シ又ハ之ヲ爲サムトスルトキハ内一人ヲ選定シテ代表者ト爲シ鑛山監督局長ニ届出ヘシ代表者ヲ變更シタルトキ亦同シ

鑛山監督局長必要アリト認メタルトキハ共同鑛業出願人又ハ共同鑛業權者ニ代表者ノ變更ヲ命スルコトヲ得

第一項前段ノ規定ニ依ル届出ヲ爲サス又ハ前項ノ規定ニ依ル命令ニ從ハサルトキハ鑛山監督局長ハ代表者ヲ指定ス

代表者ハ國ニ對シ共同鑛業出願人又ハ共同鑛業權者ヲ代表ス
共同鑛業出願人又ハ共同鑛業權者ハ組合契約ヲ爲シタル者ト看做ス

第八條 本法ニ於テ鑛夫ト稱スルハ鑛業ニ從事スル勞働者ヲ謂フ
第九條 本法ニ於テ鑛區ト稱スルハ鑛業權ノ登録ヲ得タル土地ノ區域ヲ謂フ

鑛區ノ境界ハ直線ヲ以テ之ヲ定メ地表境界線ノ直下ヲ限トス其ノ面積ハ石炭ニ在リテハ五萬坪以上其ノ他ノ鑛物ニ在リテハ五千坪以上トシ共ニ百萬坪ヲ超ユルコトヲ得ス但シ鑛利保護上又ハ鑛區分合上已ヲ得サル場合ニハ百萬坪ヲ超ユルコトヲ得
同一ノ鑛區ニ於テハ二以上ノ鑛業權ヲ設定スルコトヲ得ス但シ其ノ目的異種ノ鑛物ナルトキ及第

三十六條ノ場合ハ此ノ限ニ在ラス

第十條 宮城、離宮、神宮及皇陵ノ周圍三百間以内ノ場所ハ之ヲ鑛區ト爲スコトヲ得ス
陸海軍所轄ノ軍港、要港、火藥製造所、火藥庫及彈藥庫ノ周圍三百間以内、要塞地帶第一區及第二區内並陸軍輸送港域第一區内ノ場所ハ所轄官廳ノ認可ヲ受クルニ非サレハ之ヲ鑛區ト爲スコトヲ得ス

前二項ニ掲ケタル場所ハ所轄官廳ノ許可ヲ受クルニ非サレハ鑛業ノ爲之ヲ使用スルコトヲ得ス

第十一條 鐵道、軌道、道路、運河、河川、沼池、隄塘、社寺境内地、墓地、公園地其ノ他ノ營造物及建物ノ地表地下トモ其ノ周圍三十間以内ノ場所ニ於テハ所轄官廳ノ許可、所有者及關係人ノ承諾ヲ受クルニ非サレハ鑛業ヲ爲スコトヲ得ス但シ所有者及關係人ハ正當ノ理由ナクシテ其ノ承諾ヲ拒ムコトヲ得ス

第十二條 鑛業出願地又ハ鑛區ノ訂正、増減及改正ノ出願ニ付テハ鑛業ノ出願ニ關スル規定ヲ準用ス

第十三條ノ二 主務大臣及鑛山監督局長ハ鑛業權者ニ對シ鑛業ニ關シ心要ナル報告ヲ爲サシメ又ハ當該官吏ヲシテ事業場、事務所其ノ他必要ナル場所ニ臨檢シ業務ノ狀況若ハ帳簿書類其ノ他ノ物件ヲ検査セシムルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ當該官吏ヲシテ臨檢検査セシムル場合ニ於テハ其ノ身分ヲ示ス證票ヲ携帯セシムヘシ

第十三條 削除

第十四條 本法ハ第九章ノ規定ヲ除クノ外國ノ鑛業ニ之ヲ適用ス

第十四條ノ二 主務大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ本法ニ依ル職權ノ一部ヲ鑛山監督局長ニ委任スルコトヲ得

第二章 鑛業權

第十五條 鑛業權ハ物權トシ不動産ニ關スル規定ヲ準用ス但シ民法第七十九條第一項ノ規定ハ此ノ限ニ在ラス

第十六條 鑛業權ハ不可分トス

第十七條 鑛業權ハ相續、讓渡、滯納處分及強制執行ノ目的タルノ外權利ノ目的タルコトヲ得ス但シ探掘權ハ抵當權ノ目的ト爲スコトヲ得

第十八條 試掘權ノ存續期間ハ登録ノ日ヨリ四箇年トス

前項ノ期間ハ鑛區ノ増減又ハ改正ノ爲變更セラレルコトナシ

第十九條 鑛業權及抵當權ノ設定、變更、移轉、消滅並處分ノ制限ハ鑛業原簿ニ登録ス共同鑛業權者ノ脱退ニ付テモ亦同シ但シ鑛業權ノ處分ヲ制限セラレタルトキハ廢業ノ登録ヲ爲スコトヲ得ス前項ノ登録ハ登記ニ代ルモノトス

第二十條 前條第一項ニ掲ケタル事項ハ相續、死亡ニ因ル共同鑛業權者ノ脱退、期限ノ到來ニ因ル鑛業權ノ消滅並第四十二條及第四十三條ノ競賣ノ場合ヲ除クノ外登録ヲ爲スニ非サレハ其ノ效力ヲ生セス

第二十一條 鑛業ヲ爲サムトスル者ハ願書ニ鑛區圖ヲ添ヘ試掘ニ付テハ鑛山監督局長、探掘ニ付テハ主務大臣ニ出願スヘシ

第二十二條 鑛業出願人ハ名義ノ變更ヲ爲スコトヲ得此ノ場合ニ於テハ試掘ニ付テハ鑛山監督局長、探掘ニ付テハ主務大臣ニ届出ヲ爲スニ非サレハ其ノ效力ヲ生セス

第二十三條 探掘出願人ハ出願地ニ其ノ探掘セムトスル鑛物ノ存在スルコトヲ證明スヘシ

第二十四條 主務大臣ニ於テ試掘出願地探掘ニ適スルモノト認メタルトキハ探掘ノ出願ヲ命スヘシ前項ノ場合ニ於テ命令書到達ノ日ヨリ三十日以内ニ探掘ノ出願ヲ爲ササルトキハ試掘ノ出願ハ之ヲ許可セス

前二項ノ規定ハ主務大臣ニ於テ探掘出願地試掘ヲ要スルモノト認メタル場合(第二十九條ノ二ノ場合ヲ除ク)ニ之ヲ準用ス

第二十五條 探掘出願地ノ位置形狀鑛床ノ位置形狀ト相違シ鑛利ヲ損スルモノト認メタルトキハ主務大臣ハ其ノ訂正ノ出願ヲ命スヘシ

前項ノ場合ニ於テ命令書到達ノ日ヨリ三十日以内ニ訂正ノ出願ヲ爲ササルトキハ探掘ノ出願ハ之ヲ許可セス

第二十六條 探掘出願地ノ位置形狀鑛床ノ位置形狀ト相違シ鑛利ヲ損スルモノト認メタルトキハ探掘出願人ハ其ノ訂正ヲ出願スルコトヲ得

第二十七條 鑛業出願人ハ出願地ノ増減ヲ出願スルコトヲ得

第二十八條 試掘出願地出願ノ當時鑛區ト重複スル場合ニ於テ同種ノ鑛物ナルトキハ其ノ重複スル

部分ニ付テハ其ノ出願ヲ許可セス

第二十九條 採掘出願地出願ノ當時他人ノ鑛區ト重複スル場合ニ於テ同種ノ鑛物ナルトキハ其ノ重複スル部分ニ付テハ其ノ出願ヲ許可セス但シ第三十六條ノ場合ハ此ノ限ニ在ラス

第二十九條ノ二 採掘出願地出願ノ當時其ノ出願人ノ同種ノ鑛物ノ試掘鑛區ト重複スル場合ニ於テ其ノ重複スル部分仍試掘ヲ要スルモノト認メタルトキハ其ノ部分ニ付テハ其ノ出願ヲ許可セス

第二十九條ノ三 試掘鑛區ノ存續期間滿了前消滅シ又ハ試掘鑛區ノ減少アリタル場合ニ於テ其ノ試掘鑛ノ殘存スヘカリシ期間又ハ殘存スル期間内(其ノ期間六十日ヲ超ユルトキハ試掘鑛ノ消滅又ハ試掘鑛區ノ減少ノ日ヨリ六十日以内)ニ同種ノ鑛物ニ付鑛業ノ出願ヲ爲シタルトキハ舊試掘鑛區又ハ減少部分ニ該當スル部分ニ付テハ其ノ出願ヲ許可セス

前項ノ試掘鑛ノ消滅又ハ試掘鑛區ノ減少ハ命令ノ定ムル所ニ依リ公示ス

第三十條 採掘出願地他人ノ試掘出願地ト重複スル場合ニ於テ同種ノ鑛物ナルトキハ其ノ重複スル部分ニ付テハ第二十四條第一項及第二項ノ規定ヲ準用ス

第三十一條 鑛業出願地他人ノ異種ノ鑛物ノ鑛區ト重複スル場合ニ於テ他人ノ鑛業ニ妨害アリト認メタルトキハ其ノ妨害アリト認メタル部分ニ付テハ其ノ出願ヲ許可セス

第三十二條 公益ヲ害スルモノト認メタルトキ又ハ鑛業ノ價值ナシト認メタルトキハ鑛業ノ出願ヲ許可セス

第三十三條 試掘出願地又ハ採掘出願地重複スルトキハ其ノ重複スル部分ニ付テハ願書發送ノ日時ノ先ナル者優先權ヲ有ス願書發送ノ日時同一ナルトキハ鑛山監督局長ハ之ヲ各出願人ニ通知スヘ

シ此ノ場合ニ於テハ出願人ハ其ノ通知書發送ノ日ヨリ六十日以内ニ協議ヲ調ヘ之ヲ届出ヘシ出願人前項ノ届出ヲ爲ササルトキハ抽籤ニ依リ優先權者ヲ定ム

前二項ノ規定ハ第二十五條、第二十六條及第三十六條ノ場合ニハ之ヲ適用セス
試掘出願地採掘出願地ト重複スル場合ニ於テ願書發送ノ日時同一ナルトキハ其ノ重複スル部分ニ付テハ採掘出願人ハ優先權ヲ有ス

第三十四條 試掘出願人同種ノ鑛物ニ付更ニ採掘ノ出願ヲ爲シタル場合ニ於テ出願地重複スルトキハ其ノ重複スル部分ニ付テハ採掘ノ出願ハ試掘願書發送ノ日時ニ於テ試掘ノ出願ニ代リタルモノト看做ス但シ第三十三條第四項ノ場合ハ此ノ限ニ在ラス

前項本文ノ規定ハ採掘出願人同種ノ鑛物ニ付更ニ試掘ノ出願ヲ爲シタル場合ニ之ヲ準用ス但シ試掘者其ノ鑛區ニ付採掘ノ出願ヲ爲シタル場合ニ於テ其ノ試掘權消滅後更ニ試掘ノ出願ヲ爲シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

前二項ノ規定ハ第二十四條及第二十五條ノ場合ニ於ケル期限經過後ノ出願ニ之ヲ適用セス

第三十五條 採掘權者ハ鑛區ノ合併又ハ分割ヲ主務大臣ニ出願スルコトヲ得鑛區ノ一部ヲ分割シテ之ヲ他ノ鑛區ニ合併セムトスルトキ亦同シ

抵當權ノ設定アル場合ニ於テ前項ノ出願ヲ爲サムトスルトキハ抵當權者ノ承諾及抵當權ノ順位ニ關スル協定ヲ經ヘシ

第三十六條 鑛業權者ハ隣接鑛區ノ鑛業權者及抵當權者ノ承諾ヲ得タルトキハ其ノ鑛區ニ掘進スル爲増區ヲ出願スルコトヲ得

鑛床ノ位置形狀ニ依リ鄰接鑛區ニ掘進スルニ非サレハ鑛利ヲ保護スル能ハサル場合ニ於テハ其ノ鑛業權者ノ承諾ヲ得テ鑛區ノ訂正ヲ出願スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ鑛業權者ハ正當ノ理由ナクシテ其ノ承諾ヲ拒ムコトヲ得ス

前二項ノ出願ヲ爲サムトスル者ハ其ノ願書ニ鑛區圖ノ外鑛床圖ヲ添附スヘシ
前項ノ鑛床圖ハ之ヲ鑛區圖ノ一部ト看做ス

第三十七條 第二十四條第一項、第二十五條第一項、第二十六條、第二十七條及第三十三條第三項ノ規定ハ之ヲ鑛區ニ準用ス

第二十四條 第一項又ハ第二十五條第一項ニ該當スル場合ニ於テ命令書到達ノ日ヨリ三十日以内ニ出願ヲ爲ササルトキハ主務大臣ハ鑛業權ヲ取消スヘシ

抵當權ノ設定アル場合ニ於テ鑛區ノ減少ヲ出願セムトスルトキハ豫メ抵當權者ノ承諾ヲ經ヘシ

第三十八條 錯誤ニ因リ鑛業ノ出願ヲ許可シタルトキハ主務大臣ハ鑛區ノ改正ヲ命シ又ハ鑛業權ヲ取消スヘシ
前項ノ改正ヲ命シタル場合ニ於テ命令書到達ノ日ヨリ三十日以内ニ出願ヲ爲ササルトキハ主務大臣ハ鑛業權ヲ取消スヘシ

第三十九條 鑛業公益ヲ害スルモノト認メタルトキハ主務大臣ハ鑛業權ヲ取消スヘシ

第四十條 鑛業權者正當ノ理由ナクシテ登録ノ日ヨリ一箇年以内ニ事業ニ着手セス若ハ一箇年以上休業シタルトキ又ハ施業案ニ依ラスシテ探掘ヲ爲シタルトキハ主務大臣ハ鑛業權ヲ取消スコトヲ得

第四十一條 鑛業權者第四十三條ノ三、第七十二條若ハ第七十四條ノ四第三項ノ命令ニ從ハサルトキ又ハ鑛區稅ヲ納メサルトキハ主務大臣ハ鑛業權ヲ取消スコトヲ得

第四十二條 探掘權取消ノ登録アリタルトキハ鑛山監督局長ハ直ニ之ヲ抵當權者ニ通知スヘシ

抵當權者ハ前項ノ通知ヲ受ケタル日ヨリ三十日以内ニ探掘權ノ競賣ヲ請求スルコトヲ得但シ第三十八條第一項及第三十九條ノ規定ニ依ル探掘權取消ノ場合ハ此ノ限ニ在ラス
探掘權ハ前項ノ期間内又ハ競賣ノ手續完結ノ日迄競賣ノ目的ノ範圍内ニ於テ仍存續スルモノト看做ス

競賣ニ依ル賣得金ハ競賣ノ費用及抵當權者ニ對スル債務ノ辨濟ニ充テ其ノ殘金ハ國庫ニ歸屬ス
競買人ハ探掘權取消ノ登録アリタル時ニ於テ探掘權ヲ讓受ケタルモノト看做ス

第四十三條 前條ノ規定ハ探掘權者廢業シタル場合ニ之ヲ準用ス

第四十三條ノ二 異種ノ鑛物ノ鑛區重複スルトキハ其ノ重複スル部分ニ付鑛業權ノ設定又ハ増區ニ因ル變更ノ登録ヲ得タル日ノ後ナル者ハ其ノ先ナル者ノ承諾ヲ受クルニ非サレハ其ノ部分ニ於テ鑛業ヲ爲スコトヲ得ス但シ鑛業權ノ設定又ハ増區ニ因ル變更ノ登録ヲ得タル日ノ先ナル者ハ正當ノ理由ナクシテ其ノ承諾ヲ拒ムコトヲ得

異種ノ鑛物ノ鑛區重複スル場合ニ於テ其ノ重複スル部分ニ付鑛業權ノ設定又ハ増區ニ因ル變更ノ登録ヲ得タル日同日ナルトキハ鑛業權者ハ其ノ部分ニ於ケル鑛業ニ付協議ヲ爲スヘシ

試掘權者試掘權存續期間中同種ノ鑛物ニ付探掘ノ出願ヲ爲シ其ノ許可ヲ得タルトキハ前二項ノ規定ノ適用ニ付テハ探掘鑛區ノ中舊試掘鑛區ニ該當スル部分ニ限り試掘權ノ設定又ハ増區ニ因ル變

更ノ登録ノ日ヲ以テ夫々ノ部分ニ付探掘權ノ設定又ハ増區ニ因ル變更ノ登録ノ日ト看做ス
鑛區ノ合併又ハ分割アリタルトキハ第一項及第二項ノ規定ノ適用ニ付テハ合併又ハ分割ニ因リ消
滅シタル探掘權ノ設定又ハ増區ニ因ル變更ノ登録ノ日ヲ以テ夫々ノ部分ニ付合併又ハ分割ニ因ル
探掘權設定ノ登録ノ日ト看做ス

第四十三條ノ三 鑛區他人ノ異種ノ鑛物ノ鑛區ト重複スル場合ニ於テ其ノ重複スル部分ニ於ケル鑛
業他人ノ鑛業ニ妨害アリト認メタルトキハ主務大臣ハ鑛業權者ニ其ノ妨害ノ排除又ハ鑛業ノ停止
ヲ命スルコトヲ得

第四十四條 探掘權者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ施業案ヲ定メ鑛山監督局長ノ認可ヲ受クヘシ之ヲ變
更セムトスルトキ亦同シ

探掘權者ハ施業案ニ依ルニ非サレハ探掘ヲ爲スコトヲ得ス

第四十五條 鑛山監督局長ハ理由ヲ示シテ施業案ノ變更ヲ命スルコトヲ得

第四十六條 探掘權者ハ命令ノ定ムル所ニ從ヒ坑内實測圖及鑛業簿ヲ鑛業事務所ニ備置キ且其ノ複
本ヲ鑛山監督局長ニ差出スヘシ

第四十七條 鑛業權者ハ命令ノ定ムル所ニ從ヒ鑛業ニ關スル明細表ヲ鑛山監督局長ニ差出スヘシ
第四十八條 試掘ニ依リテ得タル鑛產物ハ鑛山監督局長ノ許可ヲ受クルニ非サレハ之ヲ處分スルコ
トヲ得ス

第四十九條 鄰接鑛業權者其ノ他ノ利害關係人ハ他人ノ鑛區ニ付鑛山監督局長ニ其ノ實地調査ヲ出
願スルコトヲ得

出願人ハ前項ノ調査ニ要スル人夫及物品ヲ供スヘシ

第三章 土地使用

第五十條 本章ニ於テ關係人ト稱スルハ第五十二條乃至第五十四條及第五十六條ノ通知前使用又ハ
收用スヘキ土地ニ關シテ權利ヲ有スル者及其ノ通知後ニ於テ通知前ヨリ既存セル權利ヲ承繼シタ
ル者ヲ謂フ

第五十一條 本章ニ於テ補償金ト稱スルハ對價、使用料其ノ他土地所有者及關係人ノ通常受クヘキ
損失ニ對スル補償金ヲ總稱ス

第五十二條 鑛業ノ出願又ハ鑛業ノ爲必要アルトキハ鑛業ヲ出願セムトスル者、鑛業出願人又ハ鑛
業權者ハ鑛山監督局長ノ許可ヲ得テ他人ノ土地ニ立入り測量又ハ検査ヲ爲スコトヲ得

前項ノ許可ヲ得タル者他人ノ土地ニ立入ラムトスルトキハ豫メ土地占有者ニ通知スヘシ

第五十三條 前條ノ規定ニ依ル測量又ハ検査ノ爲必要アルトキハ鑛山監督局長ノ許可ヲ得テ障礙物
ヲ除却スルコトヲ得

前項ノ許可ヲ得タル者障礙物ヲ除却セムトスルトキハ豫メ其ノ所有者及占有者ニ通知スヘシ

第五十四條 鑛業上急迫ノ危険ヲ防ク爲必要アルトキハ鑛業權者ハ鑛山監督局長ノ許可ヲ得テ直ニ
他人ノ土地ニ立入り又ハ之ヲ使用スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ鑛業權者ハ遲滞ナク之ヲ土地占有者ニ通知スヘシ

第五十五條 前三條ニ依リ所有者及關係人ノ受ケタル損失ニ對シテハ其ノ請求ニ因リ補償金ヲ拂渡
スヘシ

第五十六條 鑛業權者ハ左ニ掲クル目的ノ爲必要アルトキハ他人ノ土地ヲ使用スルコトヲ得

- 一 鑛孔又ハ坑口ノ開穿
 - 二 鑛物、土石、爆發藥、用材、薪炭、鑛滓又ハ灰燼ノ置場ノ設置
 - 三 選鑛場又ハ製鍊場ノ建設
 - 四 鐵道、軌道、道路、運河、溝渠、管樋、池井、索道又ハ電線ノ開設
 - 五 其ノ他鑛業上必要ナル工事又ハ工作物ノ施設
- 前項ノ規定ニ依リ鑛業權者他人ノ土地ヲ使用セムトスルトキハ鑛山監督局長ノ許可ヲ受クヘシ
鑛山監督局長前項ノ許可ヲ與ヘタルトキハ之ヲ土地所有者及關係人ニ通知スヘシ
前項ノ通知ノ後鑛業權者ハ其ノ土地ニ關スル權利ヲ取得スル爲土地所有者及關係人ニ協議ヲ爲スヘシ

第五十七條 土地ノ使用三箇年以上ニ亙ルトキ又ハ土地ノ形質ヲ變更スルトキハ所有者ハ其ノ收用ヲ請求スルコトヲ得

第五十八條 土地ノ一部ヲ收用スルニ因リテ殘地ヲ從來用キタル目的ニ供スルコト能ハサルトキハ土地所有者ハ其ノ全部ノ收用ヲ請求スルコトヲ得

第五十九條 土地ヲ使用又ハ收用スルトキハ土地所有者及關係人ニ補償金ヲ拂渡スヘシ

第六十條 土地ノ一部ヲ使用又ハ收用スルニ因リテ殘地ノ價格ヲ減シ其ノ他殘地ニ關シ損失ヲ生スヘキトキハ其ノ補償金ヲ拂渡スヘシ

第六十一條 土地ヲ使用又ハ收用スルニ因リテ通路、溝渠、塙柵其ノ他ノ工作物ノ新築、改築、増

築又ハ修繕ヲ爲スノ必要ヲ生スルトキハ其ノ補償金ヲ拂渡スヘシ

第六十二條 第五十六條ノ通知ノ後土地ノ形質ヲ變更シ工作物ノ新築、改築、増築若ハ大修繕ヲ爲シ又ハ物件ヲ附加増置セムトスルトキハ土地所有者又ハ關係人ハ鑛山監督局長ノ許可ヲ受クヘシ許可ヲ受ケスシテ之ヲ爲シタル者ハ之ニ關スル補償金ヲ請求スルコトヲ得

第六十三條 第五十六條ノ通知ノ後事業ヲ廢止又ハ變更シタルニ因リテ土地所有者又ハ關係人ノ受ケタル損失ニ對シ鑛業權者ハ其ノ補償金ヲ拂渡スヘシ

第六十四條 土地所有者及關係人ハ鑛業權者ヲシテ補償金ニ付相當ノ擔保ヲ供セシムルコトヲ得

第六十五條 土地ノ使用又ハ收用ノ協議調ヒ裁決確定シ又ハ判決アリタルトキハ補償金又ハ擔保ノ裁決確定セサルトキト雖鑛業權者ハ其ノ裁決ニ依ル補償金ヲ供託シ又ハ擔保ヲ供シテ土地ヲ使用又ハ收用スルコトヲ得

第六十六條 鑛業權者補償金ノ拂渡若ハ供託ヲ爲サス又ハ擔保ヲ供セサルトキハ土地所有者及關係人ハ土地ヲ用ウルコトヲ拒ムコトヲ得

第六十七條 土地ヲ收用スルトキハ收用ノ時期ニ於テ所有權ハ鑛業權者之ヲ取得シ其ノ他ノ權利ハ消滅ス

土地ヲ使用スルトキハ其ノ權利ハ使用ノ時期ニ於テ鑛業權者之ヲ取得シ其ノ他ノ權利ハ使用ノ期間其ノ行使ヲ停止セラル但シ使用ヲ妨ケサルモノハ此ノ限ニ在ラス

第六十八條 土地ノ使用ヲ終リタルトキハ鑛業權者ハ土地ヲ原狀ニ復シ又ハ原狀ニ復セサルニ因リテ生スル損失ニ對シ補償金ヲ拂渡シテ之ヲ返還スヘシ

第六十九條 先取特權、質權又ハ抵當權ハ其ノ目的物ノ使用又ハ收用ニ因リテ債務者ノ受クヘキ補償金ニ對シテモ之ヲ行フコトヲ得但シ其ノ拂渡前ニ差押ヲ爲スヘシ

第七十條 土地ノ使用及收用ニ關スル規定ハ水ノ使用ニ關スル權利ニ之ヲ準用ス

第四章 鑛業警察

第七十一條 鑛業ニ關スル左ノ警察事務ハ命令ノ定ムル所ニ依リ主務大臣及鑛山監督局長之ヲ行フ

一 建設物及工作物ノ保安

二 生命及衛生ノ保護

三 危害ノ豫防其ノ他公益ノ保護

第七十二條 鑛業上危険ノ虞アリ又ハ公益ヲ害スルノ虞アリト認メタルトキハ主務大臣ハ鑛業權者

ニ其ノ豫防又ハ鑛業ノ停止ヲ命スヘシ

急迫ノ危険ヲ防ク爲必要アルトキハ鑛山監督局長ハ前項ノ處分ヲ爲スコトヲ得

第七十三條 主務大臣ハ採掘權者ニ技術ニ關スル管理者ノ選任又ハ改任ヲ命スルコトヲ得

管理者ノ資格及職務ニ關スル規程ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第七十四條 鑛業權消滅シタル後ト雖五箇年間ハ主務大臣及鑛山監督局長ハ第七十二條ノ規定ニ準

シ其ノ鑛業權ヲ有セシ者ニ對シテ危害豫防ニ關スル設備ヲ爲スヘキコトヲ命スルコトヲ得

前項ノ命令ヲ受ケタル者ハ危害豫防ノ目的ノ範圍内ニ於テ鑛業權者ト看做ス

第五章 鑛害ノ賠償

第七十四條ノ二 鑛物掘採ノ爲ノ土地ノ掘鑿、坑水廢水ノ放流、捨石鑛滓ノ堆積又ハ鑛煙ノ排出ニ

因リテ他人ニ損害ヲ與ヘタルトキハ損害發生ノ時ニ於ケル當該鑛區ノ鑛業權者、損害發生ノ時鑛業權消滅セル場合ニ於テハ鑛業權消滅ノ時ニ於ケル當該鑛區ノ鑛業權者其ノ損害ヲ賠償スル責ニ任ス

前項ノ場合ニ於テ損害カニ以上ノ鑛區ノ鑛業權者ノ作業ニ因リテ生シタルトキハ各鑛業權者ハ連帶シテ損害ヲ賠償スル義務ヲ負フ損害カニ以上ノ鑛區ノ鑛業權者ノ作業ノ中孰レニ因リテ生シタルカヲ知ルコト能ハサルトキ亦同シ

前二項ノ場合ニ於テ損害發生ノ後鑛業權者其ノ鑛業權ヲ讓渡シタルトキハ損害發生ノ時ノ鑛業權者及其ノ後ノ鑛業權者ハ連帶シテ損害ヲ賠償スル義務ヲ負フ

前三項ノ賠償ニ付テハ共同鑛業權者ノ義務ハ連帶トス

第七十四條ノ三 前條第二項ノ連帶債務者相互ノ間ニ於テハ其ノ各自ノ負擔部分ハ相均シキモノト推定ス

前條第三項ノ場合ニ於テ鑛業權ヲ讓受ケタル者賠償ノ義務ヲ履行シタルトキハ損害發生ノ時ノ鑛業權者ニ對シ償還ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第七十四條ノ四 石炭ヲ目的トスル鑛業權者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ石炭掘採ノ爲ノ土地ノ掘鑿ニ因リテ生スヘキ損害ノ賠償ヲ擔保スル爲其ノ掘採シタル石炭ノ數量ニ應シ毎年一定額ノ金錢ヲ供託スヘシ但シ金錢ニ代ヘ其ノ金額ニ相當スル國債ヲ供託スルコトヲ妨ケス

前項ノ規定ハ國ノ鑛業ニ之ヲ適用セス

石炭ヲ目的トスル鑛業權者第一項ノ供託ヲ怠リタルトキハ主務大臣ハ鑛業ノ停止ヲ命スルコトヲ

得

第七十四條ノ五 石炭掘採ノ爲ノ土地ノ掘鑿ニ因リテ損害ヲ被リタル者ハ其ノ損害賠償請求權ニ關シ前條第一項ノ供託物ニ付他ノ債權者ニ先チ辨濟ヲ受クルノ權利ヲ有ス
前項ノ權利ノ實行ニ關シ必要ナル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第七十四條ノ六 石炭ヲ目的トスル鑛業權者其ノ鑛業權ヲ讓渡シタルトキハ第七十四條ノ四第一項ノ供託物ニ對スル權利ハ讓受人ニ移轉ス

第七十四條ノ七 石炭ヲ目的トスル鑛業權者又ハ鑛業權者タリシ者ハ左ノ場合ニ限り命令ノ定ムル所ニ依リ第七十四條ノ四第一項ノ供託物ヲ取戻スコトヲ得

一 石炭掘採ノ爲ノ土地ノ掘鑿ニ因リテ生シタル損害ヲ賠償シタルトキ

二 鑛業權消滅後十箇年ヲ經ルモイ炭掘採ノ爲ノ土地ノ掘鑿ニ因ル損害ノ生セサトキ

第七十四條ノ八 損害ノ賠償ハ金錢ヲ以テ之ヲ爲ス但シ賠償金額ニ比シ著シク多額ノ費用ヲ要セスシテ原狀ノ回復ヲ爲スコトヲ得ルトキハ被害者ハ原狀ノ回復ヲ請求スルコトヲ得

賠償義務者ノ申立アリタル場合ニ於テ裁判所適當ト認ムルトキハ前項ノ規定ニ拘ラス金錢ノ賠償ニ代ヘ原狀ノ回復ヲ命スルコトヲ得

第七十四條ノ九 損害ノ發生ニ關シ被害者ニ責ムヘキ事由アリタルトキハ裁判所ハ損害賠償ノ責任及範圍ヲ定ムルニ付之ヲ斟酌スルコトヲ得損害ノ發生ニ關シ天災其ノ他ノ不可抗力ノ競合シタルトキ亦同シ

第七十四條ノ十 損害賠償ノ額カ豫定セラレタル場合ニ於テ其ノ額カ著シク不當ナルトキハ當事者

ハ之カ増減ヲ請求スルコトヲ得

第七十四條ノ十一 損害賠償請求權ハ被害者カ損害及賠償義務者ヲ知リタル時ヨリ三箇年間之ヲ行ハサルトキハ時効ニ因リテ消滅ス損害發生ノ時ヨリ二十箇年ヲ經過シタルトキ亦同シ
前項ノ期間ハ進行中ノ損害ニ付テハ其ノ進行ノ止ミタル時ヨリ之ヲ起算ス

第七十四條ノ十二 鑛害ノ賠償ニ關シ爭議ノ生シタルトキハ當事者ハ損害ノ發生地ヲ管轄スル地方裁判所又ハ當事者ノ合意ニ依リテ定ムル地方裁判所ニ調停ノ申立ヲ爲スコトヲ得

裁判所又ハ當事者ノ合意ニ依リテ定ムル地方裁判所ニ調停ノ申立ヲ爲スコトヲ得
小作調停法第二條、第六條、第十條、第十二條乃至第十五條、第二十一條、第二十二條、第二十四條乃至第二十八條、第二十九條第一項、第三十條乃至第三十五條、第三十七條乃至第四十條及第四十八條、借地借家調停法第四條ノ二、第十條、第十八條及第二十九條乃至第三十一條、金錢債務臨時調停法第六條第一項第四項、商事調停法第一條第二項第三項、第四條及第五條並人事調停法第六條及第十條ノ規定ハ前項ノ調停ニ之ヲ準用ス

第七十四條ノ十三 調停委員ハ特別ノ知識經驗ヲ有シ公正ナル調停ヲ爲スニ適スル者ニ就キ毎年豫メ地方裁判所長ノ選任シタル者又ハ當事者ノ合意ニ依リ選定セラレタル者ノ中ヨリ各事件ニ付調停主任之ヲ指定ス

第七十四條ノ十四 裁判所又ハ調停委員會必要アリト認ムルトキハ關係官廳其ノ他適當ト認ムル者ニ對シ意見ヲ求メ又ハ調査ヲ囑託スルコトヲ得

關係官廳ハ裁判所又ハ調停委員會ニ對シ意見ヲ述フルコトヲ得

第七十四條ノ十五 本章ノ規定ハ鑛業ニ従事スル者ノ業務上ノ負傷、疾病及死亡ニ關シテハ之ヲ適

用セス

第六章 鑛 夫

第七十五條 採鑛權者ハ鑛夫ノ雇傭及就業ニ關スル規則ヲ定メ鑛山監督局長ノ許可ヲ受クヘシ之ヲ變更セムトスルトキ亦同シ

第七十六條 鑛業權者ハ命令ノ定ムル所ニ從ヒ鑛夫名簿ヲ鑛業事務所ニ備置クヘシ

第七十七條 鑛業權者鑛夫ヲ解雇シタル場合ニ於テハ其ノ請求ニ因リ雇傭ノ期間、業務ノ種類、技能、賃金及解雇ノ事由ヲ記載シタル證明書ヲ與フヘシ

第七十八條 鑛業權者ハ毎月一回以上期日ヲ定メ通貨ヲ以テ鑛夫ニ其ノ賃金ヲ支拂フヘシ

第七十九條 主務大臣ハ命令ヲ以テ鑛夫ノ年齢及就業時間並婦女、幼者ノ勞働ノ種類ヲ制限スルコトヲ得

第八十條 鑛業權者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ鑛夫カ業務上負傷シ、疾病ニ罹リ又ハ死亡シタル場合

ニ於テ本人又ハ其ノ遺族若ハ本人ノ死亡當時其ノ收入ニ依リ生計ヲ維持シタル者ヲ扶助スヘシ

第八十條ノ二 鑛業權者前條ノ規定ニ基キ扶助ヲ爲シタルトキハ鑛業權者ハ其ノ扶助ノ價額ノ限度

ニ於テ民法ニ依ル損害賠償ノ責ヲ免ル

鑛業權者及鑛夫ノ出捐スル共濟組合命令ノ定ムル所ニ依リ鑛業權者ヲシテ扶助ヲ爲スヲ要セサラシムル給付ヲ爲シタルトキハ鑛業權者ハ其ノ給付ノ價額ノ限度ニ於テ民法ニ依ル損害賠償ノ責ヲ免ル

第八十條ノ三 第八十條ノ規定ニ基キ扶助ヲ受クルノ權利ハ二年間之ヲ行ハサルトキハ時効ニ因リ

消滅ス

第八十條ノ四 第八十條ノ規定ニ基キ扶助ヲ受クルノ權利ハ之ヲ讓渡シ又ハ差押フルコトヲ得ス

第七章 削 除

第八十一條 削除

第八十二條 削除

第八十三條 削除

第八十四條 削除

第八十五條 削除

第八十六條 削除

第八十七條 削除

第八十八條 削除

第八章 訴願、訴訟及裁決

第八十九條 鑛業ニ關スル出願ノ許可又ハ拒否ニ不服アル者ハ訴願ヲ提起スルコトヲ得違法ニ權利ヲ傷害セラレタリトスルトキハ行政訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第九十條 第十一條、第三十六條又ハ第四十三條ノ二第一項ノ承諾ヲ拒マレタル者及其ノ承諾ヲ得ルコト能ハサル者ハ鑛山監督局長ノ裁決ヲ申請スルコトヲ得

前項ノ裁決ニ不服アル者ハ訴願ヲ提起スルコトヲ得違法ニ權利ヲ傷害セラレタリトスルトキハ行政訴訟ヲ提起スルコトヲ得

鑛 業 法

第九十一條 鑛業權ノ取消ニ不服アル者ハ訴願ヲ提起スルコトヲ得違法ニ權利ヲ傷害セラレタリトスルトキハ行政訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第九十二條 土地ノ使用者ハ收用、補償金又ハ擔保ニ付協議調ハサルトキ又ハ協議ヲ爲スコト能ハサルトキハ鑛業權者ハ鑛山監督局長ノ裁決ヲ申請スルコトヲ得

前項ノ裁決中土地ノ使用又ハ收用ニ付不服アル者ハ訴願ヲ提起スルコトヲ得違法ニ權利ヲ傷害セラレタリトスルトキハ行政訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第一項ノ裁決中補償金又ハ擔保ニ付不服アル者ハ通常裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第一項及第二項ノ規定ハ第四十三條ノ二第二項ノ協議調ハス又ハ協議ヲ爲スコト能ハサル場合ニ之ヲ準用ス

第九十三條 處分又ハ裁決ノ通告書ヲ受ケタル日ヨリ三十日ヲ經過シタルトキハ訴願又ハ訴訟ヲ提起スルコトヲ得

前項ノ期間ハ處分又ハ裁決ノ通告書ヲ受ケサル者ニ付テハ其ノ公示ノ日ヨリ之ヲ起算ス

第九章 罰 則

第九十四條 鑛業權ヲ有セスシテ鑛物ヲ掘採シタル者又ハ詐偽ノ行爲ヲ以テ鑛業權ヲ得タル者ハ二年以下ノ懲役又ハ三千圓以下ノ罰金ニ處ス

過失ニ因リ鑛區外ニ侵掘シタル者ハ二千圓以下ノ罰金ニ處ス

第九十五條 前條ノ場合ニ於テハ其ノ掘採シタル鑛物ヲ沒收ス若シ其ノ全部又ハ一部ヲ沒收スルト能ハサルトキハ其ノ價額ヲ追徴ス

第九十六條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ一年以下ノ懲役又ハ二千圓以下ノ罰金ニ處ス

一 第十條第三項、第十一條本文、第四十三條ノ二第一項本文又ハ第四十四條ノ規定ニ違反シタル者

二 第四十三條ノ三、第四十五條、第七十二條、第七十三條第一項又ハ第七十四條第一項ノ規定ニ依ル命令ニ違反シタル者

三 第七十一條ノ規定ニ基キテ發スル命令又ハ之ニ基キテ爲ス處分ニ違反シタル者

四 第七十三條第二項ノ規定ニ基キテ管理者ノ職務ニ關シ發スル命令又ハ之ニ基キテ爲ス處分ニ違反シタル者

第九十七條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

一 第四十六條乃至第四十八條ノ規定ニ違反シタル者

二 第七十四條ノ四第三項ノ規定ニ依ル命令ニ違反シタル者

三 第七十五條乃至第七十八條ノ規定ニ違反シタル者

四 第七十九條又ハ第八十條ノ規定ニ基キテ發スル命令ニ違反シタル者

第九十八條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

一 第十二條ノ二ノ規定ニ依ル報告ヲ怠リ又ハ虚偽ノ報告ヲ爲シタル者

二 第十二條ノ二ノ規定ニ依ル検査ヲ拒ミ、妨ケ又ハ忌避シタル者

三 第五十三條第一項ノ許可ヲ受ケスシテ障碍物ヲ除却シタル者

第九十九條 削除

第百條 削除

第百一條 詐偽其ノ他不正ノ所爲ヲ以テ鑛業稅ヲ免レ又ハ免レムトシタル者ハ其ノ脫稅金額三倍ニ相當スル罰金ニ處ス

第百二條 削除

第百三條 本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ノ罰則ハ其ノ者カ法人ナルトキハ理事、取締役其ノ他ノ法人ノ業務ヲ執行スル役員ニ、未成年者又ハ禁治產者ナルトキハ其ノ法定代理人ニ之ヲ適用ス但シ營業ニ關シ成年者ト同一ノ能力ヲ有スル未成年者ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第百四條 法人又ハ人ハ其ノ代理人、戶主、家族、同居者、雇人其ノ他ノ從業者ニシテ其ノ業務ニ關シ本法ノ違反行爲ヲ爲シタルトキハ自己ノ指揮ニ出テサルノ故ヲ以テ其ノ處罰ヲ免ルルコトヲ得ス本法ニ基キテ發スル命令中別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外其ノ命令ニ規定セル罰則ニ付テモ亦同シ

第百五條 前二條ノ場合ニ於テハ懲役ノ刑ニ處スルコトヲ得ス

第百六條 削除

附則

第百七條 本法ハ明治三十八年七月一日ヨリ之ヲ施行ス

鑛業條例ハ之ヲ廢止ス

第百八條 鑛業條例ニ依ル試掘ノ認可ハ試掘權ノ登録ト看做ス

第百九條 日本坑法ニ依ル借區ノ許可及鑛業條例ニ依ル採掘ノ特許ハ採掘權ノ登録ト看做ス但シ鑛

業條例第四十一條第二項ニ定メタル面積ニ滿タサル鑛區ニ對スルモノハ其ノ期限ノ到來ニ因リテ消滅ス
第百十條 本法施行前ニ於ケル官廳所屬ノ採掘區域ハ採掘鑛區トシ本法施行ノ日ニ於テ採掘權ノ登

録ヲ得タルモノト看做ス

第百十一條 鑛業條例ニ依ル採掘權ノ書入ノ登録ハ抵當權ノ登録ト看做ス

第百十二條 第七十四條ノ規定ハ本法施行前ニ試掘認可又ハ採掘特許ノ消滅シタル場合ニモ之ヲ適用ス但シ一箇年ノ期間ハ其ノ消滅ノ日ヨリ之ヲ起算ス

第百十三條 日本坑法ニ依リ借區ノ許可ヲ得タル者及鑛業條例ニ依リ試掘ノ認可又ハ採掘ノ特許ヲ得タル者ハ本法施行ノ日ヨリ六十日以内ニ明治三十八年分ノ鑛區稅又ハ其ノ不足額ヲ納付スヘシ其ノ鑛區稅ハ月割ヲ以テ計算ス

第百十四條 明治三十八年分ノ鑛產稅ハ本法施行前ニ得タル鑛產物ニ付テモ之ヲ課ス

第百十五條 第八十八條ノ規定ハ明治三十八年度分ノ稅ニ限り之ヲ適用セス

第百十六條 鑛業條例ニ依リテ爲シタル處分、手續其ノ他ノ行爲ハ本法中之ニ相當スル規定アル場合ニ於テハ本法ニ依リテ之ヲ爲シタルモノト看做ス

第百十七條 本法施行前ニ爲シタル處分ニ對スル訴願、裁定請求、行政訴訟又ハ民事訴訟ニ關シテハ鑛業條例ノ規定ニ依ル

第百十八條 鑛業條例ニ依リ試掘又ハ採掘ヲ出願シタル鑛區ノ面積ニ付テハ鑛業條例第四十一條第二項ノ規定ヲ適用ス

第一百十九條 明治三十七年十二月三十一日以前ヨリ引續キ重石鑛又ハ水鉛鑛ヲ掘採スル者ニシテ明治三十八年七月三十一日迄ニ其ノ鑛物掘採ノ特許ヲ出願スルトキハ其ノ掘採區域ニ限り第三十一條、第三十三條及鑛區ノ面積ニ關スル第九條ノ規定ニ拘ラス特許ヲ與フヘシ

前項ノ掘採者ニシテ明治三十八年七月三十一日迄ニ其ノ特許ヲ出願シタル者ハ其ノ指令ノ日迄本法ノ規定ニ拘ラス其ノ掘採ヲ繼續スルコトヲ得

第一項ノ規定ニ依リ特許ヲ得タル區域ノ面積五千坪未滿ナル場合ニ於テハ其ノ特許ハ五箇年ヲ經過シタルトキ消滅ス

第一百二十條 明治三十九年十二月三十一日以前ヨリ引續キ第二條第二項ノ可燃質天然瓦斯ヲ採掘スル者ハ同條同項但書ニ該當セサル場合ト雖明治四十年六月三十日迄ニ其ノ旨鑛山監督局長ニ届出ルトキハ其ノ届出ニ係ル坑井ヨリ噴出スル可燃質天然瓦斯ニ限り本法ヲ適用セス

附 則 (昭和九年三月法律第三十七號)

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム (昭和九年勅令第九十四號ヲ以テ昭和九年七月一日ヨリ施行)

本法施行ノ際現ニニツケル鑛、コバルト鑛、石膏又ハ重晶石ヲ掘採スル者又ハ其ノ承繼人ハ本法施行ノ日ヨリ六月間從前ノ例ニ依リ其ノ掘採ヲ繼續スルコトヲ得其ノ期間内ニ當該掘採者又ハ其ノ承繼人ガニツケル鑛、コバルト鑛、石膏又ハ重晶石ヲ掘採スル爲出願ヲ爲シタル場合ニ於テ許可ノ登錄ノ日又ハ不許可ノ指令ノ日迄亦同シ

前項ニ掲グル者本法施行ノ日ヨリ六月以内ニニツケル鑛、コバルト鑛、石膏又ハ重晶石ヲ掘採スル爲出願ヲ爲シタルトキハ其ノ掘採區域ニ限り第九條第三項、第二十八條、第二十九條、第三十一條、

第三十三條及第三十三條ノ二ノ規定並ニ第九條第二項ノ鑛區面積ニ關スル規定ニ拘ラズ之ヲ許可ス

本法施行ノ際現ニ契約又ハ慣習ニ依リニツケル鑛、コバルト鑛、石膏又ハ重晶石ヲ掘採スル者ヨリ代價ヲ受クル土地所有者ハ前項ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケタル者ニ對シ右ノ鑛物ノ掘採ニ付相當ノ補償金ヲ請求スルコトヲ得

砂鑛法第十三條及第十五條ノ規定ハ前項ノ補償金ニ之ヲ準用ス

試掘鑛區第三項ノ規定ニ依ル鑛區ト重複シ且同種ノ鑛物ナル場合ニ於テ其ノ試掘權者試掘權存續期間中同種ノ鑛物ニ付採掘ノ出願ヲ爲シ又ハ第三十三條ノ二第一項ノ規定ニ依ル出願ヲ爲シタルトキハ第九條第三項、第二十八條及第二十九條ノ規定ニ拘ラス之ヲ許可ス

砂鑛法第五條ノ規定ハ第三項ノ規定ニ依ル鑛區他人ノ鑛區ト重複シ且同種ノ鑛物ナル場合ニ之ヲ準用ス

附 則 (昭和十年三月法律第二十四號)

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム (昭和十一年勅令第四百四十六號ヲ以テ昭和十二年一月一日ヨリ施行)

鑛業法第八十條ノ規定ニ基キ扶助ヲ受クルノ權利ノ時効ニシテ其ノ進行ガ本法施行前ニ始リタルモノニ付テハ仍從前ノ例ニ依ル但シ本法施行ノ日ヨリ起算シ其ノ殘期カ二年ヨリ長キトキハ其ノ日ヨリ起算シテ第八十條ノ三ノ規定ヲ適用ス

附 則 (昭和十四年三月法律第二十三號)

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム (昭和十四年勅令第八百七十五號ヲ以テ昭和十五年一月一日ヨリ施行)

第五章ノ改正規定ハ第七十四條ノ四乃至第七十四條ノ七ノ規定ヲ除クノ外本法施行前ニ爲シタル作

業ニ因リテ本法施行後ニ生ジタル損害ニモ之ヲ適用ス

本法施行前ニ生ジタル損害ニシテ補償金、手當金、見舞金其ノ他何等ノ名義ヲ以テスルヲ問ハズ被害者ガ其ノ賠償ヲ受ケズ又ハ賠償ヲ受ケタルモ其ノ額ガ著シク少額ナリシモノニ付テハ被害者ハ賠償又ハ其ノ増額ヲ請求スルコトヲ得第七十四條ノ二第一項、第二項及第四項、第七十四條ノ三第一項、第七十四條ノ八、第七十四條ノ九並ニ第七十四條ノ十一乃至第七十四條ノ十五ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ適用ス但シ第七十四條ノ十一第一項ノ三箇年ノ期間ハ被害者ガ本法施行前ニ損害及賠償義務者ヲ知リタルトキハ本法施行ノ日ヨリ之ヲ起算ス

附 則 (昭和十五年四月八日法律第百二號)

第一條 本法施行ノ期日ハ第十條ノ改正規定中要害地帯ニ關スル部分、同條ノ改正規定中陸軍輸送港域ニ關スル部分及其ノ他ノ規定ニ付各別ニ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第二條 本法(第十條ノ改正規定ヲ除ク以下之ニ同シ)施行ノ際現ニ炭化水素ヲ主成分トスル天然瓦斯(含油層ト密接ノ關係アル可燃質天然瓦斯ヲ除ク以下之ニ同シ)ヲ掘採スル者アル場合ニ於テ其ノ掘採區域他人ノ鑛區ト重複シ且其ノ鑛業權ノ目的石油ナルトキハ當該鑛業權者ハ附則第三條及同第六條ノ定ムル所ニ從ヒ其ノ權利ヲ制限セラル

第三條 本法施行ノ際現ニ明礬石、螢石、石棉又ハ炭化水素ヲ主成分トスル天然瓦斯ヲ掘採スル者又ハ其ノ承繼人ハ本法施行ノ日ヨリ六月間從前ノ例ニ依リ其ノ掘採ヲ繼續スルコトヲ得其ノ期間内ニ當該掘採者又ハ其ノ承繼人明礬石、螢石、石棉又ハ炭化水素ヲ主成分トスル天然瓦斯ヲ掘採スル爲出願ヲ爲シタル場合ニ於テ許可ノ登録ノ日又ハ不許可ノ指令ノ日迄亦同シ

第四條 前條ニ掲グル者本法施行ノ日ヨリ六月以内ニ明礬石、螢石、石棉又ハ炭化水素ヲ主成分トスル天然瓦斯ヲ掘採スル爲出願ヲ爲シタルトキハ其ノ掘採區域ニ限リ第九條第三項、第二十八條、第二十九條及第三十三條ノ規定並ニ第九條第二項ノ鑛區面積ニ關スル規定ニ拘ラズ之ヲ許可ス

第五條 前條ノ規定ニ依ル試掘權ヲ有スル者試掘權存續期間中同種ノ鑛物ニ付探掘ノ出願ヲ爲シタルトキハ其ノ試掘鑛區ト重複スル部分ニ付テハ第九條第三項及第二十九條ノ規定並ニ第九條第二項ノ鑛區面積ニ關スル規定ニ拘ラズ之ヲ許可ス

第六條 前二條ノ規定ニ依ル石油ヲ目的トスル鑛業權ヲ有スル者ハ其ノ鑛區他人ノ鑛區ト重複シ且其ノ鑛業權ノ目的石油ナルトキハ其ノ重複スル部分ニ於テハ炭化水素ヲ主成分トスル天然瓦斯ノミヲ掘採シ及之ヲ取得スル權利ヲ有ス

第七條 本法施行ノ際現ニ契約又ハ慣習ニ依リ明礬石、螢石、石棉又ハ炭化水素ヲ主成分トスル天然瓦斯ヲ掘採スル者ヨリ代償ヲ受クル土地所有者ハ附則第四條又ハ同第五條ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケタル者ニ對シ右ノ鑛物ノ掘採ニ付相當ノ補償金ヲ請求スルコトヲ得

砂鑛法第十三條及第十五條ノ規定ハ前項ノ補償金ニ之ヲ準用ス

第八條 試掘鑛區附則第四條又ハ同第五條ノ規定ニ依ル鑛區ト重複シ且同種ノ鑛物ナル場合ニ於テ其ノ試掘權者試掘權存續期間中同種ノ鑛物ニ付探掘ノ出願ヲ爲シタルトキハ其ノ試掘鑛區ト重複スル部分ニ付テハ第九條第三項及第二十九條ノ規定ニ拘ラズ之ヲ許可ス

第九條 砂鑛法第五條ノ規定ハ附則第四條又ハ同第五條ノ規定ニ依ル鑛區他人ノ鑛區ト重複シ且同種ノ鑛物ナル場合ニ之ヲ準用ス

第十條 本法施行ノ際現ニ存スル試掘權ノ存續期間ハ本法施行ノ日ヨリ四年トス但シ主務大臣已ムコトヲ得ザル事由アリト認ムルトキハ石油ヲ目的トスル試掘權ニ付テハ四年以内、石油以外ノ鑛物ヲ目的トスル試掘權ニ付テハ二年以内之ヲ延長スルコトヲ得

第十一條 本法施行前第二十四條第一項、第二十五條第一項（第三十七條第一項ニ於テ準用スル場合ヲ含ム）又ハ第三十八條第一項ノ規定ニ依ル命令アリタル場合ニ於テハ從前ノ第二十四條第二項、第二十五條第二項、第三十七條第二項又ハ第三十八條第二項ノ規定ヲ適用ス

第十二條 本法施行前ニ爲シタル探掘出願ノ出願地出願ノ當時其ノ出願人ノ同種ノ鑛物ノ試掘鑛區ト重複スル場合ニ於テ其ノ重複スル部分仍試掘ヲ要スルモノト認ムルトキハ第二十九條ノ二ノ規定ニ拘ラズ仍從前ノ例ニ依ル

本法施行前ニ爲シタル鑛業ノ出願ニシテ其ノ出願地他人ノ異種ノ鑛物ノ鑛區ト重複スルモノニ付テハ仍從前ノ第三十一條ノ規定ヲ適用ス

本法施行前從前ノ第三十三條ノ二第一項ノ規定ニ依リ爲シタル鑛業ノ出願ニ付テハ仍同條ノ規定ヲ適用ス

本法施行前十日以内ニ試掘權ノ存續期間滿了シタル場合ニ於テハ仍從前ノ第三十三條ノ二ノ規定ヲ適用ス

鑛業法中改正法律ノ一部施行期日ノ件

昭和十五年十一月 勅令第八二五號

昭和十五年法律第百二號中第十條ノ改正規定中要塞地帯ニ關スル部分ハ昭和十五年十二月一日ヨリ之ヲ施行ス

鑛業法中改正法律ノ一部施行期日ノ件

昭和十六年五月 勅令第五八三號

昭和十五年法律第百二號ハ第十條ノ改正規定ヲ除クノ外昭和十六年六月一日ヨリ之ヲ施行ス

鑛業法施行細則

明治三十八年六月 農商務省令第十七號

改正 明治三十九年第一五號、四〇年第八號、四二年第二四號、四四年第一〇號、大正元年第二一號、五年第二〇號、一〇年第二七號、一三年第一八號、昭和四年商工省令第一二號、第一八號、九年第一四號、一四年第七五號、昭和十六年第四二號

第一條 願書、申請書、届書及圖面ハ一件毎ニ之ヲ調製シ様式ノ定アルモノニ付テハ其ノ様式ニ準スヘシ

第二條 商工大臣又ハ鑛山監督局長ニ差出シタル書面、圖面又ハ標品ニシテ必要ト認ムルモノハ之ヲ返付セス

鑛業法中改正法律ノ一部施行期日ノ件 鑛業法施行細則

第三條 鑛業ニ關シ命令又ハ通知ヲ發スル場合ニ於テ受信人ノ住所不分明ナルトキハ十日間其ノ要旨ヲ鑛山監督局ノ揭示場ニ揭示スヘシ此ノ場合ニ於テハ其ノ期間滿了ノ日ニ命令又ハ通知ヲ受ケタルモノト看做ス

第四條 本則ノ規定ニ依リテ爲シタル手續其ノ他ノ行爲ハ鑛業ヲ出願セムトスル者、鑛業出願人、鑛業權者、土地所有者又ハ關係人ノ承繼人ニ對シテモ其ノ效力ヲ有ス

第五條 本則中鑛業ノ出願ニ關スル規定ハ鑛業出願地又ハ鑛區ノ訂正、増減及改正ノ出願ニ付之ヲ準用ス

第六條 書面又ハ圖面不完備ナルトキハ鑛山監督局長ハ相當ノ期限ヲ附シテ修正又ハ補充ヲ命スルコトヲ得

第七條 書面又ハ圖面ヲ郵便ニシテ差出シタルトキハ引受時刻證明郵便ニ依ルモノヲ除クノ外消印記號ニ記載シタル最終ノ日時ニ差出シタルモノト看做ス其ノ消印記號ナキ場合又ハ其ノ不明ナル場合ニ於テ郵便物受領證ニ依リテ其ノ差出シタル日時ヲ證明シタルトキ亦同シ

第八條 商工大臣ニ差出スヘキ書面又ハ圖面ハ鑛山監督局長ヲ經由スヘシ此ノ場合ニ於テハ鑛山監督局長ニ差出シタル日時ヲ以テ差出ノ日時ト看做ス

第九條 同一地域ニ於テ二種以上ノ鑛物ニ付鑛業ヲ爲サムトスル者ハ各種ノ鑛物毎ニ願書ヲ差出スヘシ同一ノ鑛床中ニ存スルモノニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第十條 鑛業ノ許可ヲ得タル鑛物ノ名稱ヲ變更セムトスルトキハ願書ニ理由書ヲ添附シテ差出スシ

第十一條 共同鑛業出願人ハ願書ト共ニ連署シタル代表者選定ノ願書ヲ差出スヘシ

共同鑛業出願人ハ願書ニ代表者ヲ表示シテ前項ノ願書ニ代フルコトヲ得

前二項ノ規定ハ出願人ノ變更、鑛業權ノ設定又ハ移轉ニ因リ鑛業出願人又ハ鑛業權者ト爲ルヘキ者二人以上ナル場合ニ之ヲ準用ス但シ鑛業權設定ノ場合ニ於テハ登録稅納付書ニ代表者ヲ表示シタルトキハ之ヲ以テ代表者ノ届出ト看做ス

第十二條 共同鑛業出願人又ハ共同鑛業權者代表者ヲ變更シタルトキハ遲滯ナク連署シテ其ノ旨ヲ届出ヘシ

第十三條 鑛業法第七條第三項ノ規定ニ依リ鑛山監督局長代表者ヲ指定シタルトキハ之ヲ共同鑛業出願人又ハ共同鑛業權者ニ通知スヘシ

第十四條 鑛業出願人代表者ニ依リテ鑛業出願ノ取下、區域増減ノ出願又ハ出願人變更ノ届出ヲ爲ス場合ニ於テハ願書又ハ届書ニ其ノ決議書又ハ之ニ相當スル書面ヲ添附スヘシ

前項ノ規定ハ代表者ニ依リテ鑛區ノ増減、合併又ハ分割ヲ出願スル場合ニ之ヲ準用ス

第十五條 鑛業ニ關スル出願ニシテ鑛利保護上又ハ鑛區分合上出願地及鑛區ノ面積百萬坪ヲ超ユル場合ニ於テハ願書ニ其ノ理由書ヲ添附スヘシ

第十六條 鑛業ノ出願地鑛業法第十條第二項ノ場所ニ係ルトキハ出願ノ日ヨリ三十日以内ニ所轄官廳ノ許可書若ハ許可ヲ受ケタルコトヲ證スル書面又ハ許可ヲ申請シタルコトヲ證スル書面ヲ差出スヘシ

鑛業出願後其ノ出願地鑛業法第十條第二項ノ場所トナリタルトキハ其ノ公示ノ日ヨリ三十日以内

ニ前項ノ書面ヲ差出スヘシ

第十六條ノ二 鑛業出願地カ實地調査ニ因リテ鑛業法第十條第二項ノ場所ニ係ルコトヲ發見シタルトキハ鑛山監督局長ハ前條ノ規定ニ拘ラス相當ノ期限ヲ附シ其ノ差出スヘキ書面ノ提出ヲ命スルコトヲ得錯誤ニ因リ其ノ書面ノ添附ヲ遺漏シタルモノト認メタルトキ亦同シ

第十七條 鑛業出願地ノ形狀鑛業ヲ爲スニ不適當ナリト認ムルトキハ鑛山監督局長ハ相當ノ期限ヲ附シテ出願地ノ増減ヲ命スルコトヲ得

第十八條 鑛業出願地鑛區ニ密接スル場合ニ於テ鑛山監督局長鑛業ノ監督上中間ニ相當ノ距離ヲ置クコトヲ必要ト認メタルトキハ出願人ニ對シ相當ノ期間ヲ附シテ出願地ノ減少ヲ命スルコトヲ得鑛業出願地鑛區ニ密接セサル場合ト雖モ鑛山監督局長鑛業ノ監督上中間ノ距離ノ延長ヲ必要ト認メタルトキ亦同シ

鑛業出願地鑛區ニ密接セサル場合ニ於テ鑛山監督局長鑛利保護上中間ノ距離ノ減縮ヲ必要ト認メタルトキハ出願人ニ對シ相當ノ期限ヲ附シテ出願地ノ増加ヲ命スルコトヲ得

第十九條 鑛業願書ニ添附スヘキ圖面ハ試掘出願ニ付テハ五葉、採掘出願ニ付テハ六葉トシ様式第十四號ニ準シテ調製シ左ニ掲クル事項ヲ明示スヘシ

- 一 出願地ノ所在及地目
- 二 出願地ノ面積
- 三 南北線
- 四 縮尺

五 二箇以上ノ不動基點並其ノ名稱及特徵

六 出願地ノ各隈トナルヘキ測點並其ノ番號

七 境界線並基點ト連結シタル測點間ノ方位及其ノ間數

八 出願地又ハ其ノ附近ニ於ケル鑛床ノ露頭及其ノ走向、傾斜

九 出願地及其ノ附近ニ於ケル地形其ノ他鑛業法第十條又ハ第十一條ニ記載シタルモノ

鑛山監督局長必要アリト認ムルトキハ相當ノ期限ヲ附シ更ニ五葉ヲ限リ前項ノ圖面ノ差出ヲ命スルコトヲ得

第二十條 採掘出願人ハ其ノ願書ニ採掘セムトスル鑛物ノ鑛床ニ關スル説明書ヲ添附スヘシ

第二十一條 試掘又ハ採掘ノ願書及出願地又ハ鑛區ノ増減ノ願書ハ第一種引受時刻證明郵便ヲ以テ差出スヘシ

前項ノ場合ニ於テハ發送郵便局ヨリ受附ノ年月日及時刻ヲ記載シタル受取證ヲ請置クヘシ

第二十一條ノ二 鑛業法第二十九條ノ三第二項ノ規定ニ依ル公示ハ試掘權其ノ存續期間滿了前消滅シ又ハ試掘鑛區ノ減少アリタル場合ニ於テ其ノ試掘權ノ殘存スヘカリシ期間又ハ殘存スル期間カ六十日ヲ超ユル場合ニ之ヲ爲ス

前項ノ公示ハ鑛山監督局長ノ揭示場ニ揭示スルコトニ依リテ之ヲ爲ス

第二十二條 鑛山監督局長ハ相當ノ期限ヲ附シ出願人ニ鑛業ノ設備ニ關スル設計書ノ提出ヲ命スルコトヲ得

前項ノ命令ニ依リテ設計書ヲ提出シタル試掘出願人カ出願ノ許可後其ノ設計ヲ變更シテ作業セム

トスルトキハ鑛山監督局長ノ許可ヲ受クヘシ

第二十二條ノ二 鑛山監督局長ハ相當ノ期限ヲ附シ試掘權者ニ鑛業ノ設備ニ關スル設計書ノ提出ヲ命シ若ハ理由ヲ示シテ設計書ノ變更ヲ命スルコトヲ得

試掘權者カ前項ノ命令ニ依リテ提出シタル設計書ノ變更ヲ爲サムトスルトキハ鑛山監督局長ノ許可ヲ受クヘシ

第二十三條 削除

第二十四條 鑛山監督局長ハ鑛業ニ關スル出願又ハ鑛區ニ付實地調査ヲ必要ト認ムルトキハ調査事項及調査期日ヲ指定シ出願人又ハ鑛業權者ニ立會ヲ命スルコトヲ得若シ調査期日ヲ指定スルコト能ハサルトキハ豫定期日ヲ定メ確定期日ハ出張吏員ノ指定ニ依ルヘキコトヲ命スヘシ
出張吏員カ確定期日ヲ指定スルトキハ少クトモ三日前ニ之ヲ通知スヘシ
但シ出願人又ハ鑛業權者ニ於テ異議ナキ場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラス

第二十五條 鑛業出願人變更ノ届書ニハ新舊出願人連署スヘシ

第二十五條ノ二 試掘權者其ノ試掘地ニ於テ探掘ノ出願ヲ爲シタル後出願人ノ變更ヲ爲サムトスル場合ニ於テハ試掘權ノ移轉ヲ證スル書面ヲ添付スヘシ

第二十五條ノ三 試掘權者其ノ試掘地ニ於テ探掘ノ出願ヲ爲シタル後試掘權ヲ移轉シタルトキハ出願人變更ノ届出アリタルモノト看做ス

第二十六條 相續其ノ他ノ一般承繼ニ因リテ鑛業出願人ト爲リタル者又ハ氏名、名稱若ハ住所ヲ變更シタル鑛業出願人ハ(戶籍吏)ニ届出タル日又ハ登記ノ日ヨリ十四日以内ニ其ノ事實ヲ證スヘシ



キ書面ヲ添ヘ其ノ旨ヲ鑛山監督局長ニ届出ヘシ法人ノ代表者ヲ變更シタルトキ亦同シ

第二十七條 共同鑛業出願人脱退シタルトキハ代表者若シ代表者ナキニ至リタルトキハ共同出願人ハ脱退ノ日ヨリ十四日以内ニ其ノ理由ヲ證スル書面ヲ添ヘ其ノ旨ヲ鑛山監督局長ニ届出ヘシ

第二十八條 探掘出願地ノ訂正願書ニハ訂正理由書ヲ添付スヘシ

第二十九條 探掘出願地ノ訂正又ハ鑛業出願地ノ増減ノ願書ニ添付スヘキ圖面ニハ新舊出願地ノ關係ヲ明示スヘシ

第二十九條ノ二 第三十六條第一項ノ規定ニ依ル通知ヲ受ケタルトキハ試掘出願人又ハ探掘出願人ハ其ノ出願地ニ付更ニ探掘若ハ試掘ノ出願ヲ爲シ、出願地ノ増減若ハ鑛種名ノ更正ヲ出願シ又ハ名義ノ變更ノ届出ヲ爲スコトヲ得ス

第三十條 鑛業法第三十三條第二項ノ規定ニ依ル抽籤ハ鑛山監督局長之ヲ行フ

第三十條 鑛山監督局長ハ抽籤ノ日時ヲ定メ少クトモ十四日前ニ關係鑛業出願人ニ通知スヘシ
前項ノ規定ニ依ル通知ヲ受ケタル鑛業出願人ハ抽籤日時ニ出頭シテ立會ヲ爲スコトヲ得

第三十一條 鑛區ノ合併又ハ分割ノ願書ニハ理由書ヲ添付シ且之ニ添付スヘキ圖面ニハ合併又ハ分割スヘキ區域ノ關係ヲ明示スヘシ但シ分割ノ願書ニ添付スヘキ圖面ハ各區域毎ニ之ヲ調製スヘシ

第三十一條 鑛業法第三十五條第一項ノ規定ニ依ル抵當權者ノ承諾書及抵當權ノ順位ニ關スル協定書ハ合併又ハ分割ノ願書ニ之ヲ添付スヘシ

第三十二條 鑛業法第三十六條第一項ノ規定ニ依ル鑛區增區ノ願書ニハ鑛床圖ノ説明書、鄰接鑛業權者及抵當權者ノ承諾書ヲ添付スヘシ

鑛業法第三十六條第二項ノ規定ニ依ル鑛區訂正ノ願書ニハ鑛床圖ノ説明書、鄰接鑛業權者ノ承諾書又ハ鑛業法第九十條ノ規定ニ依ル裁決書若ハ判決書ノ謄本ヲ添付スヘシ

前二項ノ願書ニ添付スヘキ鑛床圖ハ平面圖及截面圖ノ二種ニ分チテ之ヲ調整スヘシ

第三十三條 鑛區訂正ノ願書ニ關シテハ第二十八條ノ規定ヲ準用ス

第三十四條 鑛區ノ訂正、増減又ハ改正ノ願書ニ關シテハ第二十九條ノ規定ヲ準用ス

第三十五條 鑛業法第三十七條第三項ノ規定ニ依ル減區又ハ増減區ノ願書ニハ抵當權者ノ承諾書ヲ添ヘテ差出スヘシ

第三十六條 鑛業ノ出願許可スヘキモノト決定シタルトキハ鑛山監督局長ハ其ノ旨ヲ出願人ニ通知スヘシ此ノ場合ニ於テ其ノ區域異種ノ鑛物ノ鑛區ト重複シ鑛業法第四十三條ノ二第一項ノ規定ニ依リ承諾ヲ受クヘキモノナルトキハ其ノ鑛業權ノ登録番號、鑛種名、鑛業權者ノ氏名又ハ名稱及住所並重複範圍ヲ併セテ通知スヘシ

出願人ハ前項ノ通知書ヲ受ケタル日ヨリ三十日以内ニ登録稅ヲ納付スヘシ此ノ期間内ニ登録稅納付書ヲ差出シタルモ不受理ノ處分ヲ受ケタル日ヨリ五日以内ニ在リテハ期間後ト雖更ニ登録稅ヲ納付スルコトヲ得

登録稅ハ第一項ノ通知書ヲ受ケタル者若ハ其ノ代理人出頭シ又ハ書留郵便ヲ以テ之ヲ納付スヘシ郵便ヲ以テ納付スル場合ニ關シテハ第七條ノ規定ヲ準用ス

前項ノ登録稅ハ第一項ノ通知書ト共ニ納付書ニ收入印紙ヲ貼用シテ之ヲ納付スヘシ前四項ノ規定ハ第十條ノ出願ニ關シ之ヲ準用ス

第三十六條ノ二 鑛山監督局長第三十六條第一項後段ノ規定ニ依ル通知ヲ爲シ出願人カ其ノ登録ヲ受ケタルトキハ鑛山監督局長ハ其ノ登録ヲ受ケタル鑛業權ノ登録番號、鑛種名並鑛業權者ノ氏名又ハ名稱及住所ヲ同條同項後段ニ掲クル鑛業權者ニ通知スヘシ

第三十六條ノ三 鑛區ノ合併、分割、減區又ハ増減區ノ出願ニ付許可決定ノ通知ヲ受ケタル者ハ合併、分割又ハ減少前ノ鑛業權ニ付登録上利害ノ關係ヲ有スル第三者ノ承諾書又ハ之ニ對抗スルコトヲ得ヘキ裁判ノ謄本ヲ登録稅納付書ニ添付シテ差出スヘシ但シ鑛區ノ分合又ハ増減ノ願書ト共ニ承諾書ニ其ノ事由ヲ記載スルヲ以テ足ル

第三十七條 鑛區所在地ノ名稱、地目、境界、基點又ハ面積カ鑛區圖ト相違スルコトヲ發見シタルトキハ鑛山監督局長ハ相當ノ期限ヲ附シテ鑛業權ノ表示變更ニ關スル鑛區圖ノ提出ヲ命スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ命令書ニ調査圖ヲ添付スヘシ

鑛山監督局長カ鑛業ノ表示變更ニ關スル鑛區圖ノ提出ヲ要セサルモノト認メタルトキ又ハ前項ノ命令ニ依リ提出シタル鑛區圖ヲ調査シ完備シタルモノト認メタルトキハ第三十六條第一項ニ準シ其ノ旨ヲ鑛業權者ニ通知スヘシ

第三十六條第二項乃至第四項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第三十八條 左ノ場合ニ於テハ鑛山監督局長ハ願書、申請書又ハ届書ヲ受理セス
一 試掘又ハ探掘出願地全部カ所轄鑛山監督局長ノ管轄區域内ニ在ラサルトキ
二 出願ノ鑛物カ鑛業法第二條ノ規定ニ該當セサルトキ
三 圖面ヲ添付スヘキ鑛業ノ願書ニ之ヲ添付セサルトキ又ハ添付圖面ニ依リ區域分明ナラサルト

キ

- 三ノ二 鑛業ニ關スル願書、申請書又ハ届書ニ添付スヘキ圖面ニシテ要塞地帶法又ハ軍機保護法ニ依リ其ノ作成ニ付許可ヲ要スヘキモノ其ノ許可ヲ得タルモノニ非サルトキ
- 四 手数料ヲ納付セサルトキ
- 五 削除
- 六 第十四條ノ規定ニ違背シ決議書又ハ之ニ相當スル書面ヲ添附セサルトキ
- 七 第二十一條ノ規定ニ違背シ第一種引受時刻證明郵便ヲ以テ差出ササルトキ
- 八 第二十五條ノ規定ニ違背シ新舊出願人連署セサルトキ
- 八ノ二 第二十五條ノ二ノ規定ニ違背シ試掘權ノ移轉ヲ證スル書面ヲ添附セサルトキ
- 八ノ三 第二十九條ノ二ノ規定ニ違背シタルトキ
- 九 第三十一條第二項ノ規定ニ違背シ承諾書及協定書ヲ添附セサルトキ
- 十 第三十二條又ハ第三十五條ノ規定ニ違背シ承諾書又ハ之ニ代ルヘキ書面ヲ添附セサルトキ
- 第三十八條ノ二 左ノ場合ニ於テハ鑛山監督局長ハ登録稅納付書ヲ受理セス
 - 一 第三十六條第四項又ハ第三十七條第三項ノ規定ニ違背シ通知書ヲ差出ササルトキ
 - 二 第三十六條ノ三ノ規定ニ違背シ第三者ノ承諾書又ハ之ニ對抗スルコトヲ得ヘキ裁判ノ謄本ヲ添附セサルトキ
- 第三十九條 左ノ場合ニ於テハ鑛山監督局長ハ願書又ハ届書ヲ却下ス
 - 一 實地調査ノ際出願人カ出願區域ヲ明示スルコト能ハサルカ又ハ第二十四條第一項ノ規定ニ依

リテ指定シタル調査事項ノ説明ヲ爲スコト能ハサルトキ

- 二 願書ニ添附シタル圖面カ實地ノ區域ト著シク相違スルトキ
- 三 第六條ノ規定ニ依ル命令ノ期限内ニ修正又ハ補充ヲ爲ササルトキ
- 四 第十六條ニ規定シタル期間内又ハ第十六條ノ二ノ規定ニ依ル命令ノ期限内ニ許可書又ハ證明書ヲ差出ササルトキ
- 五 第十七條又ハ第十八條ノ規定ニ依ル命令ノ期限内ニ區域増減ノ願書ヲ差出ササルトキ
- 五ノ二 第十九條第二項ノ規定ニ依ル命令ノ期限内ニ圖面ヲ差出ササルトキ
- 六 第二十二條ノ規定ニ依ル命令ノ期限内ニ設計書ヲ差出ササルトキ
- 七 削除
- 八 第二十四條ノ規定ニ依リテ指定シタル期日ニ出願人立會ヲ爲ササルトキ
- 九 第三十六條ニ規定シタル期間内ニ登録稅納付書ヲ提出シ又ハ郵便ニ附セサルトキ
- 十 第七十九條ノ規定ニ依ル命令ノ期限内ニ協定書ヲ差出ササルトキ
- 第四十條 相續其ノ他ノ一般承繼ニ因リテ鑛業權者若ハ抵當權者ト爲リタル者又ハ氏名、名稱若ハ住所ヲ變更シタル鑛業權者若ハ抵當權者ハ(戶籍吏)ニ届出タル日又ハ登記ノ日ヨリ十四日以内ニ其ノ登録ヲ申請スヘシ法人ノ代表者ヲ變更シタルトキハ之ニ準シテ其ノ事實ヲ證スヘキ書面ヲ添ヘ其ノ旨ヲ鑛山監督局長ニ届出ヘシ
- 第四十條ノ二 共同鑛業權者死亡ニ因リ脱退シタルトキハ代表者若シ代表者ナキニ至リタルトキハ共同鑛業權者ハ脱退ノ日ヨリ十四日以内ニ其ノ登録ヲ申請スヘシ

鑛業法施行細則

第四十一條 鑛業權者鑛業ニ著手シタルトキハ遲滯ナク鑛區所在地又ハ其ノ附近ニ鑛業事務所ヲ定

メ其ノ位置及著手ノ年月日ヲ鑛山監督局長ニ届出ヘシ

第四十二條 試掘權者ハ試掘鑛區圖及試掘工程表ヲ、採掘權者ハ抗内實測圖及鑛業簿ノ外採掘鑛區圖及鑛業施業案ヲ鑛業事務所ニ備置クヘシ

第四十三條 鑛業權者ハ鑛業權ノ設定若ハ移轉ノ登録アリタル日ヨリ六箇月以内ニ事業ニ著手セス又ハ六箇月以上休業セムトスルトキハ其ノ期間ヲ附シ理由ヲ詳記シテ鑛山監督局長ニ届出ヘシ
休業期間内ニ事業ニ著手シタルトキハ遲滯ナク其ノ旨ヲ鑛山監督局長ニ届出ヘシ

第四十四條 採掘權者施業案ノ認可ヲ申請セムトスルトキハ様式第十九號ニ準シテ調製シタル施業案ニ其ノ説明圖面ヲ添附シ之ヲ鑛山監督局長ニ差出スヘシ

鑛業ノ種類又ハ狀況ニ依リ前項ノ規定ニ依リ難キモノアルトキハ理由ヲ明示シ様式ノ記載事項ヲ増減スルコトヲ得

第四十五條 採掘權者施業案ノ變更ノ認可ヲ申請セムトスルトキハ様式第十九號ニ準シテ調製シタル新ナル施業案ニ其ノ説明圖面及變更ノ理由ヲ詳記シタル書面ヲ添附シ之ヲ鑛山監督局長ニ差出スヘシ

第四十六條 鑛山監督局長鑛業法第四十五條ノ規定ニ依リ施業案ノ變更ヲ命スルニハ少クトモ三十日以上ノ期限ヲ附シテ認可ヲ受クヘキコトヲ命スヘシ

第四十七條 抗内實測圖ハ平面圖及截面圖ノ二種トシ少クトモ毎月末ニ於ケル掘進ノ狀況ヲ測定シ翌月中ニ調製スヘシ

抗内實測圖ノ複本ハ石炭坑ニ在リテハ毎年六月末日及十二月末日迄ノ分ヲ各八月末日及二月末日迄ニ其ノ他ニ在リテハ毎年十二月末日迄ノ分ヲ二月末日迄ニ差出スヘシ但シ鑛山ノ狀況ニ依リ必要ト認ムルトキハ鑛山監督局長ハ何時ニテモ抗内實測圖ノ複本ノ提出ヲ命シ又ハ其ノ提出期若ハ提出回数ノ變更ヲ命スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リテ差出シタル前期ノ抗内實測圖複本ハ請求ニ因リ之ヲ下付ス

第四十八條 鑛業簿ニハ鑛產物ノ數量、其ノ販賣高、販賣代價、行業日數及工數ヲ記載スヘシ

鑛業簿ノ複本ハ毎年六月末日及十二月末日迄ノ分ヲ各七月末日及一月末日迄ニ差出スヘシ

第四十九條 前二條ノ規定ニ依リテ調製シ若ハ差出スヘキ書類又ハ圖面ハ採掘權ノ消滅又ハ移轉ノ

場合ニハ採掘權ヲ有セシ者ニ於テ其ノ登録ノ日ヨリ三十日以内ニ調製シ若ハ差出スヘシ

第五十條 鑛業明細表ハ様式第十八號ニ準シテ之ヲ調製シ毎年一月末日迄ニ其ノ前年分ヲ差出スヘシ

第五十一條 前條ノ規定ニ依リテ差出スヘキ書類ハ鑛業權ノ消滅又ハ移轉ノ場合ニハ鑛業權ヲ有セシ者ニ於テ其ノ登録ノ日ヨリ三十日以内ニ差出スヘシ

第五十二條 前五條ノ規定ニ依リ抗内實測圖若ハ鑛業簿ノ複本又ハ鑛業明細表ヲ差出スヘキ場合ニ於テ記載スヘキ事項ナキトキハ其ノ旨ヲ届出ヘシ

第五十三條 二箇以上ノ鑛區ニ付合併施業ヲ爲ス場合ニ於テハ第四十四條、第四十五條及第四十七條乃至第五十一條ノ書類又ハ圖面ハ合併シテ之ヲ調製スルコトヲ得

第五十四條 鑛業權者自ラ鑛業ヲ管理セサルトキハ鑛業代理人ヲ選任シ鑛山監督局長ニ届出ヘシ鑛

業代理人ヲ變更シタルトキ亦同ジ

前項ノ代理人ハ鑛業法及鑛業法ノ施行ニ關スル命令ノ規定ニ依リテ鑛業ノ管理ニ關シ鑛業權者ノ爲スヘキ一切ノ手續其ノ他ノ行爲ヲ委任セラレタルモノト看做ス但シ鑛業權者ハ其ノ代理權ニ制限ヲ加ヘタルトキハ遲滯ナク其ノ旨ヲ届出ヘシ

鑛山監督局長必要アリト認メタルトキハ鑛業權者ニ鑛業代理人ノ變更ヲ命スルコトヲ得

第五十五條 試掘權者ハ試掘工程表ヲ調製シテ一箇月毎ニ開坑ニ關スル狀況、鑛產物ノ數量、行業日數及工數ヲ記載スヘシ

第五十六條 試掘ニ依リテ得タル鑛產物ヲ處分セムトスルトキハ其ノ方法及數量ヲ記載シ鑛山監督局長ニ出願スヘシ

第五十七條 鑛業法第四十九條ノ規定ニ依ル實地調査ノ願書ニハ調査區域及其ノ理由ヲ詳記シタル書面ヲ添附スヘシ

鑛山監督局長調査ヲ要スルモノト認メタルトキハ調査日數並之ニ要スル人夫及物品ノ豫定書ヲ調製シ出願人ニ交附スヘシ

出願人ハ人夫及物品ヲ準備シ現場ニ立會フヘシ

第五十八條 鑛業法第五十二條ノ規定ニ依リテ他人ノ土地ニ立入り測量又ハ検査ヲ爲サムトスル者ハ土地ノ所在、地目及其ノ目的ヲ記載シタル願書ヲ差出スヘシ

第五十九條 鑛業法第五十三條ノ規定ニ依リテ障碍物ヲ除却セムトスル者ハ障碍ノ種類、名稱、存在ノ場所、所有者及占有者ノ氏名又ハ名稱並豫定價額ヲ記載シタル願書ヲ差出スヘシ

第六十條 鑛業法第五十四條ノ規定ニ依リテ他人ノ土地ニ立入り又ハ之ヲ使用セムトスル者ハ土地ノ所在、占有者ノ氏名又ハ名稱及其ノ目的ヲ記載シテ出願スヘシ

前項ノ出願ハ電信ニ依リテ之ヲ爲スコトヲ得

本條ノ出願ニ對シ電信ヲ以テ指令ヲ受ケムトスル者ハ土地ノ所在、占有者ノ氏名又ハ名稱及立入り又ハ使用ノ目的ヲ記スルニ相當スル電信料ヲ前納スヘシ

第六十一條 鑛業法第五十二條乃至第五十四條ノ規定ニ依リテ他人ノ土地ニ立入り、之ヲ使用シ又ハ障碍物ヲ除却セムトスル者ハ鑛山監督局長ノ許可證ヲ携帯スヘシ

第六十二條 鑛業法第五十六條ノ規定ニ依リテ他人ノ土地ヲ使用セムトスル者ハ土地ノ所在、地目、面積、所有者ノ氏名又ハ名稱、住所、使用ノ目的、時期及期間ヲ記載シタル願書ニ土地登記簿本、未登記ノ土地ニ付テハ土地臺帳謄本、關係地實測圖及工事設計書ヲ添ヘテ差出スヘシ

第六十三條 鑛業權者鑛業法ノ規定ニ基キテ他人ノ土地ニ關スル權利ヲ取得シタルトキ、使用ヲ始メタルトキ、使用ヲ終リタルトキ又ハ使用セサルニ至リタルトキハ直ニ鑛山監督局長ニ届出ヘシ

前項ノ權利取得ニ關スル届書ニハ土地ノ所在、地目、面積、所有者ノ氏名又ハ名稱、住所、使用ノ目的、時期及期間並補償金及擔保ヲ記載スヘシ

第六十三條ノ二 鑛業法第七十四條ノ四第一項ノ規定ニ依リ石炭ヲ目的トスル鑛業權者ノ毎年供託スヘキ金錢ノ額ハ石炭一噸ニ付五十錢以內ニ於テ其ノ前年中ニ掘採シタル石炭ノ數量ニ應シ鑛區

毎ニ鑛山監督局長之ヲ定ム

前項ノ金錢ハ毎年三月中ニ之ヲ供託スヘシ

第六十三條ノ三 石炭ヲ目的トスル鑛業權者ハ鑛業權消滅ノ場合ニ於テハ前條ノ規定ニ準シ其ノ年ノ一月一日ヨリ鑛業權消滅ノ日ニ至ル期間内ニ掘採シタル石炭ノ數量ニ應シ鑛山監督局長ノ定ムル額ニ相當スル金錢ヲ遲滞ナク供託スヘシ

前項ノ場合ニ於テ前條ノ規定ニ依リ供託スヘキ金錢ノ供託ヲ了セサルトキハ前條第二項ノ規定ニ拘ラス前項ノ金錢ト同時ニ之ヲ供託スヘシ

第六十三條ノ四 石炭ヲ目的トスル鑛業權者特別ノ事情ニ依リ鑛山監督局長ノ許可ヲ受ケタルトキハ其ノ供託スヘキ金錢ヲ四回以内ニ分割シテ供託スルコトヲ得

前項ノ許可ヲ受ケムトスル者ハ左ニ掲クル事項ヲ記載シタル許可申請書ヲ三月十日迄ニ鑛山監督局長ニ提出スヘシ

- 一 鑛業權者ノ氏名又ハ名稱及住所
- 二 鑛業權ノ登録番號

- 三 分割ノ回数並供託ノ時期及各回ノ供託金額
- 四 分割シテ供託セムトスル事由

第六十三條ノ五 鑛業法第七十四條ノ四第一項ノ規定ニ依ル供託ハ鑛山監督局長ノ指定スル供託局、供託局出張所又ハ供託事務ヲ取扱フ銀行ニ之ヲ爲スヘシ

第六十三條ノ六 鑛業法第七十四條ノ四第一項但書ノ規定ニ依リ供託スル國債ノ供託價格ハ供託スル月ノ前月末日ノ時價ヲ超ユルコトヲ得ス

第六十三條ノ七 石炭ヲ目的トスル鑛業權者鑛業法第七十四條ノ四第一項ノ規定ニ依リ供託ヲ爲シ

タルトキハ供託物受入ノ記載アル供託書ノ寫及供託價格ヲ記載シタル書面ヲ添附シ遲滞ナク之ヲ鑛山監督局長ニ届出ツヘシ

鑛山監督局長必要アリト認ムルトキハ前項ノ鑛業權者ニ對シ供託物受入ノ記載アル供託書ノ提出ヲ命スルコトヲ得

第六十三條ノ八 石炭ヲ目的トスル鑛業權者又ハ鑛業權者タリシ者鑛業法第七十四條ノ四第一項ノ供託物ノ取戻ヲ爲サムトスルトキハ大正十一年司法省令第二號供託物取扱規則又ハ大正十一年司法省令第四號ノ手續ニ依ルノ外鑛山監督局長カ其ノ取戻ヲ承認シタルコトヲ證スルニ足ル書面ヲ供託局、供託局出張所又ハ供託事務ヲ取扱フ銀行ニ提出スヘシ

前項ノ承認ヲ受ケムトスル者ハ左ニ掲クル事項ヲ記載シタル申請書ヲ鑛山監督局長ニ提出スヘシ

- 一 鑛業權者ノ氏名又ハ名稱及住所
- 二 鑛業權ノ登録番號
- 三 取戻ヲ爲サムトスル金額（供託物カ國債ナルトキハ其ノ種類、記號、番號、枚數、券面額及供託價格）

- 四 取戻ヲ爲サムトスル事由

- 五 當該鑛區ニ付現ニ存スル供託金額（供託物カ國債ナルトキハ其ノ種類、記號、番號、枚數、券面額及供託價格）

第六十四條乃至第六十七條 削除

第六十八條 鑛業法第九十條第一項又ハ第九十二條第一項（同條第四項ノ規定ニ依リ準用スル場合

ヲ含ムノ規定ニ依ル申請書ニハ左ニ掲クル事項ヲ記載シ請求地ニ於ケル工事又ハ鑛床ノ關係圖並所有者及關係人又ハ鄰接鑛業權者若ハ異種ノ鑛物ヲ目的トスル鑛業權者ト交渉シタル始末書ヲ添附スヘシ但シ交渉ヲ爲スコト能ハサルトキハ其ノ事由書ヲ以テ始末書ニ代フルコトヲ得

- 一 申請人ノ氏名又ハ名稱及住所
- 二 所有者及關係人又ハ鄰接鑛業權者ノ氏名又ハ名稱及住所
- 三 鑛業權ノ登録番號
- 四 申請ノ目的及理由

鑛山監督局長前項ノ申請書ヲ受理シタルトキハ之ヲ所有者及關係人又ハ鄰接鑛業權者若ハ異種ノ鑛物ヲ目的トスル鑛業權者ニ交付スヘシ

所有者及關係人又ハ鄰接鑛業權者若ハ異種ノ鑛物ヲ目的トスル鑛業權者ハ申請書ノ交付ヲ受ケタル日ヨリ十四日以内ニ答辯書ヲ差出スヘシ

申請人第六條ノ規定ニ依ル命令ノ期限内ニ修正又ハ補充ヲ爲ササルトキハ申請書ヲ却下ス
裁決書ニハ理由ヲ附シテ鑛山監督局長之ヲ申請人、所有者及關係人、鄰接鑛業權者、異種ノ鑛物ヲ目的トスル鑛業權者ニ交付スヘシ

第六十九條 鑛業法第九十條第二項又ハ第九十二條第二項（同條第四項ノ規定ニ依リ準用スル場合

ヲ含ム）ノ規定ニ依ル訴願ニハ鑛山監督局長ノ與ヘタル裁決書ノ謄本ヲ添ヘテ差出スヘシ

第七十條 削除

第七十一條 鑛業法第九十三條第二項ノ規定ニ基ク處分又ハ裁決ノ公示ハ鑛山監督局ノ揭示場ニ揭示スルコトニ依リテ之ヲ爲ス

第七十二條 第二十二條第二項若ハ第二十二條ノ二第二項ノ規定ニ違背シタル者又ハ第二十二條ノ二第一項、第二十四條第一項若ハ第五十四條第三項ノ規定ニ依ル命令ニ違背シタル者ハ三月以下ノ懲役又ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第七十二條ノ二 第二十六條、第二十七條、第四十條乃至第四十三條、第四十九條、第五十一條、第五十二條、第五十五條、第六十一條若ハ第六十三條ノ規定ニ違背シタル者又ハ第三十七條第一項ノ規定ニ依ル命令ニ違背シタル者若ハ同條第三項ノ規定ニ違背シ期間内ニ登録稅ヲ納メサル者ハ百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

第七十三條 第五十四條ノ規定ニ依リテ鑛業代理人ヲ定メタル場合ニハ鑛業權者ニ適用スヘキ本則ノ罰則ハ之ヲ鑛業代理人ニ適用ス但シ其ノ權限ニ屬セサル事項ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第七十四條 本則ハ第六十三條ノ二乃至第六十三條ノ八第七十二條及第七十二條ノ二ノ規定ヲ除クノ外國ノ鑛業ニ之ヲ準用ス

第七十四條ノ二 鑛業法第十二條ノ二第二項ノ證票ハ様式第二十號ニ依ル

附則

第七十五條 本則ハ明治三十八年七月一日ヨリ之ヲ施行ス

鑛業法施行細則

第七十六條 鑛業條例ノ施行ニ關スル農商務省令及農商務省告示ハ本則施行ノ日ヨリ之ヲ廢止ス

第七十七條 鑛業條例ノ施行ニ關スル農商務省令及農商務省告示ニ依リテ爲シタル手續其ノ他ノ行爲ハ本則中之ニ相當スル規定アル場合ニ於テハ本則ニ依リテ之ヲ爲シタルモノト看做ス

第七十八條 本則施行前ニ爲シタル手續其ノ他ノ行爲ニシテ鑛業法及本則中ニ別段ノ定ナキモノニ付テハ鑛業條例ノ施行ニ關スル農商務省令及農商務省告示ノ規定ヲ適用ス

第七十九條 鑛業條例第四十六條第一項ノ規定ニ依リテ爲シタル出願ニシテ抵當權者ノ承諾書ヲ添ヘタルモノニ付テハ鑛山監督局長ハ相當ノ期限ヲ附シテ抵當權ノ順位ニ關スル協定書ヲ差出サシムルコトヲ得

第八十條 本則施行前ニ明治三十二年農商務省令第三號ノ規定ニ依リテ鑛業總代人ト看做サレタル者ハ本則ノ規定ニ依リテ定メタル代表者ト看做ス

第八十一條 本則施行前ヨリ引續キ鑛業ヲ爲ス者ハ本則施行ノ日ヨリ十日以内ニ鑛區所在地又ハ其ノ附近ニ鑛業事務所ヲ定メ鑛山監督局長ニ届出ツヘシ

第八十二條 本則施行前試掘ノ認可又ハ採掘ノ特許ヲ得タル者ニ付テハ第四十三條ノ期間ハ本則施行ノ日ヨリ之ヲ起算ス

第八十三條 本則施行前ヨリ引續キ採掘ヲ爲ス者ハ明治三十八年十一月末日迄ニ第四十四條ノ規定ニ依リテ調製シタル施業案ヲ差出スヘシ

第八十四條 明治三十二年農商務省令第三號ノ規定ニ依ル鑛業代理人ハ本則ノ規定ニ依ル鑛業代理人ト同一ノ權限ヲ委任セラレタルモノト看做ス

第八十五條 鑛業條例第四十八條ノ規定ニ依リ他人ノ土地ヲ使用スル者ハ本則施行ノ日ヨリ九十日以内ニ土地ノ名稱、種目及使用ノ目的ヲ記載シタル届書ニ關係地實測圖工事設計書及使用ノ權利ヲ證スル書面ヲ添ヘテ差出スヘシ

第八十六條 鑛業條例第六十四條第二項ノ規定ニ依リ認可ヲ得タル鑛夫使役規則中第六十四條ニ規定シタル事項ニ付其ノ規定ヲ異ニスルモノアルトキハ採掘權者ハ本則施行ノ日ヨリ三十日以内ニ之ヲ改定シテ許可ヲ受クヘシ

第八十七條 鑛業條例第七十條ノ規定ニ依リテ調製シタル鑛夫名簿中第六十五條ニ規定シタル事項ニ付其ノ規定ヲ異ニスルモノアルトキハ本則施行ノ日ヨリ六十日以内ニ之ヲ改定スヘシ

第八十八條 本則施行前ヨリ引續キ試掘ヲ爲ス者ハ本則施行ノ日ヨリ三十日以内ニ第六十五條ノ規定ニ依リテ鑛夫名簿ヲ調製スヘシ

第八十九條 鑛業條例第七十三條ノ規定ニ依リ認可ヲ得タル鑛夫救恤規則中第六十六條ニ規定シタル事項ニ付其ノ規定ヲ異ニスルモノアルトキハ採掘權者ハ本則施行ノ日ヨリ三十日以内ニ之ヲ改定シテ許可ヲ受クヘシ但シ改定前ニ扶助ヲ必要トスル場合ニ於テハ其ノ給與金額ハ第六十六條ニ定メタル最低額ヲ下ルコトヲ得ス

第九十條 本則施行前ヨリ引續キ試掘ヲ爲ス者ハ本則施行ノ日ヨリ三十日以内ニ第六十六條ノ規定ニ依リテ扶助規則ヲ差出シ許可ヲ受クヘシ

第九十一條 鑛業法第十九條ノ規定ニ依ル願書ニハ左ノ書類ヲ添附スヘシ

- 一 事業ノ現狀ヲ詳記セル書類

二 明治三十七年十二月三十一日以前ヨリ引續キ出願礦物ヲ採取スルコトヲ證スル書類

第九十二條

鑛業法第二百十條ノ規定ニ依ル屆書ニハ左ノ書類及圖面ヲ添附スヘシ

一 事業ノ現狀ヲ詳記セル書類

二 明治三十九年十二月三十一日以前ヨリ引續キ鑛業法第二條第二項ノ可燃質天然瓦斯ヲ採取スルコトヲ證スル書類

三 坑井ノ所在ヲ認知シ得ヘキ圖面

前項第三號ノ圖面ニハ左ニ掲ケル事項ヲ明示スヘシ

一 所在地ノ名稱及種目

二 不動基點並其ノ名稱及特徵

三 坑井ト不動基點ト連結シタル測點間ノ方位及間數

第九十三條

昭和九年法律第三十七號附則第三項ノ規定ニ依ル願書ニハ左ノ書類ヲ添附スベシ

一 事業ノ現狀ヲ詳記セル書類

二 昭和九年法律第三十七號施行ノ際現ニニツケル鑛、コバルト鑛、石膏又ハ重晶石ヲ掘採スル者又ハ其ノ承繼人タルコトヲ證スル書類

三 法人ニ在リテハ定款

願書ニ添附スベキ圖面ニハ第十九條ニ掲ケル事項ノ外昭和九年法律第三十七號施行ノ際現ニニツケル鑛、コバルト鑛、石膏又ハ重晶石ヲ掘採スル區域ト出願區域トノ關係ヲ明示スベシ

第一項ノ願書ニシテ第十條ノ規定ニ依リ鑛物ノ名稱ヲ更正セントスルモノナルトキハ前項ノ規定

ニ準ジテ調製シタル圖面ヲ添附スベシ

第九十四條

昭和九年法律第三十七號附則第五項ノ規定ニ依ル申請書ニハ左ニ掲ケル事項ヲ記載ス

ベシ

一 申請人ノ氏名又ハ名稱及住所

二 土地ノ所在、地目及面積

三 土地所有者ノ氏名又ハ名稱及住所

四 鑛業權ノ登録番號

五 申請ノ目的及理由

前項ノ申請書ニハ昭和九年法律第三十七號施行ノ際現ニニツケル鑛、コバルト鑛、石膏又ハ重晶石ノ掘採ニ付土地所有者ニ支拂フ代價ニ關スル契約又ハ慣習ヲ證スル書面並ニ土地登記謄本、未登記ノ土地ニ付テハ土地臺帳謄本、請求地ニ於ケル鑛床ノ關係圖、關係地實側圖及土地所有者ト交渉シタル始末書ヲ添附スベシ但シ交渉ヲ爲スコト能ハザルトキハ其ノ事由書ヲ以テ始末書ニ代フルコトヲ得

第六十八條第二項乃至第六項ノ規定ハ第一項ノ裁決ノ申請ノ場合ニ之ヲ準用ス

第九十五條

砂鑛法施行細則第十六條及第十七條ノ規定ハ昭和九年法律第三十七號附則第七項ノ規定ニ依ル裁決ノ申請及訴願ノ場合ニ之ヲ準用ス

第九十六條

昭和十五年法律第二百二號附則第四條ノ規定ニ依ル願書ニハ左ノ書類ヲ添附スベシ

一 事業ノ現狀ヲ詳記セル書類

鑛業法施行細則

二 昭和十五年法律第百二號（第十條ノ改正規定ヲ除ク以下之ニ同ジ）施行ノ際現ニ明礬石、螢石、石棉又ハ炭化水素ヲ主成分トスル天然瓦斯（含油層ト密接ノ關係アル可燃質天然瓦斯ヲ除ク以下之ニ同ジ）ヲ掘採スル者又ハ其ノ承繼人タルコトヲ證スル書類

三 法人ニ在リテハ定款
願書ニ添附スベキ圖面ニハ第十九條第一項ニ掲グル事項ノ外昭和十五年法律第百二號施行ノ際現ニ明礬石、螢石、石棉又ハ炭化水素ヲ主成分トスル天然瓦斯ヲ掘採スル區域ト出願區域トノ關係ヲ明示スベシ

第一項ノ願書ニシテ第十條ノ規定ニ依リ鑛種ノ名稱ヲ更正セントスルモノナルトキハ前項ノ規定ニ準ジテ調製シタル圖面ヲ添附スベシ

第九十七條 昭和十五年法律第百二號附則第五條又ハ第八條ノ規定ニ依ル願書ニハ其ノ旨ヲ記載シ且之ニ添附スベキ圖面ニハ新區域ガ舊區域ト異ルトキハ其ノ關係ヲ明示スベシ

第九十八條 昭和十五年法律第百二號附則第七條第二項ノ規定ニ依ル申請書ニハ左ニ掲グル事項ヲ記載スベシ

- 一 申請人ノ氏名又ハ名稱及住所
- 二 土地ノ所在、地目及面積
- 三 土地所有者ノ氏名又ハ名稱及住所
- 四 鑛業權ノ登錄番號
- 五 申請ノ目的及理由

前項ノ申請書ニハ昭和十五年法律第百二號施行ノ際現ニ明礬石、螢石、石棉又ハ炭化水素ヲ主成分トスル天然瓦斯ノ掘採ニ付土地所有者ニ支拂フ代償ニ關スル契約又ハ慣習ヲ證スル書面並ニ土地登記謄本、未登記ノ土地ニ付テハ土地臺帳謄本、請求地ニ於ケル鑛床ノ關係圖、關係地實測圖及土地所有者ト交渉シタル始末書ヲ添附スベシ但シ交渉ヲ爲スコト能ハザルトキハ其ノ事由書ヲ以テ始末書ニ代フルコトヲ得

第六十八條第二項乃至第六項ノ規定ハ第一項ノ裁決ノ申請ノ場合ニ之ヲ準用ス

第九十九條 砂鑛法施行細則第十六條及第十七條ノ規定ハ昭和十五年法律第百二號附則第九條ノ規定ニ依ル裁決ノ申請及訴願ノ場合ニ之ヲ準用ス

第一百條 昭和十五年法律第百二號附則第十條但書ノ規定ニ依リ試掘權ノ存續期間ノ延長ヲ申請セントスル者ハ當該試掘權ノ存續期間滿了ノ日前六月乃至一年內ニ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル申請書正副二通ヲ商工大臣ニ提出スベシ

- 一 試掘權者ノ氏名又ハ名稱及住所
- 二 試掘權ノ登錄番號
- 三 鑛區所在地
- 四 申請ノ理由
- 五 試掘權存續期間中ニ於ケル各年別採行實績

第一百一條 商工大臣試掘權ノ存續期間ヲ延長スベキモノト決定シタルトキ又ハ前條ノ規定ニ依ル申請ヲ理由ナシト決定シタルトキハ其ノ旨ヲ試掘權者ニ通知スベシ

第二百二條

昭和十五年法律第百二號附則第十二條第二項ノ規定ヲ適用スル場合ニ於テハ第三十六條第一項及第三十六條ノ二ノ改正規定ニ拘ラズ仍從前ノ規定ヲ適用ス

第二百三條

昭和十五年法律第百二號附則第十二條第三項又ハ第四項ノ規定ヲ適用スル場合ニ於テハ第三十一條ノ二ノ改正規定ニ拘ラズ仍從前ノ規定ヲ適用ス

第二百四條

本則施行ノ際現ニ鄰接スル鑛區(昭和十五年法律第百二號附則第十二條第三項若ハ第四項ノ規定ニ依ル出願又ハ本則施行前試掘權存續期間中同種ノ鑛物ニ付爲シタル探掘出願ノ出願地ノ中舊試掘鑛區ニ該當スル部分ヲ含ム本條ニ於テ以下同ジ)ノ間ニ從前ノ第十八條ノ規定ニ依ル距離ヲ存スル場合ニ於テ本則施行ノ日ヨリ六月以内ニ其ノ鑛業權者(昭和十五年法律第百二號附則第十二條第三項若ハ第四項ノ規定ニ依ル出願又ハ本則施行前試掘權存續期間中同種ノ鑛物ニ付爲シタル探掘出願ノ出願人ヲ含ム本條ニ於テ以下同ジ)ガ增區出願ヲ爲シタルトキハ其ノ鑛區ノ境界ヨリ鄰接スル鑛區ニ達スル距離ノ半ニ至ル區域ニ付テハ他ノ鑛業權者ニ對シ優先權ヲ有ス第十八條ノ規定ハ前項ノ規定ニ依ル增區出願アリタル場合ニ之ヲ適用スルコトヲ妨ゲズ

樣式第一號

何鑛試掘許可願

何府縣郡市町村大字何

面積何坪

右箇所ニ於テ何鑛試掘許可相成度圖面相添此段相願候也

住所

年 月 日

出願人 氏

名(名稱)印

何鑛山監督局長氏名殿

一 圖面五葉ヲ添附シ適宜契印スヘシ

注意

二 共同出願ノ場合ハ願書ト共ニ連署シタル代表者選定ノ届書ヲ差出スヘシ

但シ願書ニ代表者ヲ表示シテ届出ニ代フルコトヲ得

樣式第二號(探掘ニ在リテハ正副二通)

何鑛試掘(探掘) 出願地増減區(增區、減區)願

何年何月何日出願

何府縣郡市町村内何鑛試掘(探掘) 出願地何坪

增區 何郡市町村大字何

面積何坪

減區 何郡市町村大字何

面積何坪

合計(又ハ差引)何坪

右試掘(探掘)出願地變更許可相成度圖面相添此段相願候也

住所

年 月 日

出願人 氏

名(名稱)印

何鑛山監督局長(商工大臣)氏名殿

鑛業法施行細則

注意 一 圖面ハ試掘ニ關シテハ五葉採掘ニ關シテハ六葉ヲ添附シ適宜契印スヘシ

樣式第三號 採掘ニ在リテハ正副二通

何鑛試掘(採掘)鑛區增減區(增區、減區)願

何府縣(郡)試掘(採掘)權登錄第何 號

何府縣郡市町村內何鑛試掘(採掘)鑛區何坪

增區 何郡市町村大字何

面積何坪

減區 何郡市町村大字何

面積何坪

合計(又ハ差引)何坪

右試掘(採掘)鑛區變更許可相成度圖面相添此段相願候也

住所

年 月 日

試掘(採掘)權者氏

名(名稱)印

何鑛山監督局長(商工大臣)氏名殿

注意事項 樣式第二號ニ同シ

樣式第四號 採掘ニ在リテハ正副二通

何鑛試掘(採掘)鑛區改正願

何府縣(郡)試掘(採掘)權登錄第何 號

何府縣郡市町村內何鑛試掘(採掘)鑛區何坪

增區 何郡市町村大字何

面積何坪

減區 何郡市町村大字何

面積何坪

合計(又ハ差引)何坪

右試掘(採掘)鑛區ニ關スル何號御命令ノ通改正許可相成度圖面相添此段相願候也

住所

年 月 日

試掘(採掘)權者 氏

名(名稱)印

何鑛山監督局長(商工大臣)氏名殿

注意 圖面四葉ヲ適宜契印スヘシ

樣式第五號 採掘ニ在リテハ正副二通

試掘(採掘)鑛種名更正願

何府縣(郡)試掘(採掘)權登錄第何 號

右試掘(採掘)權ノ鑛種ハ何鑛トシテ登錄相成候處何鑛ト更正許可相成度別紙理由書相添此段相願候也

願候也

住所

鑛業法施行細則

年 月 日

試掘(探掘)權者 氏

名(名稱)印

五八

何鑛山監督局長(商工大臣) 氏名殿

樣式第六號(探掘ニ在リテハ正副二通)

試掘(探掘) 出願人變更屆

何年何月何日出願

何府縣郡市町村內何鑛試掘(探掘) 出願地何坪

右試掘(探掘) 出願人何某ニ變更致候間新舊出願人連署此段屆出候也

住所

年 月 日

舊出願人 氏

名(名稱)印

住所

新出願人 氏

名(名稱)印

何鑛山監督局長(商工大臣) 氏名殿

注意
一 新出願人二人以上ナル場合ニハ屆書ト共ニ連署シタル代表者選定ノ屆書ヲ差
出スヘシ但シ本屆書ニ代表者ヲ表示シテ届出ニ代フルコトヲ得
二 舊出願人代表者ニテ届出ヲ爲スニハ決議書又ハ之ニ相當スル書面ヲ添附スヘ
シ

樣式第七號(探掘ニ在リテハ正副二通)

試掘(探掘) 出願相續屆

何年何月何日出願

何府縣郡市町村內何鑛試掘(探掘) 出願地何坪

一 右試掘(探掘) 出願人何某死亡(其ノ他相續ノ原因ヲ記載ス)ニ因リ相續致候間戶籍抄本(又ハ
相續ニ關スル證明書) 相添此段屆出候也

住所

年 月 日

相續人 氏

名 印

何鑛山監督局長 氏名殿

樣式第八號(探掘ニ在リテハ正副二通)

共同試掘(探掘) 出願人脫退屆

何年何月何日出願

何府縣郡市町村內何鑛試掘(探掘) 出願地何坪

右共同出願人何某何(脫退ノ原因ヲ記載ス)ノ爲脫退致候間別紙何(脫退ノ原因ヲ證スル書面)
相添此段屆出候也

住所

年 月 日

代表者 氏

名(名稱)印

何鑛山監督局長 氏名殿

樣式第九號(正副二通)

何鑛探掘許可額

何府縣郡市町村大字何

鑛業法施行細則

五九

面積何坪

右箇所ニ於テ何鑛探掘許可相成度圖面竝鑛床説明書相添此段相願候也

住所

年 月 日

出願人氏

名(名稱)印

商工大臣氏名殿

(注意事項 様式第一號ニ同シ但シ圖面五葉トアルハ圖面六葉トス)

様式第十號(正副二通)

何鑛探掘出願地(鑛區)訂正願

何年何月何日出願(何府縣(郡)探掘權登錄第何號)

何府縣郡市町村内何鑛探掘出願地(鑛區)何坪

増區 何郡市町村大字何

面積何坪

減區 何郡市町村大字何

面積何坪

合計(又ハ差引)何坪

右探掘出願地(鑛區)訂正許可相成度圖面竝訂正理由書相添此段相願候也

住所

年 月 日

出願人(探掘權者)氏

名(名稱)印

商工大臣氏名殿

一 圖面五葉ヲ添附シ適宜契印スヘシ

注意 二 鑛業法第二十五條ニ依ル出願ノ場合ハ理由書ヲ要セス但シ此ノ場合ニ於テハ命令何號ニ依ルモノナルコトヲ記載スヘシ

様式第十一號(正副二通)

何鑛探掘鑛區合併願

一 何府縣(郡)探掘權登錄第何 號

何府縣郡市町村内何鑛探掘鑛區何坪

一 何府縣(郡)探掘權登錄第何 號

何府縣郡市町村内何鑛探掘鑛區何坪

合計 何坪

右鑛區合併許可相成度圖面竝合併理由書相添此段相願候也

住所

年 月 日

探掘權者 氏

名(名稱)印

商工大臣氏名殿

一 圖面四葉ヲ添附シ適宜契印スヘシ

注意 二 抵當權ノ設定アル場合ハ抵當權者ノ承諾書ヲ添附スヘシ

三 二以上ノ抵當權ノ登錄アル場合ニハ承諾書ノ外抵當權ノ順位ニ關スル協定書ヲ添附スヘシ

四 代表者ニテ出願スル場合ハ決議書又ハ之ニ相當スル書面ヲ添附スヘシ

鑛業法施行細則

様式第十二號(正副二通)

何鑛探掘鑛區分割願

何府縣(郡)探掘權登錄第何號

何府縣郡市町村內何鑛探掘鑛區何坪

此分割

何府縣郡市町村內

面積何坪

何府縣郡市町村內

面積何坪

右鑛區分割許可相成度分割圖面並分割理由書相添此段相願候也

住所

年月日

探掘權者氏

名(名稱)印

商工大臣氏名殿

注意 一 圖面ハ分割區域毎ニ各四葉ヲ調製シ願書ニ添附シテ適宜契印スヘシ

二 其ノ他ノ注意事項ハ様式第十一號中二、三、四號ニ同シ

様式第十三號(正副二通)

鑛業法第三十六條ニ依ル何鑛探掘鑛區訂正願

何府縣(郡)探掘權登錄第何號

何府縣郡市町村內何鑛探掘鑛區何坪

增區 何府縣郡市町村內

面積何坪

合計 何坪

右鑛區ノ鑛床ハ何府縣(郡)探(試)掘權登錄第何號何鑛探(試)掘鑛區ノ未探掘鑛床ト聯絡シ且該鑛區ノ目的タル鑛床ト異ナルニ依リ訂正許可相成度別紙圖面、鑛床圖、鑛床説明書及訂正區域內鑛業權者ノ承諾書(鑛業法第九十條ノ規定ニ依ル裁決書若ハ判決書ノ謄本)並訂正理由書ノ承諾書相添此段相願候也

住所

年月日

探掘權者氏

名(名稱)印

商工大臣氏名殿

注意 一 鑛區圖、鑛床圖各四葉ヲ添附シ適宜契印スヘシ

二 鄰接鑛業權者ノ連署アルトキハ承諾書ノ提出ヲ要セス

様式第十三號ノ二(正副二通)

鑛業法第三十六條ニ依ル何鑛探掘鑛區增區願

何府縣(郡)探掘權登錄第何號

何府縣郡市町村內何鑛探掘鑛區何坪

增區 何府縣郡市町村內

鑛業法施行細則

面積何坪
合計 何坪

右鑛區ヨリ何府縣(郡)探(試)掘權登錄第何號何鑛探(試)掘鑛區へ掘進致度ニ付增區許可相成度別紙圖面、鑛床圖、鑛床説明書並鄰接鑛業權者及抵當權者ノ承諾書相添此段相願候也

年 月 日

住所
探掘權者 氏

名(名稱)印

商工大臣氏名殿

注意事項 (様式第十三號ニ同シ)

様式第十四號(試掘出願ニ付テハ五葉、探掘出願ニ付テハ六葉)

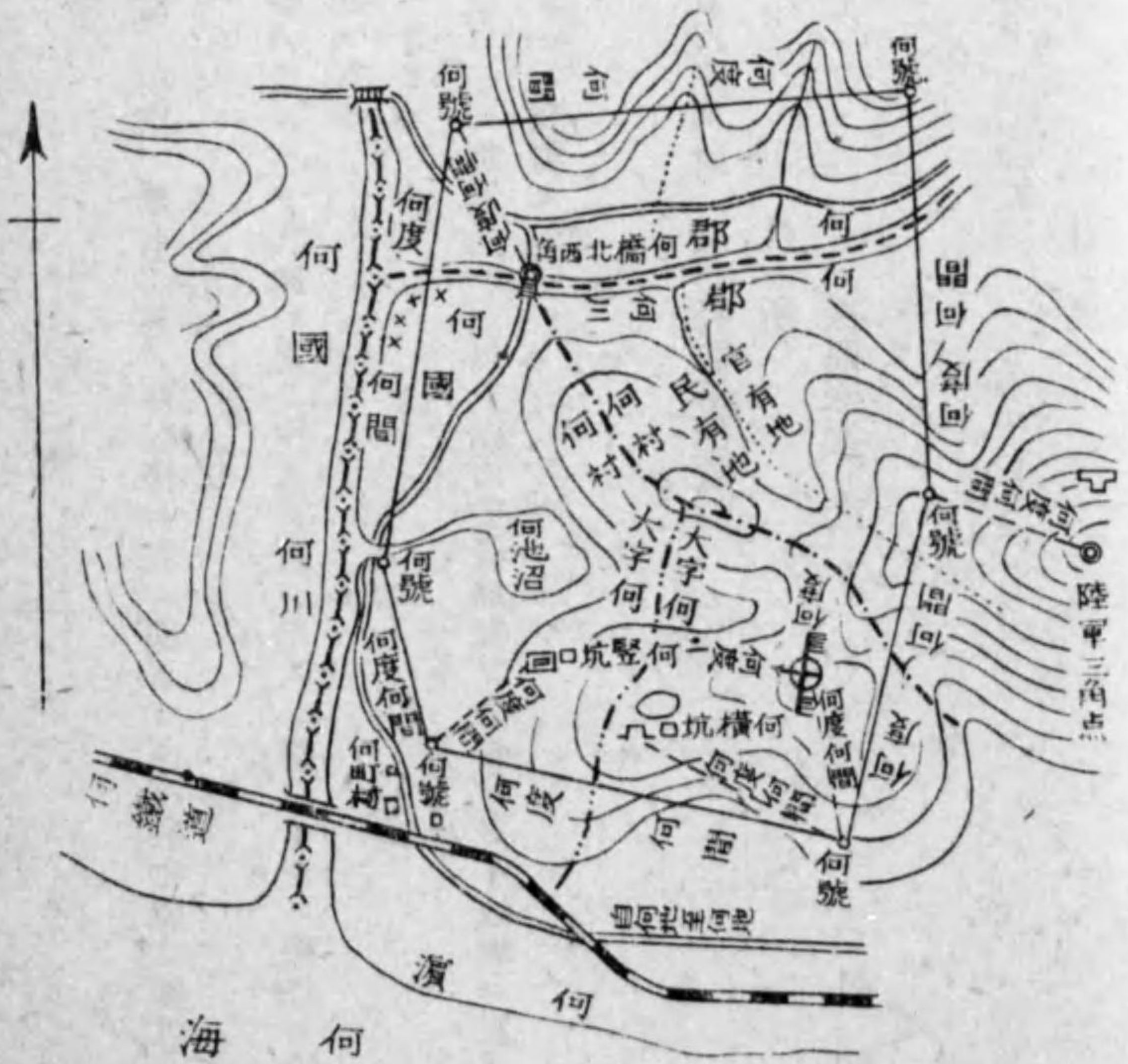
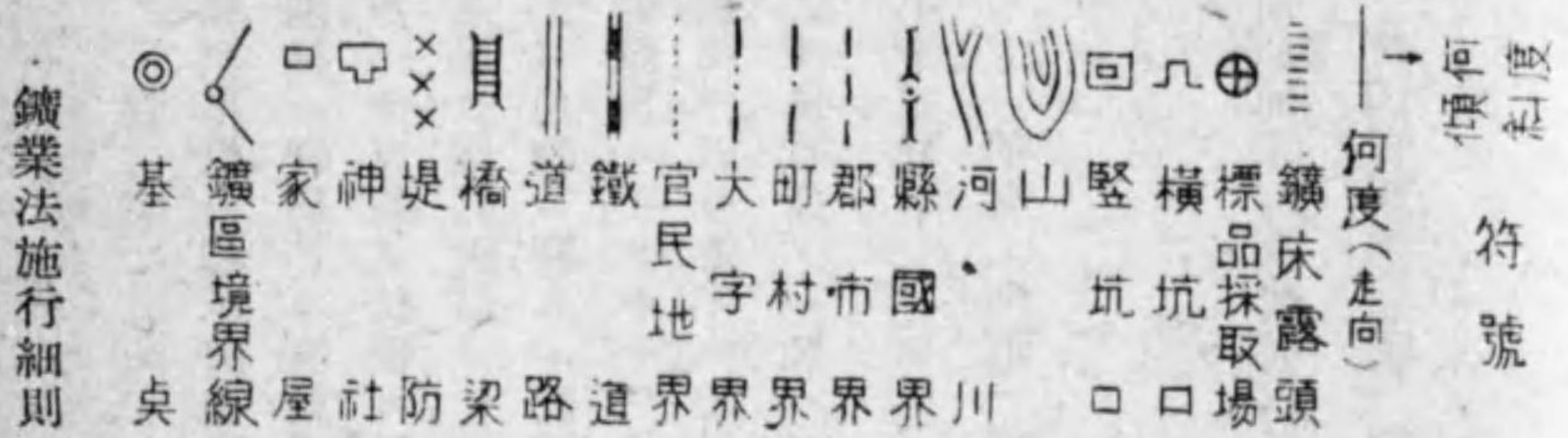
何鑛試掘探掘鑛區圖 縮尺何分ノ一 年 月 日出願

住所

出願人氏

名印

- 何府何國何郡何町
- 何縣何國何市何郡何町
- 大字何 官地又ハ民地 地目
- 大字何 官地又ハ民地 地目
- 面積何 坪



鑛業法施行細則

注意

- 一 圖面用紙ハ礮水引美濃紙ヲ用フヘシ
- 二 基點ハ特稱アル橋梁、家、辻、川段、標石、其ノ他近傍ニ在ル顯著ナル不動物體二箇以上ヲ成ルヘク反對ノ位置ニ選定スヘシ
- 三 基點及測點附近ノ地形及地物ハ成ルヘク詳細ニ之ヲ記入シ若シ記入シ難キトキハ欄外ニ於テ地形又地物ニ關スル説明ヲ附記スヘシ
- 四 鉛筆及「インキ」ヲ使用スヘカラス
- 五 縮尺ハ三千分ノ一又ハ六千分ノ一ニ調製スヘシ但シ鑛山監督局長ノ公告シタル地域ニ在リテハ二千五百分ノ一又ハ五千分ノ一ニ調製スヘシ

様式第十五號甲

何縣(何郡)探掘權登錄第何號(又ハ特許第何號)

住所

探掘權者 氏

名印

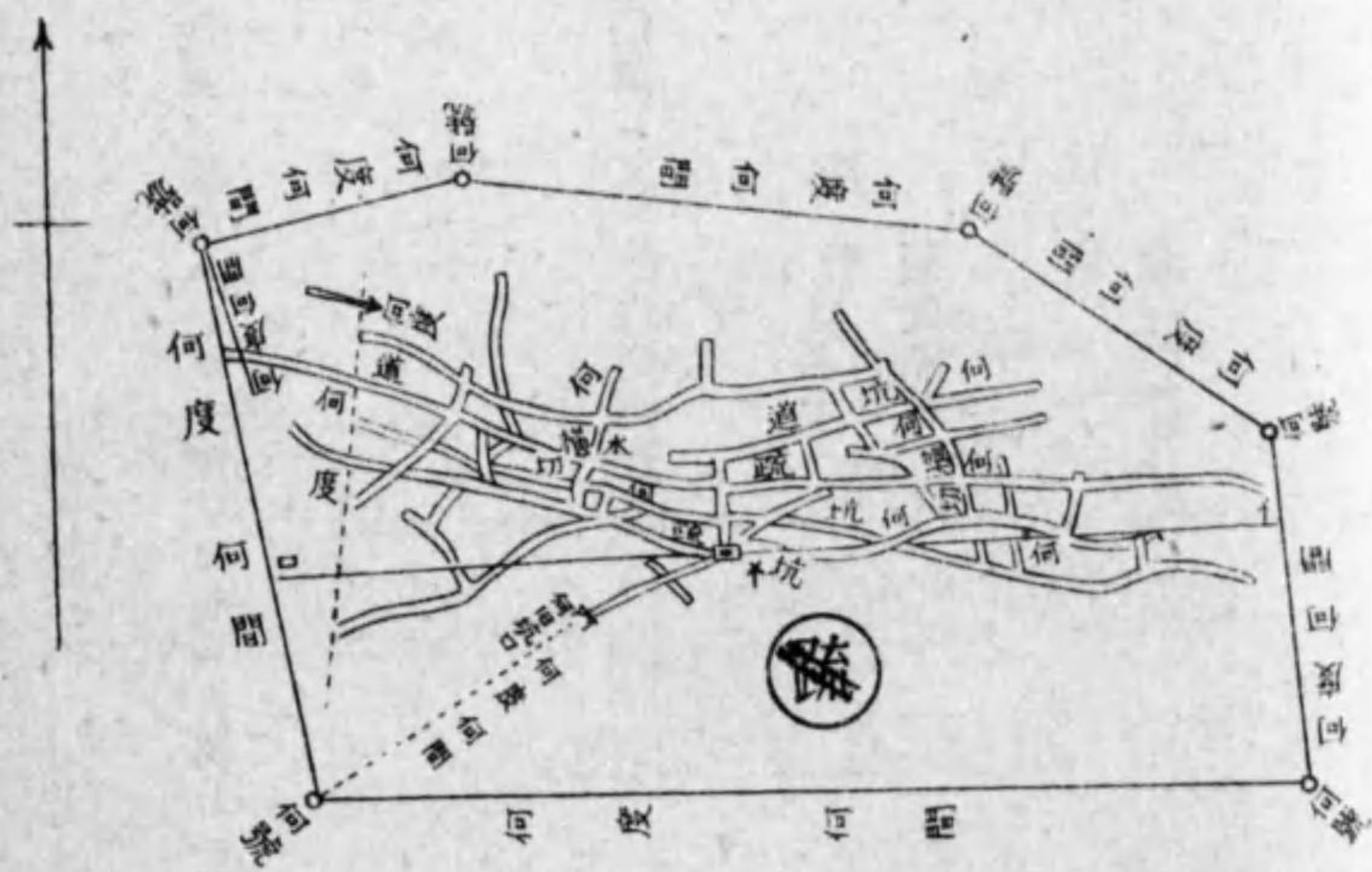
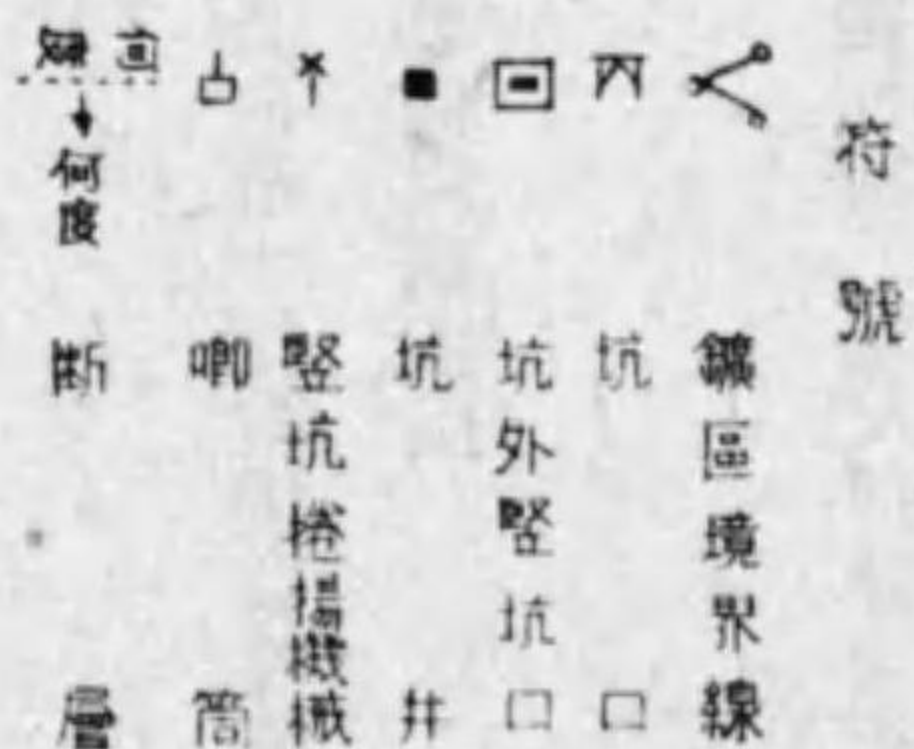
何府何國何郡何村何鑛山

坑内實測平面圖 縮尺何分ノ一

住所

測量者 氏

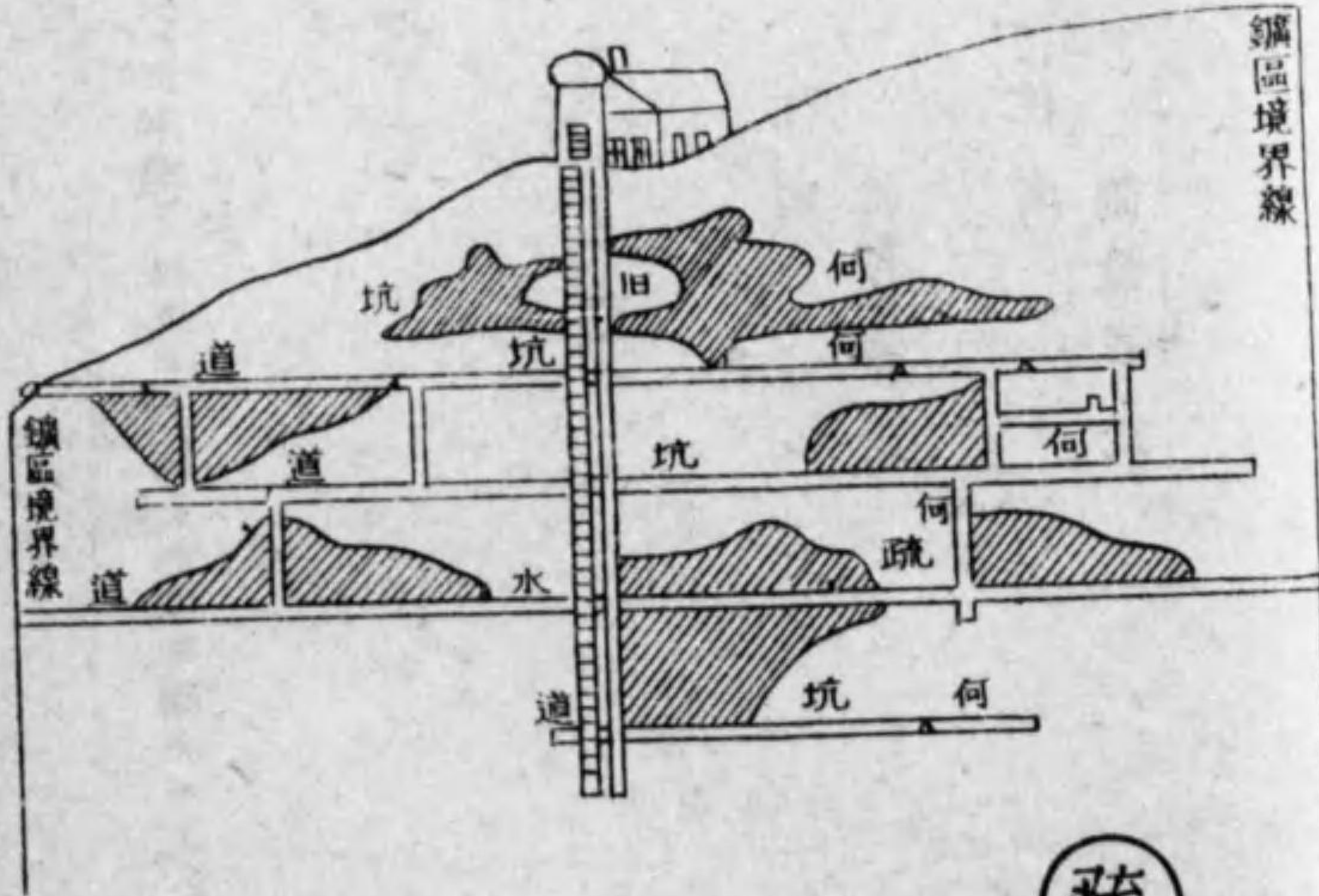
名印



鑛業法施行細則



甲圖(ロイ)線截面面



注意

- 一 坑道ノ上下段ハ色分ヲ以テ區別スヘシ
 - 二 軌道ヲ敷設シタル坑道又ハ機械等設置ノ場所ニシテ本圖ノ尺度ニテ圖上ニ顯シ難キモノハ適宜ノ尺度ヲ用フヘシ
 - 三 圖面縮尺ハ千二百分ノ一ニ調製スヘシ
 - 四 木造堰ハ黃色ニ煉瓦堰ハ赤色ニ色分ヲナスヘシ
- 樣式第十五號乙

何縣(何郡) 採掘權登錄第何號(又ハ特許第何號)
何府何國何郡何村何鑛山

坑內實測截面圖 縮尺何分ノ一

住所

採掘權者 氏

住所

測量者 氏

名印

名印

注意

- 一 坑道ノ上下段ハ色分ヲ以テ區畫スヘシ
 - 二 軌道ヲ敷設シタル坑道又ハ機械等ニシテ本圖ノ尺度ニテ圖上ニ顯シ難キモノハ適宜ノ尺度ヲ用フヘシ
 - 三 圖面縮尺ハ千二百分ノ一ニ調製スヘシ
 - 四 木造堰ハ黃色ニ煉瓦堰ハ赤色ニ色分ヲナスヘシ
- 様式第十六號(石炭鑛ノ分)

何縣(何郡) 探掘登録第何號 (又ハ特許第何號)
 何府何國何郡何村何炭鑛

坑内實測圖 縮尺何分ノ一

住所

探掘權者 氏

名印

住所

測量者 氏

名印

鑛業法施行細則

符號

- ◡ 鑛區境界線
- ⊠ 坑外豎坑口
- 坑 井
- ⊓ 探炭跡

炭層柱狀圖
 尺度二百分ノ一



注意

- 一 平面圖ニハ坑道ヲ着色シテ各炭層ヲ區別スヘシ
- 二 採炭セシ部分ハ坑道ト同色ノ平行線ヲ以テ顯スヘシ
- 三 炭層中ニハサミ物アラハ柱狀圖ニ之ヲ顯スヘシ
- 四 圖面縮尺ハ千二百分ノ一ニ調製スヘシ
- 五 木造堰ハ黄色ニ煉瓦堰ハ赤色ニ色分ヲナスヘシ
- 六 捲揚機械、唧筒、煽風器及軌道其ノ他特種ノモノヲ設置セル場合ニハ適宜ノ符號ヲ用ヒテ之ヲ明示スヘシ

様式第十七號

何縣(何郡) 探掘權登錄第何號(又ハ特許第何號)

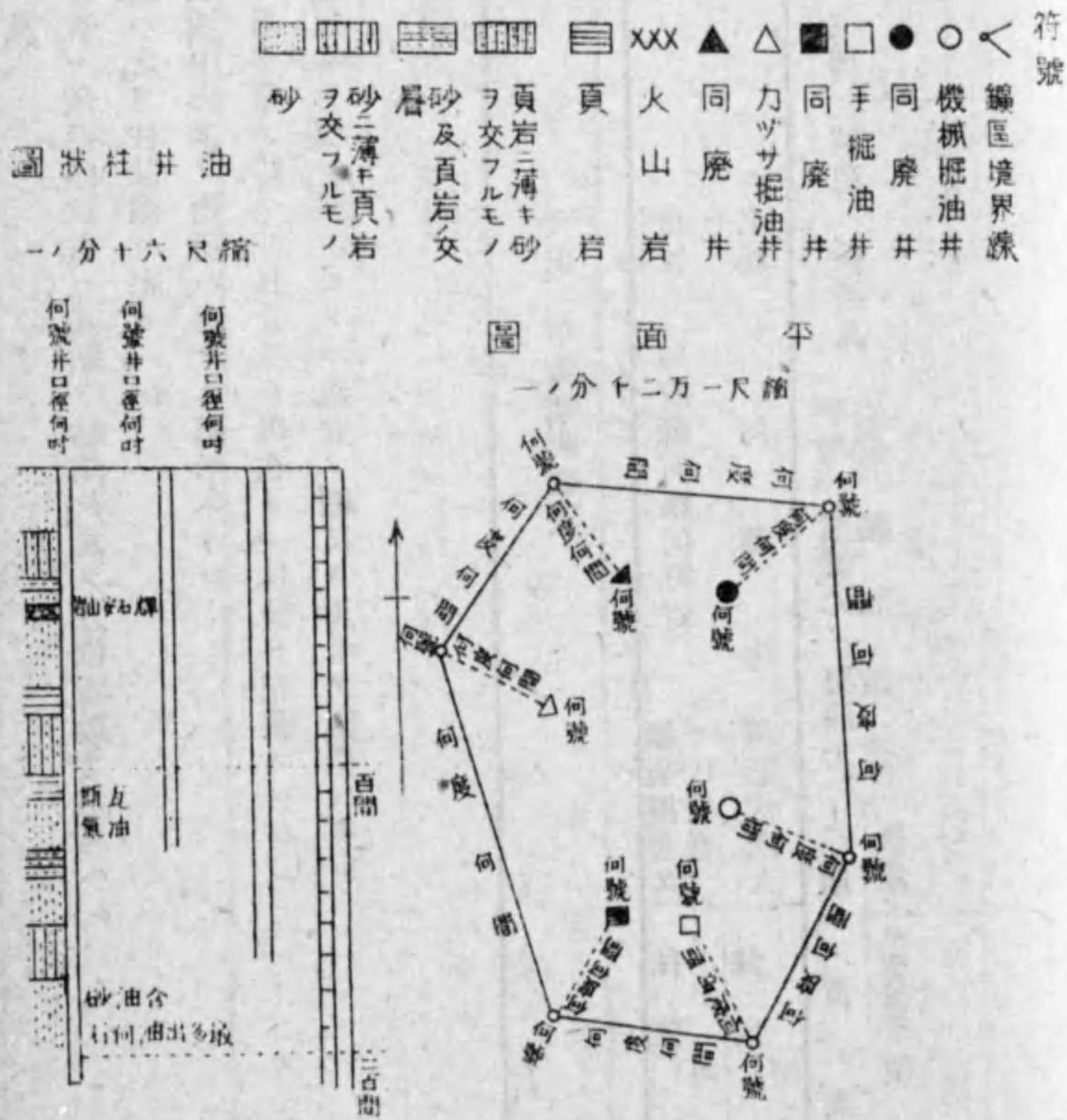
何縣何國何郡何村何石油鑛

住所 探掘權者 氏
住所 測量者 氏

名 印
名 印

坑内實測圖 縮尺何分ノ一

鑛業法施行細則



注意

- 一 油井ノ位置ハ最近標杭若ハ基點ヲ結測シ其ノ方位間數ヲ記スヘシ
- 二 油井地質ハ之ヲ柱狀圖ニ記スヘシ
- 三 油井柱狀圖中出油ノ箇所ハ必ラス明示スヘシ
- 四 出油量ハ最多量ノ時ノ一日分及ヒ現在ノ一日分ヲ記載スヘシ
- 五 本圖ノ縮尺ニテ現シ難キモノハ適宜ノ縮尺ヲ用ヒテ調製スヘシ

様式第十八號甲ノ一(三通)

大正 年鑛業明細表

採種別	越 高	採鑛高	平均品位	選鑛元高	製鍊元高	數量	販賣平均品位	價額	殘高	種別		住所
										位置	名稱	
										何府縣何郡何町村	鑛業權者又ハ代表者	住所
										何 鑛 山	鑛業代理人	住所
												何
												某印

縣登錄號

事記	鍊	製種別	越 高	製出高	平均品位	數量	販賣價額	殘高	選種別	越 高	精鑛高	平均品位	製鍊元高	數量	販賣平均品位	價額	殘高

備考

- 一 本表ハ石炭、亜炭及石油ヲ除キタル一般ノ鑛物ニ關シ適用スルモノトス
- 二 種別ノ欄ニハ採鑛ノ部ニ於テハ粗鑛ノ種類及名稱(金屬鑛ニ在リテハ金鑛、銀鑛等ノ如シ)ヲ、選鑛ノ部ニ於テハ精鑛ノ種類及名稱ヲ、製鍊ノ部ニ於テハ製品ノ種類及名稱ヲ記載スヘシ
- 三 採鑛高ノ欄ニハ採掘粗鑛ノ數量ヲ記載スヘシ
- 四 選鑛元鑛高ノ欄ニハ選鑛ニ供シタル粗鑛ノ數量ヲ記載スヘシ
- 五 製鍊元鑛高ノ欄ニハ製鍊ノ部ニ於テハ製鍊ニ供シタル粗鑛、選鑛ノ部ニ於テハ製鍊ニ供シタル精鑛ノ數量ヲ記載スヘシ
- 六 平均品位ノ欄ニハ平均含有率(金及銀ハ百萬分率、其ノ他ハ百分率)ヲ記載シ且滿俺鑛ニ在リテハ其ノ用途ニ依リ金屬及二酸化ノ別ヲ記載スヘシ
- 七 數量ノ單位ハ粗鑛及精鑛ニ在リテハ噸、製品ニ在リテハ金及銀ハ瓦、鐵及硫黃ハ噸、其ノ他ハ疋トス但シ噸ヲ單位トスルモノニ付テハ噸以下一位迄ヲ記載スヘシ
- 八 自己所屬ノ他鑛山ニ輸送シ合併シテ選鑛又ハ製鍊ヲ爲シタルトキハ其ノ數量ヲ選鑛元鑛高又ハ製鍊元鑛高ノ欄ニ記載シ合併シテ選鑛又ハ製鍊ヲ爲シタル鑛山ニ在リテハ該當欄ニ夫々區別シテ記載シ且輸送先及產出鑛山ヲ明ニスヘシ
- 九 鑛物ヲ買入レ自己掘採ニ係ル鑛物ト合併シテ製鍊ヲ爲シタルトキハ該當欄ニ夫々區別シテ記載シ尙其ノ產出鑛山名又ハ登錄番號、所在府縣郡名、數量及平均品位ヲ記事欄ニ各別ニ記載スヘシ
- 十 金屬鑛ヲ他ノ鑛山又ハ製鍊所ニ販賣シタルトキハ其ノ賣先、數量及平均品位ヲ記事欄ニ各別ニ記載スヘシ
- 十一 販賣價額ハ鑛山渡シ値段ニ依リ記載スベシ
- 十二 製品殘高ノ價額ヲ年末現在ノ市價ニ依リ各品別ニ記事欄ニ記載スベシ
- 十三 販賣セサル鑛物ニ付テハ記事欄ニ其ノ見積價額ヲ記載スヘシ
- 十四 鑛業代理人ヨリ差出ス場合ニハ其ノ者ノ捺印スヘシ

樣式第十八號甲ノ二(三通)

大正 年鑛業明細表

第錄登縣				鑛種		位置		何府縣何郡何町村		鑛業權者又ハ代表者		住所		
種別	越	高	產出高	名稱	何	鑛業代理人	住所	何	某印	賣高	數量	價額	自家用	殘高

鑛業法施行細則

號	
計	
事	記

備考

- 一 本表ハ石炭及亞炭ニ關シ適用スルモノトス
 - 二 種別ノ欄ニハ石炭ニ在リテハ塊炭、粉炭、切込炭、粗炭及煽石ニ區別シテ記載スヘシ
 - 三 數量ノ單位ハ噸トス
 - 四 販賣價額ハ鑛山渡シ値段ニ依リ記載スベシ
 - 五 二箇以上ノ鑛區ニ付合併施業ヲ爲ス場合ニハ其ノ鑛區毎ノ產出高ヲ記事欄ニ記載スヘシ
 - 六 鑛業代理人ヨリ差出ス場合ニハ其ノ者ノミ捺印スヘシ
- 様式第十八號甲ノ三(三通)

大正 年鑛業明細表

鑛種	石	油	位置	何府縣何郡何町村	鑛業權者又ハ代表者	住所	住所
名稱			何		鑛業代理人	何	何
						某印	某印

縣登錄第 號

採種別	越	高	採油高	比	重	元精製		販賣高		自家用	殘	高
						數量	價額	數量	價額			

備考

- 一 本表ハ石油(可燃質天然瓦斯ヲ含ム)ニ關シ適用スルモノトス
- 鑛業法施行細則

- 二 比重ノ欄ニハ「ボーメ」比重計ニ依ル比重ヲ記載スヘシ
- 三 數量ノ單位ハ頤、「ピツチ」ハ頤、可燃質瓦斯ハ立方メートル
- 四 精製ノ部種別ノ欄ニハ揮發油、燈油、輕油、重油、機械油、「ピツチ」等製品ノ普通名稱ニ依リ區別シテ記載スヘシ
- 五 自己所屬ノ他鑛山ニ輸送シ合併シテ精製ヲ爲シタルトキハ其ノ數量ヲ精製元高ノ欄ニ記載シ合併シテ精製シタル鑛山ニ在リテハ該當欄ニ夫々區別シテ記載シ且輸送先及產出鑛山ヲ明ニスヘシ
- 六 原油ヲ買入レ自己掘採ニ係ル原油ト合併シテ精製シタルトキハ該當欄ニ夫々區別シテ記載シ尙其ノ產出鑛山名又ハ登録番號、所在府縣郡名、數量及比重ヲ記事欄ニ各別ニ記載スヘシ
- 七 販賣價額ハ鑛山渡シ値段ニ依リ記載スベシ
- 八 精製品殘高ノ價額ヲ年末現在ノ市價ニ依リ各品別ニ記事欄ニ記載スベシ
- 九 原油ヲ販賣シタルトキハ其ノ賣先、數量及比重ヲ記事欄ニ各別ニ記載スヘシ
- 十 鑛業代理人ヨリ差出ス場合ニハ其ノ者ノミ捺印スヘシ

様式第十八號乙ノ一（二通）

昭和 年鑛業明細表

鑛種	位置 何府縣何郡何町村	鑛業權者又 ハ代表者	住所 何	鑛業代理人	住所 何	延工數	平均一 工ノ勞 働時間	員數		延工數		賃金		
								十六歲未満	十六歲以上	男	女	男	女	男
鑛種	名稱	何	鑛	山	鑛業代理人	住所	何	延工數	平均一 工ノ勞 働時間	員數	延工數	賃金	男	女
採鑛夫	採鑛夫	採鑛夫	採鑛夫	採鑛夫	採鑛夫	採鑛夫	採鑛夫	採鑛夫	採鑛夫	採鑛夫	採鑛夫	採鑛夫	採鑛夫	採鑛夫
支鑛夫	支鑛夫	支鑛夫	支鑛夫	支鑛夫	支鑛夫	支鑛夫	支鑛夫	支鑛夫	支鑛夫	支鑛夫	支鑛夫	支鑛夫	支鑛夫	支鑛夫
手搬夫	手搬夫	手搬夫	手搬夫	手搬夫	手搬夫	手搬夫	手搬夫	手搬夫	手搬夫	手搬夫	手搬夫	手搬夫	手搬夫	手搬夫
機械夫	機械夫	機械夫	機械夫	機械夫	機械夫	機械夫	機械夫	機械夫	機械夫	機械夫	機械夫	機械夫	機械夫	機械夫
工夫	工夫	工夫	工夫	工夫	工夫	工夫	工夫	工夫	工夫	工夫	工夫	工夫	工夫	工夫
雜夫其ノ他	雜夫其ノ他	雜夫其ノ他	雜夫其ノ他	雜夫其ノ他	雜夫其ノ他	雜夫其ノ他	雜夫其ノ他	雜夫其ノ他	雜夫其ノ他	雜夫其ノ他	雜夫其ノ他	雜夫其ノ他	雜夫其ノ他	雜夫其ノ他
計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計
採鑛夫	採鑛夫	採鑛夫	採鑛夫	採鑛夫	採鑛夫	採鑛夫	採鑛夫	採鑛夫	採鑛夫	採鑛夫	採鑛夫	採鑛夫	採鑛夫	採鑛夫
選鑛夫	選鑛夫	選鑛夫	選鑛夫	選鑛夫	選鑛夫	選鑛夫	選鑛夫	選鑛夫	選鑛夫	選鑛夫	選鑛夫	選鑛夫	選鑛夫	選鑛夫

鑛夫員數、延工數、平均一工ノ勞働時間及賃金

鑛業法施行細則

縣登錄第 號

職別	製鍊 (ク除ヲ鍊製)						合計
	製鍊	運搬夫	機械夫	工作夫	雜夫其ノ他		
					計	計	
職別	製鍊	運搬夫	機械夫	工作夫	雜夫其ノ他	計	合計
區別	坑内外(製鍊ヲ除ク)						
職別	事務ニ従事スルモノ		技術ニ従事スルモノ		合		其ノ他ノ従業者
	男	女	男	女	男	女	
計	計	計	計	計	計	計	計
職員數及其ノ他ノ従業者員數							
兵役關係者員數							

備考

- 一 本表ハ石炭、亞炭及石油ヲ除キタル一般ノ鑛物ニ關シ適用スルモノトス
- 二 鑛夫、職員及其ノ他ノ従業者員數ハ六月三十日現在ニ依リ記載スベシ但シ休業中ノ鑛山又ハ七月一日以後事業ヲ開始シタル鑛山ニ於テハ休業ノ際又ハ十二月三十一日現在ニ依リ記載シ其ノ旨記事欄ニ記載スベシ
- 三 二種以上ノ業務ニ従事スル者ニ付テハ其ノ主ナル一方ニ記載スベシ
- 四 本表ノ種別ニ該當セザル特殊ノ業務ニ従事スル者アルトキハ其ノ名稱ニ依リ記載スルコトヲ得
- 五 其ノ他ノ従業者トハ給仕、小使、門衛、掃除夫等鑛夫以外ノ勞務者ヲ謂フ

記事	行業日數	製鍊	職別		夫		合計
			陸軍	海軍	陸軍	海軍	
	探	鑛	計	計	計	計	計
	選	鑛	計	計	計	計	計
	製鍊	製鍊	計	計	計	計	計

鑛業法施行細則

事記	行業日數	採		炭		選		炭	
		坑外	坑內	計	計	計	計	計	計
		陸軍	海軍	計	陸軍	海軍	計	陸軍	海軍

備考

- 一 本表ハ石炭及亞炭ニ關シ適用スルモノトス
- 二 鑛夫、職員及其ノ他ノ從業者員數ハ六月三十日現在ニ依リ記載スベシ但シ休業中ノ鑛山又ハ七月一日以後事業ヲ開始シタル鑛山ニ於テハ休業ノ際又ハ十二月三十一日現在ニ依リ記載シ其ノ旨記事欄ニ記載スベシ
- 三 二種以上ノ業務ニ從事スル者ニ付テハ其ノ主ナル一方ニ記載スベシ
- 四 本表ノ種別ニ該當セザル特殊ノ業務ニ從事スル者アルトキハ其ノ名稱ニ依リ記載スルコトヲ得
- 五 其ノ他ノ從業者トハ給仕、小使、門衛、掃除夫等鑛夫以外ノ勞務者ヲ謂フ

様式第十八號乙ノ三(二通)

- 六 兵役關係者トハ歸休兵役、豫備兵役、後備兵役及補充兵役ニ在ル者ヲ謂フ
- 七 賃金中ニハ手當、賞與、歩増等ニシテ實質上賃金ノ性質ヲ有スルモノノ全部ヲ包含セシムベシ
- 八 賃金ノ一工當平均トハ延工數ヲ以テ賃金總額ヲ除シタルモノヲ謂フ
- 九 鑛業代理人ヨリ差出ス場合ニハ其ノ者ノミ捺印スベシ

昭和 年鑛業明細表

鑛種	鑛種別	昭和 年鑛業明細表		鑛業權者又ハ代表者	住所	住所	鑛業代理人	住所	賃金
		位置	何府縣何郡何町村						
		名稱	何		何	何		某印	
鑛夫員數、延工數、平均一工ノ勞働時間及賃金									
		員數		延工數		平均一工ノ勞働時間		賃金	
		十六歲未満	十六歲以上	男	女	男	女	男	女
		計	計	計	計	計	計	計	計
		男	女	男	女	男	女	男	女
		計	計	計	計	計	計	計	計
		男	女	男	女	男	女	男	女
		計	計	計	計	計	計	計	計
		男	女	男	女	男	女	男	女
		計	計	計	計	計	計	計	計

鑛業法施行細則

縣登錄第 號

精製	坑内外(精製ヲ除ク)	區別	職		合	精製					合		
			事務ニ従事スルモノ	技術ニ従事スルモノ		計	計	計	計	計		計	計
兵役關係者員數			計			雜夫其ノ他	製油夫	運搬夫	機械夫	工作夫	雜夫其ノ他	(ク除テ)	
區別			計										
陸軍			計										
海軍			計										
計			計										
陸軍			計										
海軍			計										
計			計										
其ノ他ノ從業者			計										
計			計										

備考

- 一 本表ハ石油(可燃質天然瓦斯ヲ含ム)ニ關シ適用スルモノトス
- 二 鑛夫、職員及其ノ他ノ從業者員數ハ六月三十日現在ニ依リ記載スベシ但シ休業中ノ鑛山又ハ七月一日以後事業ヲ開始シタル鑛山ニ於テハ休業ノ際又ハ十二月三十一日現在ニ依リ記載シ其ノ旨記事欄ニ記載スベシ
- 三 二種以上ノ業務ニ従事スル者ニ付テハ其ノ主ナル一方ニ記載スベシ
- 四 本表ノ種別ニ該當セザル特殊ノ業務ニ従事スル者アルトキハ其ノ名稱ニ依リ記載スルコトヲ得
- 五 其ノ他ノ從業者トハ給仕、小使、門衛、掃除夫等鑛夫以外ノ勞務者ヲ謂フ
- 六 兵役關係者トハ歸休兵役、豫備兵役、後備兵役及補充兵役ニ在ル者ヲ謂フ
- 七 賃金中ニハ手當、賞與、歩増等ニシテ實質上賃金ノ性質ヲ有スルモノノ全部ヲ包含セシムベシ

鑛業法施行細則

- 八 賃金ノ一工當平均トハ延工數ヲ以テ賃金總額ヲ除シタルモノヲ謂フ
- 九 鑛業代理人ヨリ差出ス場合ニハ其ノ者ノミ捺印スベシ

様式第十八號内(二通)

昭和 年鑛業明細表

鑛種		位置		何府縣何郡何町村		鑛業權者又ハ代表者		住所	
名稱	何	鑛業代理人	住所	何	何	鑛業代理人	住所	何	何
汽發	電	罐機他							
機	動	原							
蒸	汽	往復動汽機							
機	關	蒸							
瓦	斯	發							
石	油	發							
西	洋	形							
水	車	ベ							
日	本	形							
電	動	機							
其	他	自							
家	發	電							
他	他	他							
號	第	錄	登	縣					

備考

- 一 電氣機械ニ付テハ實馬力ノ欄ニ「キロワット」又ハ「キロヴォルト、アンペア」數ヲ記載スベシ
 - 二 汽罐ニ付テハ實馬力ノ欄ニ火格子面積ヲ記載スベシ
 - 三 休止及豫備ノモノハ摘要欄ニ其ノ旨記載スベシ
 - 四 鑛業代理人ヨリ差出ス場合ニハ其ノ者ノミ捺印スベシ
- 様式第十八號丁(二通)

昭和 年鑛業明細表

鑛種		位置		何府縣何郡何町村		鑛業權者又ハ代表者		住所	
名稱	何	鑛業代理人	住所	何	何	鑛業代理人	住所	何	何
種	類	數	量	價	額	數	量	價	額
石炭	骸炭製造用								
瓦斯	發								
其	他								
薪木	炭								
坑内外用(製鍊及精製用ヲ除ク)									
製鍊及精製用									
摘要									

鑛業法施行細則

様式第十九號甲

鑛業施業案

鑛業權者(又ハ鑛業代理人) 何

某印

登録(又ハ特許)番號.....

鑛區ノ所在地.....

鑛山ノ名稱.....

鑛種名.....

一 採鑛ニ關スル事項

(イ) 主要ナル鑛床ノ位置、走向、傾斜及厚サ

(ロ) 採掘方法

(ハ) 一箇年間ニ於ケル粗鑛採掘豫定高

二 選鑛及製鍊ニ關スル事項

(イ) 選鑛及製鍊ノ方法

(ロ) 一箇年間ニ於ケル鑛產物產出豫定高

三 操業上ノ危害豫防ニ關スル事項

(イ) 捨石及鑛滓堆積場ノ位置

(ロ) 捨石、鑛滓、坑水、廢水等ノ處置ニ關シ特別ノ設備ヲ要スルモノニ在リテハ其ノ設備ニ關スル事項

(ハ) 地表又ハ坑内ノ保全其ノ他危害ノ豫防又ハ公益ノ保護ニ關シ特別ノ施設又ハ制限ヲ要スルモノニ在リテハ其ノ施設又ハ制限ニ關スル事項

様式第十九號 乙

鑛業施業案

鑛業權者(又ハ鑛業代理人) 何

某印

登録(又ハ特許)番號.....

鑛區ノ所在地.....

鑛山ノ名稱.....

鑛種名 石炭(又ハ亞炭)

一 採炭ニ關スル事項

(イ) 主要ナル炭層ノ位置、名稱、走向、傾斜及厚サ

(ロ) 採炭ノ方法

(ハ) 一箇年間ニ於ケル豫定出炭高

二 操業上ノ危害豫備ニ關スル事項

(イ) 坑内ノ通氣ニ關スル方法又ハ設備

(ロ) 地表又ハ坑内ノ保全其ノ他危害ノ豫防又ハ公益ノ保護ニ關シ特別ノ施設又ハ制限ヲ要スルモノニ在リテハ其ノ施設又ハ制限ニ關スル事項

様式第十九號 丙

鑛業法施行細則

鑛業施業案

鑛業權者(又ハ鑛業代理人) 何

某印

登録(又ハ特許)番號.....

鑛區ノ所在地.....

鑛山ノ名稱.....

鑛種名 石油

一 探油ニ關スル事項

(イ) 鑿井方法

(ロ) 原油ノ處分方法

二 操業上ノ危害豫防ニ關スル事項

(イ) 汲油又ハ製油ノ爲發生スル汚水又ハ廢物ノ處理方法

(ロ) 前號ノ外危害ノ豫防又ハ公益ノ保護ニ關シ特別ノ施設ヲ要スルモノニ在リテハ其ノ施設ニ關スル事項

備考

一 甲ハ金銀銅其ノ他一般ノ鑛物ニ關シ、乙ハ石炭又ハ亜炭ニ關シ、丙ハ石油ニ關シ適用スルモノトス

二 商工大臣又ハ鑛山監督局長ノ發シタル豫防命令ニ基キ施行スヘキ事項ハ施業案ニ記載スルコトヲ要セス

様式第二十號(用紙ノ大サハ日本標準規格B列八番ニ依ルモノトス)

表面

裏面

第 號	官 氏 名
年 月 日交付	鑛業法ニ基ク臨檢検査證
商 工 省	商工省又ハ鑛山監督局印
(鑛山監督局)	

鑛業法摘要

第十二條ノ二、主務大臣及鑛山監督局長ハ鑛業權者ニ對シ鑛業ニ關シ必要ナル報告ヲ爲サシメ又ハ當該官吏ヲシテ事業場、事務所其ノ他必要ナル場所ニ臨檢シ業務ノ狀況若ハ帳簿書類其ノ他ノ物件ヲ検査セシムルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ當該官吏ヲシテ臨檢検査セシムル場合ニ於テハ其ノ身分ヲ示ス證票ヲ携帯セシムヘシ

第九十八條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

二 第十二條ノ二ノ規定ニ依ル検査ヲ拒ミ、妨ケ又ハ忌避シタル者

附則

本令ハ昭和十六年六月一日ヨリ之ヲ施行ス

鑛業法施行細則

採掘出願ニ關シ鑛山監督局長へ委任ノ件

昭和十六年五月
商工省令第五五號

第一條 採掘ノ出願ニ關シ左ニ掲グル事項ハ之ヲ鑛山監督局長ニ委任ス

- 一 出願地ガ鑛區ト重複スル場合ニ於テ其ノ重複スル部分ノ出願ノ不許可ニ關スル件
- 二 出願地カ他ノ出願地ト重複スル場合ニ於テ鑛業法第三十三條ノ規定ニ依リ優先權ヲ有セザル部分ノ出願ノ不許可ニ關スル件
- 三 鑛業法第二十九條ノ三ノ出願ノ不許可ニ關スル件
- 四 鑛區ノ減區、分割、合併及分合ノ出願ノ許可又ハ不許可ニ關スル件
- 五 出願地ノ區域ガ鑛業法第九條ノ面積ニ滿タザル場合ノ出願ノ不許可ニ關スル件
- 六 鑛種名更正ノ出願ノ許可又ハ不許可ニ關スル件
- 七 鑛區ノ增區出願ノ出願地ガ間隔地ニ係ル場合ニ於テ其ノ間隔地ニ係ル部分ノ增區出願ノ許可ニ關スル件

第二條 鑛山監督局長ハ毎月十日迄ニ前月中ニ前條ノ規定ニ依リ處理シタルモノヲ取纏メ商工大臣ニ報告スベシ

附則

本令ハ昭和十六年六月一日ヨリ之ヲ施行ス
明治四十四年農商務省令第十二號ハ之ヲ廢止ス

砂鑛法

明治四十二年三月法律第十三號
大正五年三月法律第三十一號

改正 昭和一五年第三百三號

第一條 本法ニ於テ砂鑛ト稱スルハ砂金、砂鐵、砂錫其ノ他沖積鑛床ヲ爲シタル金屬鑛ヲ謂フ
金鑛ノ廢鑛又ハ鑛滓ニシテ主務大臣ニ於テ其ノ存在狀態砂金ト類似スト認メタルモノハ之ヲ砂金ト看做ス

第二條 本法ニ於テ砂鑛業ト稱スルハ砂鑛ノ採取及之ニ附屬スル事業ヲ謂フ

第三條 本法ニ於テ砂鑛區ト稱スルハ砂鑛權ノ登録ヲ得タル土地ノ區域ヲ謂フ

第四條 砂鑛權者ハ砂鑛區内ニ於ケル各種ノ砂鑛ヲ採取スル權利ヲ有ス但シ第六條ノ砂金ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第五條 砂鑛區鑛區ト重複スル場合ニ於テハ砂鑛權者及鑛業權者ハ其ノ採取及採掘又ハ試掘ニ付互ニ協議ヲ爲スベシ

前項ノ協議調ハサルトキ又ハ協議ヲ爲スコト能ハサルトキハ砂鑛權者又ハ鑛業權者ハ鑛山監督局長ノ裁決ヲ申請スルコトヲ得

前項ノ裁決ニ不服アル者ハ訴訟ヲ提起スルコトヲ得違法ニ權利ヲ侵害セラレタリトスル者ハ行政訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第六條 金鑛ヲ目的トスル鑛業權者ハ其ノ採掘鑛區内ニ存スル砂金ヲ採取スル權利ヲ有ス但シ其ノ

砂鑛法

鑛區内ニ既ニ存スル砂鑛區ニ於テハ此ノ限ニ在ラス

前項ノ鑛業權者ハ砂金ノ採取ニ關シ之ヲ砂鑛權者ト看做ス

第七條 砂鑛權ハ相續、讓渡、抵當權、滯納處分又ハ強制執行ノ目的タル外權利ノ目的タルコトヲ得ス

第八條 砂鑛權ヲ得ムトスル者ハ願書ニ砂鑛區圖ヲ添ヘテ主務大臣ニ出願スヘシ

第九條 砂鑛權ノ出願アリタルトキハ鑛山監督局長ハ其ノ出願地ニ係ル土地所有者、地上權者、永小作權者及土地ニ對シ使用ノ權利ヲ有スル者ニ之ヲ通知スヘシ

第十條 砂鑛出願人ハ名義ノ變更ヲ爲スコトヲ得但シ主務大臣ニ届出ヲ爲スニ非サレハ其ノ效力ヲ生セス

第十一條 砂鑛權者ハ砂鑛區ノ増減ヲ出願スルコトヲ得

抵當權ノ設定アル場合ニ於テ砂鑛區ノ減少ヲ出願セムトスルトキハ抵當權者ノ承諾ヲ受クヘシ

第十二條 土地所有者、地上權者、永小作權者又ハ土地ニ對シ使用ノ權利ヲ有スル者ハ其ノ土地ニ於テ砂鑛ヲ採取セムトスル者ニ對シ相當ノ補償金ヲ請求スルコトヲ得

第十三條 前條ノ請求權者ハ砂鑛權者ヲシテ補償金ニ付相當ノ擔保ヲ供セシムルコトヲ得

第十四條 砂鑛權者補償金ノ拂渡ヲ爲サス又ハ擔保ヲ供セサルトキハ第十二條ノ請求權者ハ砂鑛ノ採取ヲ拒ムコトヲ得

第十五條 補償金又ハ其ノ擔保ニ付協議調ハサルトキ又ハ協議ヲ爲スコト能ハサルトキハ砂鑛權者ハ「鑛山監督局長」ノ裁決ヲ申請スルコトヲ得

前項ノ裁決ニ不服アル者ハ通常裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第十六條 前條ノ裁決アリタルトキハ其ノ未タ確定セサルトキト雖砂鑛權者ハ裁決ニ依ル補償金ヲ供託シ又ハ擔保ヲ供託シテ砂鑛ヲ採取スルコトヲ得

第十六條ノ二 砂鑛ノ採取ヲ終リタルトキハ砂鑛權者ハ土地ヲ原狀ニ復シ又ハ原狀ニ復セサルニ因リテ生スル損失ニ對シ補償金ヲ拂渡スヘシ

土地所有者、地上權者、永小作權者又ハ土地ニ對シ使用ノ權利ヲ有スル者ハ砂鑛權者ヲシテ前項ノ土地ノ原狀ノ回復又ハ補償金ニ付相當ノ擔保ヲ供セシムルコトヲ得

前三條ノ規定ハ前項ノ擔保ニ之ヲ準用ス

第十六條ノ三 鑛山監督局長必要アリト認ムルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ砂鑛權者ヲシテ施業案ヲ定メ認可ヲ受クヘキコトヲ命スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ認可ヲ受ケタル施業案ヲ變更セムトスルトキハ鑛山監督局長ノ認可ヲ受クヘシ
鑛山監督局長ハ理由ヲ示シテ施業案ノ變更ヲ命スルコトヲ得

第一項ノ命令ヲ受ケタル砂鑛業者ハ施業案ニ依ルニ非サレハ砂鑛ノ採取ヲ爲スコトヲ得ス
但シ命令ヲ以テ定ムル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第十七條 鑛業法第三章ハ砂鑛業ニ關シ之ヲ準用ス但シ同法第五十六條ニ依ル土地ノ使用ハ左ノ場合ニ限ル

一 洗鑛

二 製鍊所ノ建設

砂鑛法

三 洗滌用水路及溜池ノ開設

四 砂鑛原料ノ置場

五 其ノ他砂鑛業上必要ナル工作物ノ施設

第十八條 主務大臣及鑛山監督局長ハ砂鑛權者ニ對シ砂鑛業ニ關シ必要ナル報告ヲ爲サシメ又ハ當該官吏ヲシテ事業場、事務所其ノ他必要ナル場所ニ臨檢シ業務ノ狀況若ハ帳簿書類其ノ他ノ物件ヲ檢査セシムルコトヲ得

當該官吏臨檢ノ際砂鑛業ニ關スル犯罪アリト認ムルトキハ搜索ヲ爲シ又ハ犯罪ノ事實ヲ證明スヘキ物件ノ差押ヲ爲スコトヲ得

臨檢、搜索及差押ニ關シテハ間接國稅犯則者處分法ヲ準用ス

第十九條 權利ヲ有セスシテ砂鑛業ヲ爲シ又ハ詐僞ノ行爲ヲ以テ砂鑛採取ノ許可ヲ受ケタル者ハ一年以下ノ懲役又ハ二千圓以下ノ罰金ニ處ス

第二十條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ六月以下ノ懲役又ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

一 第十六條ノ三第一項若ハ第三項ノ規定ニ依ル命令又ハ同條第二項若ハ第四項ノ規定ニ違反シタル者

二 第二十三條ニ於テ準用スル鑛業法第十條第三項ノ規定ニ違反シタル者

三 第二十三條ニ於テ準用スル鑛業法第七十一條ノ規定ニ基キテ發スル命令又ハ之ニ基キテ爲ス處分ニ違反シタル者

四 第二十三條ニ於テ準用スル鑛業法第七十二條、第七十三條第一項又ハ第七十四條第一項ノ規

定ニ依ル命令ニ違反シタル者

五 第二十三條ニ於テ準用スル鑛業法第七十三條第二項ノ規定ニ基キテ管理者ノ職務ニ關シ發スル命令又ハ之ニ基キテ爲ス處分ニ違反シタル者

第二十一條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

一 第二十三條ニ於テ準用スル鑛業法第七十五條乃至第七十八條ノ規定ニ違反シタル者

二 第二十三條ニ於テ準用スル鑛業法第七十九條ノ規定ニ基キテ發スル命令ニ違反シタル者

第二十二條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

一 第十八條第一項ノ規定ニ依ル報告ヲ怠リ又ハ虛僞ノ報告ヲ爲シタル者

二 第十八條ノ規定ニ依ル當該官吏ノ臨檢、搜索又ハ差押ヲ拒ミ、妨ケ又ハ忌避シタル者

三 第十七條ニ於テ準用スル鑛業法第五十三條第一項ノ許可ヲ受ケスシテ障礙物ヲ除却シタル者

第二十三條 鑛業法第五條、第六條、第七條第一項乃至第四項、第十條、第十二條、第十五條、第十六條、第十九條、第二十條、第二十七條、第三十二條、第三十三條第一項第二項、第三十五條第三十八條乃至第四十三條、第四十九條、第七十一條乃至第七十四條ノ三、第七十四條ノ八乃至第七十四條ノ十五、第七十六條乃至第七十九條、第八十七條乃至第八十九條、第九十一條乃至第九十三條及第百三條乃至第百五條ノ規定ハ砂鑛業ニ關シテ之ヲ準用ス
鑛業法第七十五條ノ規定ハ命令ヲ以テ定ムル砂鑛業ニ關シテ之ヲ準用ス

附則

第二十四條 本法ハ明治四十二年七月一日ヨリ之ヲ施行ス

砂鑛採取法ハ之ヲ廢止ス

第二十五條 砂鑛採取法ニ依ル砂鑛採取ノ許可ハ之ヲ砂鑛權ノ登録ト看做ス

第二十六條 本法施行前ニ金鑛ヲ目的トスル鑛業ノ出願ヲ爲シタル者第一條第二項ノ砂金ノミヲ採取セムトスルトキハ命令ノ定ムル期間内ニ之ヲ「鑛山監督署長」ニ届出ツヘシ

前項ノ届出アリタルトキハ鑛業ノ出願ハ願書發送ノ日時ニ於テ砂鑛權ノ出願ニ代リタルモノト看做ス

第二十七條 本法施行前設定シタル鑛業權ニシテ第一條第二項ノ砂金ノミヲ目的トスルモノニ付テハ命令ノ定ムル期間内ニ其ノ鑛區ニ付砂鑛權設定ノ登録ヲ申請スヘシ其ノ登録アリタルトキハ鑛業權ノ上ニ現ニ存スル權利義務ハ砂鑛權ノ上ニ存續ス

前項ノ鑛業權ニ關シテハ砂鑛權ノ登録アル迄仍鑛業法ヲ適用ス

第一項ノ鑛業權ニシテ鑛業財團ヲ組成スルモノニ付テハ砂鑛權ノ登録アリタル後ト雖其ノ財團ノ關係ニ於テハ之ヲ鑛業權ト看做ス

第二十八條 本法施行前砂鑛採取法ニ依リ又ハ本法第一條第二項ノ砂金ニ關シ鑛業法ニ依リテ爲シタル處分、手續其ノ他ノ行爲ハ本法中之ニ相當スル規定アル場合ニ於テハ本法ニ依リテ之ヲ爲シタルモノト看做ス

第二十九條 本法施行前砂鑛採取法ニ依リ又ハ本法第一條第二項ノ砂金ニ關シ鑛業法ニ依リテ爲シタル處分ニ對スル訴願、訴訟、判定、裁定又ハ裁決ニ關シテハ各鑛採取法又ハ鑛業法ノ規定ニ依ル

附則 (昭和十五年四月八日法律第百三號)

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

本法施行前ニ爲シタル砂鑛權ノ出願ニ付テハ仍從前ノ第九條ノ規定ヲ適用ス

本法施行前從前ノ罰則ヲ適用スベカリシ行爲ニ付テハ仍從前ノ例ニ依ル

工業勞働者最低年齡法第三條中「工場法施行令又ハ鑛業法」ヲ「工場法施行令、鑛業法又ハ砂鑛法」ニ改ム

砂鑛法中改正法律施行期日ノ件

昭和十六年五月
勅令第五八六號

昭和十五年法律第百三號ハ昭和十六年六月一日ヨリ之ヲ施行ス

砂鑛法施行細則

明治四十二年六月
農商務省令第二十六號

改正 明治四十四年第一一號、大正元年第二〇號、五年第二四號、八年第六號、一四年商工省令第一三號、昭和四年第一九號、第二三號、一四年第七六號、一六年第四三號

第一條 鑛山監督局長必要アリト認ムルトキハ砂鑛出願人ニ相當ノ期限ヲ附シテ其ノ出願地ニ係ル土地所有者、地上權者、永小作權者及土地ニ對シ使用ノ權利ヲ有スル者ノ氏名又ハ名稱及住所ヲ記載シタル書面ヲ差出スヘキコトヲ命スルコトヲ得

第二條 削除

砂鑛法中改正法律施行期日ノ件 砂鑛法施行細則

第三條 砂鑛區ノ境界ハ直線ヲ以テ之ヲ定ム但シ河床ニ存スル砂鑛ヲ目的トスルモノ又ハ河岸ニ沿
フテ境界ヲ定ムルモノハ此ノ限ニ在ラス

第四條 直線ヲ以テ砂鑛區ノ境界ヲ定ムル場合ニ於テハ砂鑛願書ニ添附スヘキ圖面ハ六葉トシ様式
第九號ニ依リテ之ヲ調製シ左ニ掲クル事項ヲ明示スヘシ

一 出願地ノ所在及種目

二 出願地ノ面積

三 南北線

四 縮尺

五 二箇以上ノ不動基點並其ノ名稱及特徵

六 出願地ノ各隅トナルヘキ測點並其ノ番號

七 境界線並基點ト連結シタル測點間ノ方位及其ノ間數

八 出願地及其ノ附近ニ於ケル地形其ノ他鑛業法第十條及第十一條ニ記載シタルモノ

河床ニ存スル砂鑛ヲ目的トスル砂鑛願書ニ添附スヘキ圖面ハ六葉トシ様式第十號ニ依リテ之ヲ調
製シ左ニ掲クル事項ヲ明示スヘシ

一 出願河川ノ名稱及河川ニ沿ヘル土地ノ所在地目

二 出願區域ノ總延長並幹流及支流ノ各延長

三 南北線

四 縮尺

五 出願區域ノ各端

六 各端ニ關スル不動基點並其ノ特徵及名稱

七 基點ト各端ノ測點トノ間ノ間數及其ノ方位

八 出願地及其ノ附近ニ於ケル地形其ノ他鑛業法第十條及第十一條ニ記載シタルモノ

九 河床ノ全幅ヲ出願區域ト爲ササルモノニ付テハ河床中ノ境界線

鑛山監督局長必要アリト認ムルトキハ相當ノ期限ヲ附シ更ニ五葉ヲ限リ前二項ノ圖面ノ差出ヲ命
スルコトヲ得

第五條 砂鑛法第十一條第二項ノ規定ニ依ル減區又ハ増減區ノ願書ニハ抵當權者ノ承諾書ヲ添ヘテ
差出スヘシ

第六條 砂鑛出願ニ付手数料不足ナルトキハ鑛山監督局長ハ其ノ追納ヲ命スヘシ

出願人ハ前項ノ命令ヲ受ケタル日ヨリ三十日以内ニ手数料ヲ納付スヘシ

第六條ノ二 削除

第七條 砂鑛ノ出願許可スヘキモノト決定シタルトキハ鑛山監督局長ハ其ノ旨ヲ出願人ニ通知スヘ
シ

出願人ハ前項ノ通知ヲ受ケタル日ヨリ三十日以内ニ登録稅ヲ納付スヘシ此ノ期間内ニ登録稅納付
書ヲ差出シタルモ不受理ノ處分ヲ受ケタルモノハ其ノ處分ヲ受ケタル日ヨリ五日以内ニ在リテハ
期間後ト雖モ更ニ登録稅ヲ納付スルコトヲ得

登録稅ハ第一項ノ通知書ヲ受ケタル者若ハ其ノ代理人出頭シ又ハ書留郵便ヲ以テ之ヲ納付スヘシ

郵便ヲ以テ納付スル場合ニ關シテハ鑛業法施行細則第七條ノ規定ヲ準用ス
前項ノ登録稅ハ第一項ノ通知書ト共ニ納付書ニ收入印紙ヲ貼用シテ之ヲ納付スヘシ

第八條

左ノ場合ニ於テハ鑛山監督局長ハ願書、申請書又ハ届書ヲ受理セス

- 一 砂鑛出願地ノ全部カ所轄鑛山監督局ノ管轄區域内ニ在ラサルトキ
- 二 出願ノ砂鑛カ砂鑛法第一條ノ規定ニ該當セサルトキ
- 三 圖面ヲ添附スヘキ砂鑛業ノ願書ニ圖面ヲ添附セサルトキ又ハ添附圖面ニ依リ區域分明ナラサルトキ

三ノ二 砂鑛業ニ關スル願書、申請書又ハ届書ニ添附スヘキ圖面ニシテ要塞地帶法又ハ軍機保護法ニ依リ其ノ作成ニ付許可ヲ要スヘキモノ其ノ許可ヲ得タルモノニ非サルトキ

四 手数料ヲ納付セサルトキ

五 鑛業法施行細則第十四條ノ規定ヲ準用スル場合ニ之ニ違背シ決議書又ハ之ニ相當スル書面ヲ添附セサルトキ

六 鑛業法施行細則第二十一條ノ規定ヲ準用スル場合ニ之ニ違背シ第一種引受時刻證明郵便ヲ以テ差出ササルトキ

七 鑛業法施行細則第二十五條ノ規定ヲ準用スル場合ニ之ニ違背シ新舊出願人連署セサルトキ

七ノ二 第二十一條ニ於テ準用スル鑛業法施行細則第二十九條ノ二ノ規定ニ違背シタルトキ

八 鑛業法施行細則第三十一條第二項ノ規定ヲ準用スル場合ニ之ニ違背シ承諾書及協定書ヲ添附セサルトキ

九 削除

十 第五條ノ規定ニ違背シ承諾書ヲ添附セサルトキ

第九條

左ノ場合ニ於テハ鑛山監督局長ハ登録稅納付書ヲ受理セス

一 第七條第四項又ハ鑛業法施行細則第三十七條ノ規定ヲ準用スル場合ニ於テ其ノ規定ニ違背シ通知書ヲ差出ササルトキ

二 鑛業法施行細則第三十六條ノ三ノ規定ヲ準用スル場合ニ於テ其ノ規定ニ違背シ第三者ノ承諾書又ハ之ニ對抗スルコトヲ得ヘキ裁判ノ謄本ヲ添附セサルトキ

第十條

左ノ場合ニ於テハ鑛山監督局長ハ願書又ハ届書ヲ却下ス

一 實地調査ノ際出願人カ出願區域ヲ明示スルコト能ハサルカ又ハ鑛業法施行細則第二十四條第一項ノ規定ニ準シテ指定シタル調査事項ノ説明ヲ爲スコト能ハサルトキ

二 願書ニ添附シタル圖面カ實地ノ區域ト著シク相違スルトキ

三 鑛業法施行細則第六條ノ規定ニ準シテ發スル命令ノ期限内ニ修正又ハ補充ヲ爲ササルトキ

四 鑛業法施行細則第十六條若ハ第十六條ノ二ノ規定ヲ準用スル場合ニ期限内ニ許可書又ハ證明書ヲ差出ササルトキ

五 鑛業法施行細則第十七條ノ規定ニ準シテ發スル命令ノ期限内ニ區域増減ノ願書ヲ差出ササルトキ

六 鑛業法施行細則第二十二條ノ規定ニ準シテ發スル命令ノ期限内ニ設計書ヲ差出ササルトキ

七 削除

- 八 鑛業法施行細則第二十四條ノ規定ニ準シテ指定シタル期日ニ出願人立會ヲ爲ササルトキ
- 九 第六條ニ規定シタル期限内ニ手数料ヲ納付セサルトキ
- 十 第七條ニ規定シタル期限内ニ登録稅納付書ヲ提出シ又ハ郵便ニ附セサルトキ
- 十一 第一條ノ規定ニ依ル命令ノ期限内ニ書面ノ提出ヲ爲ササルトキ
- 十二 第四條第三項ノ規定ニ依ル命令ノ期限内ニ圖面ヲ差出ササルトキ
- 第十一條 砂鑛權者其ノ砂鑛區内ニ於テ許可ヲ得タル砂鑛以外ノ砂鑛ヲ採取セムトスルトキハ豫メ砂鑛權ノ表示變更ノ登録ヲ申請スヘシ
- 第十一條ノ二 砂鑛權者施業案ノ認可ヲ申請セムトスルトキハ様式第十二號ニ準シテ調製シタル施業案ニ其ノ説明圖面ヲ添附シ之ヲ鑛山監督局長ニ差出スヘシ
- 砂鑛業ノ種類又ハ狀況ニ依リ前項ノ規定ニ依リ難キモノアルトキハ理由ヲ明示シ様式ノ記載事項ヲ増減スルコトヲ得
- 第十一條ノ三 砂鑛權者施業案ノ變更ノ認可ヲ申請セムトスルトキハ様式第十二號ニ準シテ調製シタル新ナル施業案ニ其ノ説明圖面及變更ノ理由ヲ詳記シタル書面ヲ添附シ之ヲ鑛山監督局長ニ差出スヘシ
- 第十一條ノ四 鑛山監督局長砂鑛法第十六條ノ三第一項又ハ第三項ノ規定ニ依リ施業案ノ認可又ハ變更ヲ命スルニハ少クトモ三十日以上ノ期限ヲ附シテ認可ヲ受クヘキコトヲ命スヘシ
- 第十一條ノ五 砂鑛權者砂鑛法第十六條ノ三第一項ノ規定ニ依ル命令ヲ受ケタル場合ニ於テハ其ノ命令ノ期間内ハ砂鑛法第十六條ノ三第四項本文ノ規定ニ拘ラス從前ノ例ニ依リ砂鑛ノ採取ヲ爲ス

コトヲ得命令ノ期間内ニ施業案ノ認可ヲ申請シタル場合ニ於テ其ノ認可又ハ不認可ノ指令ノ日迄亦同シ

第十二條 削除

第十三條 砂鑛權者ハ砂鑛區圖ヲ砂鑛業事務所ニ備置クヘシ

第十四條 砂鑛權者ハ毎年一月末日迄ニ其ノ前年ニ於ケル鑛產物ノ數量、其ノ販賣高、販賣代價、

行業日數及工數ヲ記載シタル砂鑛業明細表ヲ鑛山監督局長ニ差出スヘシ

砂鑛權ノ消滅又ハ移轉ノ場合ニ於テハ砂鑛權ヲ有セシ者ニ於テ其ノ登録ノ日ヨリ三十日以内ニ砂鑛業明細表ヲ差出スヘシ

前二項ノ規定ニ依リテ砂鑛業明細表ヲ差出スヘキ場合ニ於テ之ニ記載スヘキ事項ナキトキハ其ノ旨ヲ届出ツヘシ

第十五條 二箇以上ノ砂鑛區ニ付合併施業ヲ爲ス場合ニ於テハ砂鑛業明細表ハ合併シテ之ヲ調製スルコトヲ得

第十六條 砂鑛法第五條第二項ノ規定ニ依ル裁決申請書ニハ左ニ掲クル事項ヲ記載シ請求地ニ於ケル鑛床ノ關係圖及鑛業權者又ハ砂鑛權者ト交渉シタル始末書ヲ添附スヘシ但シ交渉ヲ爲スコト能ハサルトキハ其ノ事由書ヲ以テ始末書ニ代フルコトヲ得

- 一 申請人ノ氏名又ハ名稱及住所
- 二 鑛業權者又ハ砂鑛權者ノ氏名又ハ名稱及住所
- 三 砂鑛權及鑛業權ノ登録番號

砂鑛法施行細則

四 申請ノ目的及理由

鑛山監督局長前項ノ申請書ヲ受理シタルトキハ之ヲ鑛業權者又ハ砂鑛權者ニ交付スヘシ
鑛業權者又ハ砂鑛權者ハ申請書ノ交付ヲ受ケタル日ヨリ十四日以内ニ答辯書ヲ差出スヘシ
鑛業權者又ハ砂鑛權者前項ノ期間内ニ答辯書ヲ差出ササルトキハ鑛山監督局長ハ申請書ノミニ依
リテ裁決スルコトヲ得申請書ヲ交付スルコト能ハサルトキ亦同シ

申請人鑛業法施行細則第六條ノ規定ニ準シテ發スル命令ノ期間内ニ修正又ハ補充ヲ爲ササルトキ
ハ申請書ヲ却下ス

裁決書ニハ理由ヲ附シテ鑛山監督局長之ヲ當事者雙方ニ交付スヘシ

第十七條 砂鑛法第五條第三項ノ規定ニ依ル訴願ニハ鑛山監督局長ノ與ヘタル裁決書ノ謄本ヲ添ヘ
テ差出スヘシ

第十八條 砂鑛法第十五條(同法第十六條ノ二ノ規定ニ依リ準用スル場合ヲ含ム)ノ規定ニ依ル裁
決ノ申請ニ付テハ第十六條ノ規定ヲ準用ス

第十九條 鑛業法第九十三條第二項ノ規定ニ準シテ爲ス處分又ハ裁決ノ公示ハ鑛山監督局ノ揭示場
ニ揭示スルコトニ依リテ之ヲ爲ス

第十九條ノ二 鑛山監督局長必要アリト認ムルトキハ砂鑛權者ニ對シ技術管理者又ハ保安係員ノ選
任ヲ命スルコトヲ得

第二十條 第二十一條ニ於テ準用スル鑛業法施行細則第二十二條第二項若ハ第二十二條ノ二第二項
ノ規定ニ違背シタル者又ハ第二十一條ニ於テ準用スル鑛業法施行細則第二十二條ノ二第一項、第

二十四條第一項若ハ第五十四條第三項ノ規定ニ依ル命令ニ違背シタル者ハ三月以下ノ懲役又ハ百
圓以下ノ罰金ニ處ス

第二十條ノ二 第一條ノ規定ニ依ル命令ニ依リ差出スヘキ書面ニ不實ノ記載ヲ爲シタル者、第十
一條、第十三條若ハ第十四條ノ規定ニ違背シタル者、第二十一條ニ於テ準用スル鑛業法施行細則
第二十六條、第四十條、第四十一條、第四十三條、第六十一條若ハ第六十三條ノ規定ニ違背シタ
ル者又ハ第二十一條ニ於テ準用スル鑛業法施行細則第三十七條第一項ノ規定ニ依ル命令ニ違背シ
タル者若ハ同條第三項ノ規定ニ違背シ期間内ニ登録稅ヲ納メサル者ハ百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ
處ス

第二十一條 鑛業法施行細則第一條乃至第八條、第十一條乃至第十四條、第十六條、第十六條ノ二
第十七條、第二十一條、第二十二條、第二十二條ノ二、第二十四條、第二十五條、第二十六條、
第二十九條乃至第三十一條、第三十四條、第三十六條ノ三、第三十七條、第四十條、第四十一條、
第四十三條、第五十四條、第五十七條乃至第六十三條、第六十八條、第六十九條、第七十三條鑛
業警察規則第一條第一項第四項第五項、第二條乃至第十二條、第十四條、第五十五條、第五十六
條、第七十三條、第七十六條乃至第七十八條ノ規定ハ砂鑛業ニ關シ之ヲ準用ス

附則

第二十二條 本則ハ明治四十二年七月一日ヨリ之ヲ施行ス

砂鑛採取法施行細則ハ之ヲ廢止ス

第二十三條 本則施行前砂鑛採取法施行細則ニ依リテ爲シタル處分、手續其ノ他ノ行爲ハ本則中之
砂鑛法施行細則

ニ相當スル規定アル場合ニ於テハ本則ニ依リテ之ヲ爲シタルモノト看做ス

第二十四條 本則施行前ニ二人以上共同シテ砂鑛採取ノ出願ヲ爲シタルトキ又ハ本則施行前ヨリ二人以上共同シテ砂鑛採取業ヲ爲ストキハ本則施行ノ日ヨリ三十日以内ニ連署シタル代表者選定ノ届出ヲ爲スヘシ

第二十五條 砂鑛採取法ニ依リ差出シタル砂鑛採取地ノ合併、分割、減區又ハ増減區ノ出願ニ付許可決定ノ通知ヲ受ケタルトキハ其ノ通知ヲ受ケタル日ヨリ三十日以内ニ合併、分割又ハ減少前ノ砂鑛權ニ付登録上利害關係ヲ有スル第三者ノ承諾書又ハ之ニ對抗スルコトヲ得ヘキ裁判ノ謄本ヲ差出スヘシ

前項ノ期限内ニ第三者ノ承諾書又ハ之ニ對抗スルコトヲ得ヘキ裁判ノ謄本ヲ差出ササルトキハ出願ハ之ヲ却下ス

第二十六條 本則施行前砂鑛採取ノ許可ヲ得タル者ニ付鑛業法施行細則第四十三條ノ規定ヲ準用スル場合ニ於テハ該條ノ期間ハ本則施行ノ日ヨリ之ヲ起算ス

第二十七條 砂鑛法第二十六條ノ規定ニ依ル届書ニハ鑛業願書ヲ發送シタル年月日、出願人ノ氏名又ハ名稱及住所、出願地ノ名稱及届出ノ目的ヲ記載シテ届出人ニ署名捺印スヘシ
前項ノ届書ハ本法施行後六十日以内ニ差出ササルトキハ之ヲ受理セス

鑛業法施行細則第十四條ノ規定ハ第一項ノ届書ニ付之ヲ準用ス

第二十八條 砂鑛法第二十七條ノ規定ニ依ル砂鑛權設定ノ登録申請ハ本法施行後九十日以内ニ之ヲ爲スコトヲ要ス

第二十九條 鑛業法施行細則第八十一條ノ規定ハ砂鑛業ニ關シ之ヲ準用ス

附 則 (昭和四年商工省令第二十三號)

本令ハ昭和五年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

鑛業警察規則附則第六項乃至第八項ハ砂鑛業ニ關シ之ヲ準用ス
様式第一號 (正副二通)

砂(金、鐵、錫)採取願

何府縣郡市町村大字何(何川筋)

面積何坪(延長何里)

右箇所ニ於テ砂(金、鐵、錫)存在候ニ付採取致度候間許可相成度圖面相添此段相願候也

住所

出願人氏

名(名稱)印

年 月 日

商工大臣氏名殿

一 圖面六葉ヲ添附シ適宜契印スヘシ

注意

二 共同出願ノ場合ハ願書ト共ニ連署シタル代表者選定ノ届書ヲ差出スヘシ但シ願書ニ代表者ヲ表示シテ届出ニ代フルコトヲ得

様式第二號 (正副二通)

砂鑛出願地増減區(増區、減區)願

何年何月何日出願

砂鑛法施行細則

何府縣郡市町村(何川筋)砂(金、鐵、錫)探取出願地何坪(延長何里)

增區 何府縣郡市町村大字何(何川筋)

面積何坪(延長何里)

減區 何府縣郡市町村大字何(何川筋)

面積何坪(延長何里)

合計(又ハ差引)何坪(延長何里)

右砂鑛出願地變更許可相成度圖面相添此段相願候也

住所

年 月 日

出願人氏

名(名稱)印

商工大臣氏名殿

注意

一 圖面六葉ヲ添附シ適宜契印スヘシ

二 代表者ニテ出願スル場合ハ決議書又ハ之ニ相當スル書面ヲ添附スヘシ

様式第三號(正副二通)

砂鑛區增減區(增區、減區)願

何府縣砂鑛權登錄第何號

何府縣郡市町村(何川筋)砂(金、鐵、錫)鑛區何坪(延長何里)

增區 何郡市町村大字何(何川筋)

面積何坪(延長何里)

名(名稱)印

砂鑛權者 氏

住所

年 月 日

商工大臣氏名殿

注意事項(様式第二號ニ同シ)

様式第四號(正副二通)

砂鑛區改正願

何府縣砂鑛權登錄第何號

何府縣郡市町村(何川筋)砂(金、鐵、錫)鑛區何坪(延長何里)

增區 何郡市町村大字何(何川筋)

面積何坪(延長何里)

減區 何郡市町村大字何(何川筋)

面積何坪(延長何里)

合計(又ハ差引)何坪(延長何里)

右砂鑛區ニ關スル何號御命令ノ通改正許可相成度圖面相添此段相願候也

砂鑛法施行細則

年 月 日

住所

砂鑛權者 氏

名(名稱)印

商工大臣氏名殿

注意 圖面四葉ヲ添附シ適宜契印スヘシ

樣式第五號(正副二通)

砂鑛區合併願

- 一 何府縣砂鑛權登錄第何號
- 何府縣郡市町村(何川筋)砂(金、鐵、錫)鑛區何坪(延長何里)
- 一 何府縣砂鑛權登錄第何號
- 何府縣郡市町村(何川筋)砂(金、鐵、錫)鑛區何坪(延長何里)
- 合計何坪(延長何里)

右砂鑛區合併許可相成度圖面並合併理由書相添此段相願候也

年 月 日

住所

砂鑛權者 氏

名(名稱)印

商工大臣氏名殿

- 一 圖面四葉ヲ添附シ適宜契印スヘシ
- 二 抵當權ノ設定アル場合ハ抵當權者ノ承諾書ヲ添附スヘシ
- 注意 三 二以上ノ抵當權ノ登錄アル場合ニハ承諾書ノ外抵當權ノ順位ニ關スル協定書

ヲ添附スヘシ

四 代表者ニテ出願スル場合ハ決議書又ハ之ニ相當スル書面ヲ添附スヘシ

樣式第六號(正副二通)

砂鑛區分割願

- 何府縣砂鑛權登錄第何號
- 何府縣郡市町村(何川筋)砂(金、鐵、錫)鑛區何坪(延長何里)
- 此ノ分割
- 何府縣郡市町村大字何(何川筋)
- 面積何坪(延長何里)
- 何府縣郡市町村大字何(何川筋)
- 面積何坪(延長何里)

右砂鑛區分割許可相成度圖面並分割理由書相添此段相願候也

年 月 日

住所

砂鑛權者 氏

名(名稱)印

商工大臣氏名殿

- 注意 一 圖面ハ分割區域毎ニ各四葉ヲ調製シ願書ニ添附シテ適宜契印スヘシ
- 二 其ノ他ノ注意事項ハ樣式第五號中二、三、四號ニ同シ

樣式第七號(正副二通)

砂鑛法施行細則

砂鑛出願人相續届

何年何月何日出願

何府縣郡市町村(何川筋)砂(金、鐵、錫)採取出願地何坪(延長何里)
右採取出願人何某死亡(其ノ他相續ノ原因ヲ記載ス)ニ因リ相續致候間戶籍謄本(又ハ相續ニ關
スル證明書)相添此段届出候也

年 月 日
住所
相續人氏
名印

何鑛山監督局長氏名殿

様式第八號(正副二通)

砂鑛出願人變更届

何年何月何日出願

何府縣郡市町村(何川筋)砂(金、鐵、錫)採取出願地何坪(延長何里)
右採取出願人何某ニ變更致候間新舊出願人連署此段届出候也

年 月 日
住所
住所
舊出願人氏
新出願人氏
名(名稱)印
名(名稱)印

商工大臣氏名殿

注意
一 新出願人二人以上ナル場合ニハ届書ト共ニ連署シタル代表者選定ノ届書ヲ差
出スヘシ但シ本願書ニ代表者ヲ表示シテ届出ニ代フルコトヲ得
二 舊出願人代表者ニテ届出ヲ爲スニハ決議書又ハ之ニ相當スル書面ヲ添附スヘ
シ

様式第九號(六葉)

年 月 日出願

砂(金、錫、鐵)鑛區圖 縮尺何分ノ一

何府縣國何郡市何町村

大字何 官地又ハ民地 地目

住所

氏

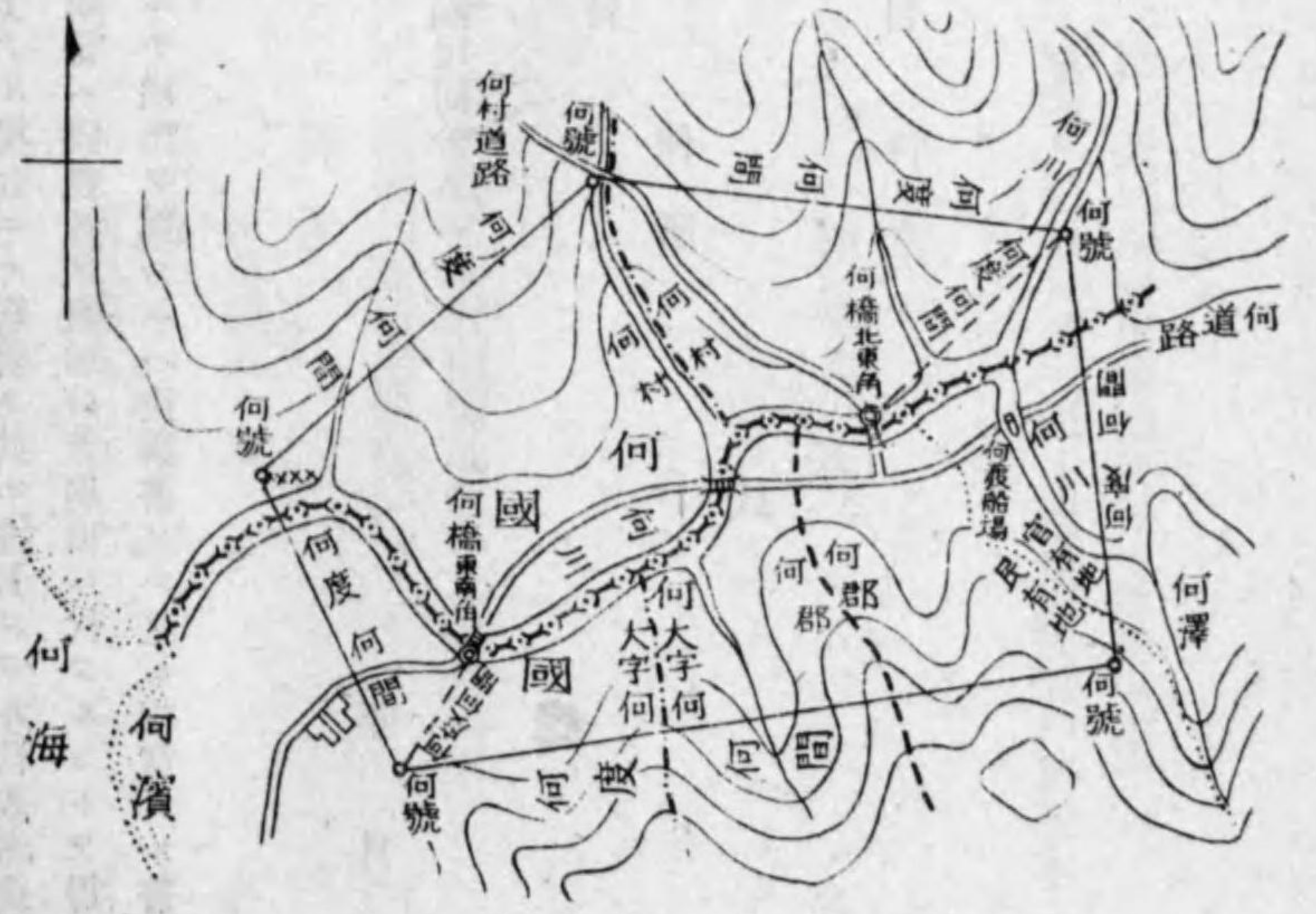
名印

何府縣國何郡市何町村

大字何 官地又ハ民地 地目

面積 何坪

符號
 砂鑛境界線區
 縣國境界
 郡市界
 町村界
 大字界
 官民地
 橋梁
 渡船
 道路
 家屋
 堤防
 神山
 山川
 基點



注意

- 一 圖面用紙ハ礮水引美濃紙ヲ用フヘシ。
- 二 基點ハ特稱アル橋梁、家、辻、川段、標石其ノ他近傍ニ在ル顯著ナル不動物體二箇以上ヲ成ルヘク反對ノ位置ニ選定スヘシ
- 三 鉛筆及「インキ」ヲ使用スヘカラス
 基點及測點附近ノ地形及地物ハ成ルヘク詳細ニ之ヲ記入シ若シ記入シ難キトキハ欄外ニ於テ地形及地物ニ關スル説明ヲ附記スヘシ
- 四 縮尺ハ千二分の一、三千分の一又ハ六千分の一ヲ用フヘシ但シ鑛山監督局長ノ公告シタル地域ニ在リテハ二千五分の一又ハ五千分の一ヲ用フヘシ

樣式第十號 (六葉)

砂(金、錫、鐵)鑛區圖 縮尺何分ノ一

住所

氏

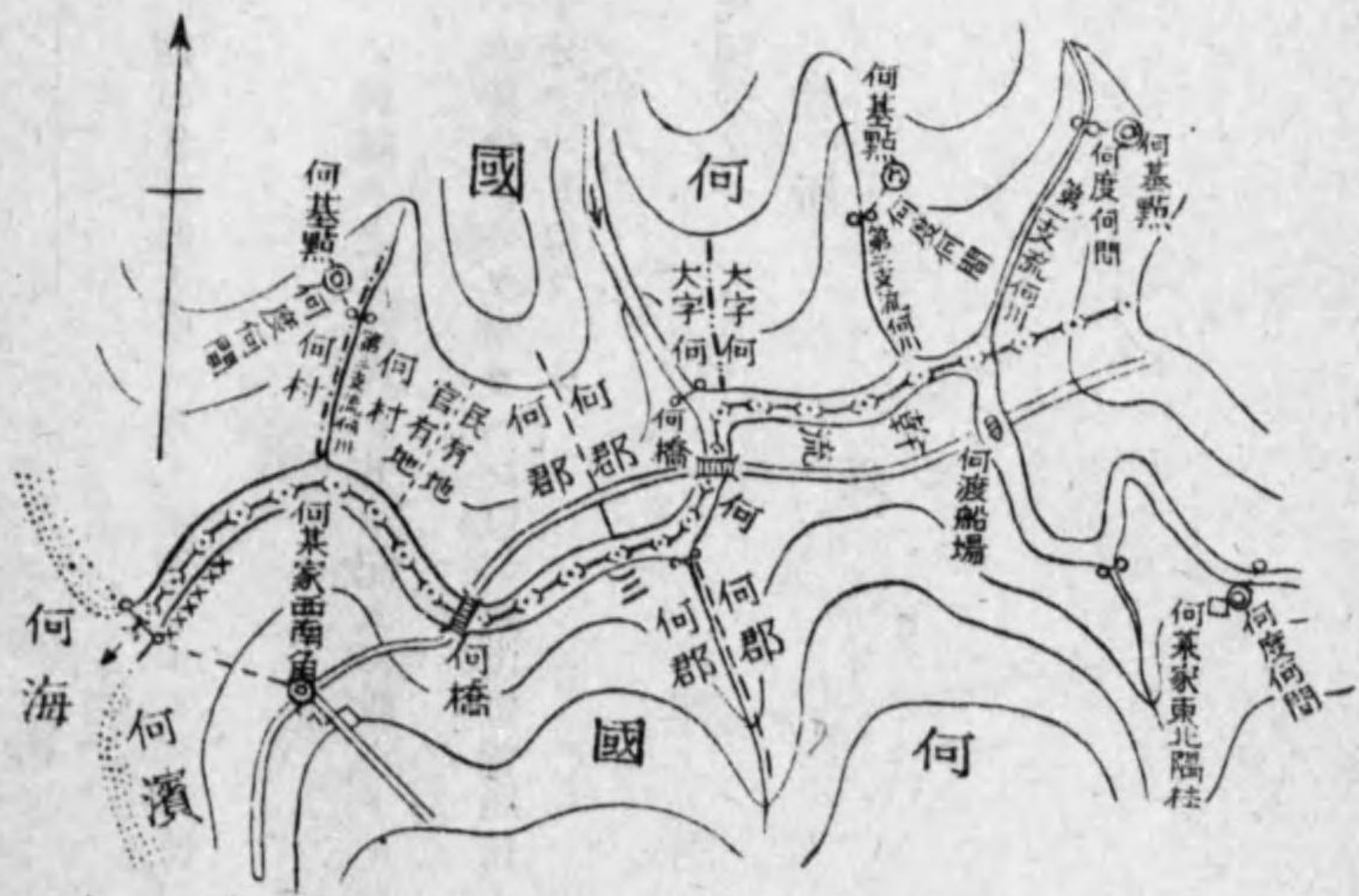
年 月 日出願

名印

- 何府縣國何郡市何町村大字何
- 何河筋
- 何府縣國何郡市何町村大字何
- 延長何里何町何間
- 內幹流何河何里何町何間
- 第一支流何川何里何町何間
- 第二支流何川何里何町何間
- 第三支流何川何里何町何間

砂鑛法施行細則

◎	Y	XXX	—○—	□							符
基	川	堤	界	家	道	渡	橋	官	大	町	郡
			線	家	道	渡	橋	民	字	村	市
			標	屋	路	船		地	界	界	界
卓		防	坑	境	路	場	梁	界	界	界	號



注意

- 一 圖面用紙ハ礬水引美濃紙ヲ用フヘシ
- 二 基點ハ幹流ノ上流下流及各支流ノ上流ニ各一箇所ツ、設ケ特稱アル橋梁、家、辻、川股、標石其ノ他近傍ニアル顯著ニシテ移動セサルモノヲ擇フヘシ
- 三 基點附近ノ地形及地物ハ成ルヘク詳細ニ之ヲ記入シ若シ記入シ難キトキハ欄外ニ於イテ地形及地物ニ關スル説明ヲ附記スヘシ
- 四 鉛筆及「インキ」ヲ使用スヘカラス
- 五 縮尺ハ千二分ノ一、三千分ノ一又ハ六千分ノ一ヲ用フヘシ但シ鑛山監督局長ノ公告シタル地域ニ在リテハ千五分ノ一又ハ五千分ノ一ヲ用フヘシ
- 六 支流ノ番號ハ出願ニ係ルモノノミヲ掲クヘシ
- 七 圖面ニ肩書スル府縣國郡市町村大字ハ砂鑛區ノ兩岸ニ接スル分ヲ記載スヘシ

- (イ) 選鑛及製鍊ノ方法
 - (ロ) 一箇年間ニ於ケル鑛產物產出豫定高
 - 三 操業上ノ危害豫防ニ關スル事項
 - (イ) 土砂、捨石及鑛滓ノ堆積場ノ位置
 - (ロ) 土砂、捨石、鑛滓及廢水ノ處理方法
 - (ハ) 前二號ノ外危害ノ豫防又ハ公益ノ保護ニ關シ特別ノ施設又ハ制限ヲ要スルモノニ在リテハ其ノ施設又ハ制限ニ關スル事項
- 備考 商工大臣又ハ鑛山監督局長ノ發シタル豫防命令ニ基キ施行スヘキ事項ハ施業案ニ記載スルコトヲ要セス

附則

本令ハ昭和十六年六月一日ヨリ之ヲ施行ス

昭和十五年法律第百三號附則第二項ノ規定ヲ適用スル場合ニ於テハ第一條、第二條、第六條ノ二並ニ第十條第四號及第十一號ノ改正規定ニ拘ラズ仍從前ノ規定ヲ適用ス

產金法

昭和十二年八月
法律第五十九號

改正 昭和十四年第八〇號

第一條 含金鑛物、砂金又ハ製鍊ノ過程ニ在ル合金物（以下含金鑛產物ト總稱ス）ヲ取得シタル

者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ之ヲ金地金ニ製鍊シテ政府ニ賣却シ又ハ之ヲ金製鍊業者若ハ第三條第一項ノ規定ニ依リ含金鑛產物ノ買入ノ免許ヲ受ケタル者ニ賣却スベシ

前項ノ含金鑛產物ノ範圍ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第二條 政府ハ必要アリト認ムルトキハ含金鑛產物ヲ取得シタル者ニ對シ之ヲ金製鍊業者又ハ第三條第一項ノ規定ニ依リ含金鑛產物ノ買入ノ免許ヲ受ケタル者ニシテ政府ノ指定スルモノニ賣却スベキコトヲ命ズルコトヲ得

政府ハ必要アリト認ムルトキハ金製鍊業者又ハ第三條第一項ノ規定ニ依リ含金鑛產物ノ買入ノ免許ヲ受ケタル者ニ對シ政府ノ指定スル者ヨリ含金鑛產物ヲ買入ルベキコトヲ命ズルコトヲ得

第三條 金製鍊業ヲ營マントスル者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ政府ノ免許ヲ受クベシ業トシテ含金鑛產物ノ買入ヲ爲サントスル者亦同ジ

前項ノ免許ヲ受ケ金製鍊業ヲ營ム者ハ之ヲ金製鍊業者ト稱ス

金製鍊業者又ハ第一項ノ規定ニ依リ含金鑛產物ノ買入ノ免許ヲ受ケタル者ニ非ザレバ含金鑛產物ヲ讓受クルコトヲ得ズ但シ命令ヲ以テ定ムル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第四條 金製鍊業者其ノ事業ヲ廢止シ又ハ休止セントスルトキハ政府ノ許可ヲ受クベシ

金製鍊業ノ讓渡又ハ金製鍊業ヲ營ム會社ノ合併若ハ解散ノ決議若ハ總社員ノ同意ハ政府ノ認可ヲ受クルニ非ザレバ其ノ效力ヲ生ゼズ

相續人が被相續人ノ金製鍊業ヲ承繼シタルトキハ相續人ハ金製鍊業ノ免許ヲ受ケタル者ト看做ス此ノ場合ニ於テハ相續人ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ旨ヲ政府ニ届出ヅベシ

第五條 金製鍊業者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ事業計畫ヲ定メ之ヲ政府ニ届出ヅベシ之ヲ變更セント
スルトキ亦同ジ

政府ハ必要アリト認ムルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ事業計畫ノ變更ヲ命ズルコトヲ得

第六條 政府ハ産金ノ増加ヲ圖ル爲必要アリト認ムルトキハ金製鍊業者ニ對シ製鍊設備ノ擴張、改
良其ノ他製鍊設備ニ關シ必要ナル事項ヲ命ズルコトヲ得

第七條 金鑛ヲ目的トスル鑛業權者及砂金ヲ目的トスル砂鑛權者(以下金鑛業者ト總稱ス)ハ命令
ノ定ムル所ニ依リ事業計畫ヲ定メ之ヲ政府ニ届出ヅベシ之ヲ變更セントスルトキ亦同ジ

政府ハ必要アリト認ムルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ事業計畫ノ變更ヲ命ズルコトヲ得

第八條 政府ハ産金ノ増加ヲ圖ル爲必要アリト認ムルトキハ金鑛業者ニ對シ探鑛、掘探、採取若ハ
選鑛ニ付設備ノ新設、擴張、改良其ノ他必要ナル事項ヲ命ジ又ハ製鍊設備ノ新設ヲ命ズルコトヲ
得

前項ノ規定ニ依ル命令ニ依リ製鍊設備ノ新設ヲ爲シタル者ハ金製鍊業者ト看做ス

第九條 政府ハ公益上必要アリト認ムルトキハ金鑛業者、金製鍊業者又ハ第三條第一項ノ規定ニ依
リ合金鑛産物ノ買入ノ免許ヲ受ケタル者ニ對シ合金鑛産物ノ取引ニ關シ必要ナル事項ヲ命ズルコ
トヲ得

第十條 政府ハ金鑛業者、金製鍊業者又ハ第三條第一項ノ規定ニ依リ合金鑛産物ノ買入ノ免許ヲ受
ケタル者ニ對シ其ノ業務及財産ノ狀況ニ關シ報告ヲ徴シ又ハ検査ヲ爲スコトヲ得

政府ハ金鑛業者、金製鍊業者又ハ第三條第一項ノ規定ニ依リ合金鑛産物ノ買入ノ免許ヲ受ケタル
者ニ對シ其ノ業務及會計ニ關シ監督上必要ナル命令ヲ發シ又ハ處分ヲ爲スコトヲ得

第十一條 政府ハ必要アリト認ムルトキハ金ノ價格又ハ金ノ使用ノ制限其ノ他金ノ使用ニ關シ必要
ナル命令ヲ發スルコトヲ得

第十二條ノ二 政府ハ必要アリト認ムルトキハ左ニ掲グル物ヲ所有スル者ニ對シ命令ノ定ムル所ニ
依リ之ガ處分ニ關シ禁止若ハ制限ヲ爲シ又ハ之ヲ政府若ハ政府ノ指定スル者ニ賣却スベキコトヲ
命ズルコトヲ得

一 金地金

二 金ノ合金ニシテ命令ノ定ムル種類ノモノ

三 金ヲ主タル材料トスル物ニシテ命令ノ定ムル種類ノモノ

政府ハ必要アリト認ムルトキハ金貨幣ヲ所有スル者ニ對シ命令ノ定ムル所ニ依リ之カ處分ニ關シ
禁止若ハ制限ヲ爲シ又ハ之ヲ鑄造シ依リテ得タル金地金ヲ政府若ハ政府ノ指定スル者ニ賣却スベ
キコトヲ命ズルコトヲ得

第十一條ノ三 前條ノ規定ニ依リテ政府ノ爲ス金地金、金ノ合金又ハ金ヲ主タル材料トスル物ノ買
入ハ金資金ノ運用ニ屬スルモノトス

第十一條ノ四 第十一條ノ二ノ規定ニ依リ政府又ハ政府ノ指定スル者ニ賣却スベキコトヲ命ジタル
場合ノ賣却價額ハ金地金ニ在リテハ其ノ物ノ中ニ含まルル金ノ純量ニ付第一條第一項ノ規定ニ依
リ政府ガ金地金ヲ買上グル場合ノ買上價格ニ依リ算出シタル金額トシ金ノ合金又ハ金ヲ主タル材

料トスル物ニ在リテハ金委員會ノ定ムル所ニ依ル

第十一條ノ五 第十一條ノ二第一項第三號ノ規定ニ依リ金ヲ主タル材料トスル物ヲ政府又ハ政府ノ指定スル者ニ賣却スベキコトヲ命ジタル場合ニ於テ其ノ物ガ美術品骨董品工藝品其ノ他ノ物ニシテ鑄潰スルコトヲ適當トセザルモノナルトキハ其ノ物ヲ所有スル者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ政府ノ許可ヲ受ケ之ヲ賣却セザルコトヲ得

第十二條 政府ハ命令ノ定ムル所ニ依リ金貨幣、金地金、金ノ合金又ハ金ヲ主タル材料トスル物ノ取得、處分又ハ保有ニ關シ報告ヲ徴シ又ハ検査ヲ爲スコトヲ得

第十三條 鑛業法第五十條乃至第七十條、第九十二條、第九十三條、第九十九條第一項、第三百條及第四百條ノ規定ハ金鑛業者ニ非ザル金製鍊業者ニ關シ之ヲ準用ス

第十四條 政府ハ第二條、第六條、第八條第一項、第九條、第十一條又ハ第十一條ノ二ノ規定ニ依ル命令ヲ爲サントスルトキハ金委員會ノ議ヲ經ベシ

金委員會ニ關スル規定ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第十五條 金鑛業者又ハ金製鍊業者其ノ事業ノ爲必要ナル器具、機械其ノ他ノ材料ヲ政府ノ認可ヲ受ケ輸入スルトキハ本法施行ノ日ヨリ五年間命令ノ定ムル所ニ依リ輸入税ヲ免除ス

第十六條 政府ハ命令ノ定ムル所ニ依リ金鑛業者及金製鍊業者ニ對シ獎勵金ヲ交付スルコトヲ得

第十七條 詐欺ノ行爲ヲ以テ前條ノ獎勵金ノ交付ヲ受ケタル者ニ對シテハ其ノ金額ノ返還ヲ命ズ前項ノ規定ニ依ル返還金ハ國稅滯納處分ノ例ニ依リ之ヲ徵收スルコトヲ得但シ先取特權ノ順位ハ國稅ニ次グモノトス

第十八條 金製鍊業者又ハ第三條第一項ノ規定ニ依リ含金鑛產物ノ買入ノ免許ヲ受ケタル者本法若ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ違反シ又ハ政府ノ命ジタル事項ヲ執行セザルトキハ政府ハ其ノ行務ヲ停止シ若ハ制限シ、第三條第一項ノ許可ヲ取消シ又ハ法人ノ役員ノ解任ヲ爲スコトヲ得

第十九條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ五千圓以下ノ罰金ニ處ス但シ當該金地金、金ノ合金、金ヲ主タル材料トスル物又ハ含金鑛產物ノ價額ノ三倍ガ五千圓ヲ超ユルトキハ罰金ハ其ノ價額ノ三倍以下トス

一 第一條第一項ノ規定ニ基キテ發スル命令ニ違反シテ金地金ヲ政府ニ賣却セザル者

二 第一條第一項ノ規定ニ違反シテ金地金ヲ政府以外ノ者ニ讓渡シタル者

三 第一條第一項ノ規定ニ違反シテ金製鍊業者及第三條第一項ノ規定ニ依リ含金鑛產物ノ買入ノ免許ヲ受ケタル者以外ノ者ニ含金鑛產物ヲ讓渡シタル者

四 第三條第一項ノ規定ニ違反シテ含金鑛產物ヲ買入レ又ハ同條第三項ノ規定ニ違反シテ之ヲ讓受ケタル者

五 第十一條ノ二ノ規定ニ依ル禁止又ハ制限ニ違反シタル者

六 第十一條ノ二ノ規定ニ依ル命令ニ違反シテ金地金、金ノ合金又ハ金ヲ主タル材料トスル物ヲ政府又ハ政府ノ指定スル者ニ賣却セザル者

第二十條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ五千圓以下ノ罰金ニ處ス

一 第二條第一項ノ規定ニ依ル命令ニ違反シテ含金鑛產物ヲ政府ノ指定シタル者以外ノ者ニ讓渡シタル者

二 第三條第一項ノ規定ニ違反シテ金ノ製鍊ヲ爲シタル者
三 第九條ノ規定ニ依ル命令ニ違反シタル者

四 第十一條ノ規定ニ基キテ發スル命令ニ違反シタル者

第二十一條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ二千圓以下ノ罰金ニ處ス

一 第四條第一項ノ規定ニ違反シテ事業ヲ廢止シ又ハ休止シタル者

二 第五條第一項又ハ第七條第一項ノ規定ニ違反シテ事業計畫ノ届出ヲ爲サズ又ハ届出デタル事業計畫ヲ實施セザル者

三 第五條第二項又ハ第七條第二項ノ規定ニ依ル變更命令ニ違反シテ事業計畫ヲ實施シタル者

四 第六條又ハ第八條第一項ノ規定ニ依ル命令ニ違反シタル者

第二十二條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

一 第四條第三項ノ規定ニ違反シテ届出ヲ爲サザル者

二 第十條第一項又ハ第十二條ノ規定ニ依ル報告ヲ爲サズ、虚偽ノ報告ヲ爲シ又ハ検査ヲ拒ミ、妨ゲ若ハ忌避シタル者

三 第十條第二項ノ規定ニ依ル命令又ハ處分ニ違反シタル者

第二十三條 法人ノ代表者又ハ法人若ハ人ノ代理人、使用人其ノ他ノ從業者ガ其ノ法人又ハ人ノ業務ニ關シテ第十九條乃至前條ノ違反行爲ヲ爲シタルトキハ行爲者ヲ罰スルノ外其ノ法人又ハ人ニ對シ亦第十九條乃至前條ノ罰金刑ヲ科ス

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム (昭和十二年勅令第四百五十三號ヲ以テ昭和十二年八月二十五日ヨリ施行)

本法施行ノ際現ニ含金鑛產物ヲ所有スル者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ本法施行ノ日ニ之ヲ取得シタル者ト看做ス

本法施行ノ際現ニ金製鍊業ヲ營ム者又ハ其ノ事業ヲ承繼シタル者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ本法施行ノ日ヨリ二月ヲ限リ第三條第一項ノ規定ニ拘ラズ其ノ事業ヲ營ムコトヲ得

前項ニ掲ゲル者前項ノ期間内ニ金製鍊業ノ免許ヲ申請シタル場合ニ於テ其ノ申請ニ對スル許否ノ處分ノ日迄亦前項ニ同ジ

産金法施行令

昭和十二年八月
勅令第四百五十四號

第一條 産金法第一條第一項ノ含金鑛物トハ金鑛、金銀鑛、金銀銅鑛其ノ他ノ金ヲ含ム鑛物(鑛滓ヲ含ム)ニシテ工業上金ヲ採取シ得ルモノヲ謂フ

第二條 産金法第一條第一項ノ製鍊ノ過程ニ在ル含金物トハ左ノ各號ニ掲ゲル物ヲ謂フ

一 粗銅、粗鉛、澱物、アマルガム其ノ他ノ製鍊ノ過程ニ於テ生ズル金ヲ含ム物ニシテ工業上金ヲ採取シ得ルモノ

二 金及銀ヲ主タル成分トスル地金ニシテ含金鑛物、砂金又ハ前號ニ掲ゲル物ヨリ新ニ製成シタルモノ(以下之ヲ粗金銀地金ト稱ス)

第三條 産金法第一條第一項ノ規定ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニハ之ヲ適用セズ

産金法施行令

一 當該合金鑛產物ヲ學術研究、試験又ハ標本ノ用ニ供スルトキ
二 政府ノ許可ヲ受ケタルトキ

第四條 粗金銀地金ヲ製成シタル者又ハ之ヲ讓受ケタル者ハ之ヲ品位千分中金九百九十以上ノ金地金ニ精製シ又ハ之ガ精製ヲ造幣局ニ依頼シ大藏大臣ノ定ムル所ニ依リ政府ニ賣却スベシ但シ粗金銀地金ノ製成高及讓受高ノ合計中ニ含マル純金量ガ毎月一疋ヲ超エザル者ハ產金法第一條第一項後段ノ規定ニ依リ之ヲ賣却スルコトヲ妨ゲズ

前項ノ規定ニ依リ金地金ヲ政府ニ賣却スベキ期間ハ精製完了ノ時又ハ造幣局ニ精製ヲ依頼シタル時ヨリ一月内トス

金銀地金精製及品位證明規則第十二條ノ規定ニ依リ地金ノ輸納ヲ受理セズ又ハ其ノ受理ヲ停止スル場合ニ於テハ其ノ期間ハ前項ノ期間中ヨリ之ヲ除算ス

第五條 金地金ノ買上價格ハ大藏大臣之ヲ定ム

第六條 產金法第三條第一項ノ規定ニ依リ金製鍊業ヲ營マントスル者又ハ業トシテ合金鑛產物ノ買入ヲ爲サントスル者ハ商工大臣ノ免許ヲ受クベシ

商工大臣前項後段ノ規定ニ依リ業トシテ粗金銀地金又ハ合金アマルガムノ買入ヲ爲スコトヲ免許セントスルトキハ大藏大臣ニ協議スベシ

第七條 產金法第三條第一項ノ金製鍊業ノ免許ハ製鍊場毎ニ之ヲ爲シ業トシテ合金鑛產物ノ買入ヲ爲スコトノ免許ハ目的物ヲ限定シテ之ヲ爲スモノトス

金ノ精製ノミヲ爲ス者ハ其ノ精製ニ限り金精鍊業者トシテノ免許ヲ受クルコトヲ要セズ

第八條 產金法第三條第三項本文ノ規定ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニハ之ヲ適用セズ

- 一 當該合金鑛產物ヲ學術研究、試験又ハ標本ノ用ニ供スルトキ
- 二 政府ノ許可ヲ受ケタルトキ

第九條 產金法第五條第一項ノ事業計畫ハ製鍊場毎ニ、同法第七條第一項ノ事業計畫ハ鑛山毎ニ之ヲ定メ商工大臣ニ届出ツベシ

商工大臣ハ前項ノ事業計畫ノ届出ヲ免除スルコトヲ得

第十條 產金法第十五條ノ規定ニ依リ輸入税ノ免除ヲ受クルコトヲ得ベキ器具、機械其ノ他ノ材料ハ金鑛業又ハ金製鍊業ノ爲必要ナル物品ニシテ豫メ商工大臣ノ認可ヲ受ケタルモノニ限ル

前項ノ物品ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第十一條 產金法第十五條ノ規定ニ依リ輸入税ノ免除ヲ受ケントスル者ハ輸入申告書ニ前條第一項ノ認可ヲ受ケタルコトヲ證スル書類ヲ添付スベシ

輸入申告ハ金鑛業者又ハ金製鍊業者ノ名ヲ以テスルコトヲ要ス

第十二條 輸入税ノ免除ヲ受ケタル物品ヲ產金法第十五條ノ規定ニ依リ輸入税ノ免除ヲ受クルコトヲ得ベキ他ノ用途ニ供セントスル場合ニ於テハ商工大臣ノ認可ヲ受ケ其ノ旨ヲ稅關ニ申告スルコトヲ要ス

第十三條 輸入税ノ免除ヲ受ケタル物品ヲ輸入ノ日ヨリ一年内ニ輸入ノ目的タル用途又ハ前條ノ規定ニ依ル他ノ用途ニ供セザルトキハ其ノ輸入税ヲ追徴ス但シ已ムコトヲ得ザル事由ニ依リ其ノ期間ノ延長ニ付商工大臣ノ認可ヲ受ケ其ノ旨ヲ稅關ニ申告シタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

附則

本令ハ産金法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス
 産金法施行ノ際現ニ金鑛業又ハ金製鍊業ヲ營ム者以外ノ者含金鑛産物ヲ所有スルトキハ産金法附則
 第二項ノ規定ハ之ヲ適用セズ
 金銀地金精製及品位證明規則第二條ニ左ノ但書ヲ加フ
 但シ政府ニ賣却スヘキ地金ハ此ノ限ニ在ラス

産金法施行規則

昭和十二年八月
 商工省令第十六號

改正 昭和十五年第二五號、一六年第四七號

第一條 金製鍊業ノ免許ヲ受ケントスル者ハ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル免許申請書ヲ商工大臣ニ
 提出スベシ

- 一 製鍊場ノ名稱及所在地
- 二 製鍊方式
- 三 主要ナル製鍊設備及其ノ能力
- 四 事業開始ノ豫定期
- 前項ノ免許申請書ニハ左ニ掲グル書類ヲ添付スベシ
- 一 操業方法ノ概要ヲ記載シタル書類

- 二 元鑛ノ種類別品位及一月ノ種類別處理量ヲ記載シタル書類
 - 三 製品ノ種類別品位及一月ノ種類別産出量ヲ記載シタル書類
 - 四 工事費豫算書
 - 五 事業資金ノ總額及其ノ調達方法ヲ記載シタル書類
 - 六 會社發起人ニ在リテハ定款、會社ニ在リテハ定款、登記簿ノ謄本、財産目錄、貸借對照表、
 營業報告書、損益計算書及利益ノ處分ニ關スル書類
 - 七 組合ニ在リテハ契約書
- 第一項各號ニ掲グル事項ヲ變更セントスルトキハ其ノ事由ヲ具シ商工大臣ノ許可ヲ受クベシ
- 第二條 業トシテ含金鑛産物ノ買入ヲ爲サントスル者ハ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル免許申請書ヲ
 商工大臣ニ提出スベシ

- 一 營業所又ハ事務所ノ所在地
- 二 含金鑛産物ノ種類及一月ノ取扱數量
- 三 含金鑛産物ノ買入先及賣却先
- 四 精製ヲ爲ス者ニ在リテハ一月ノ精製能力
- 前項ノ免許申請書ニハ左ニ掲グル書類ヲ添付スベシ
- 一 事業開始ノ豫定期ヲ記載シタル書類
- 二 精製ヲ爲ス者ニ在リテハ其ノ設備ノ概要ヲ記載シタル書類
- 三 事業資金ノ總額及其ノ調達方法ヲ記載シタル書類

四 會社發起人ニ在リテハ定款、會社ニ在リテハ定款、登記簿ノ謄本、財産目錄、貸借對照表、營業報告書、損益計算書及利益ノ處分ニ關スル書類

第一項各號ニ掲グル事項ヲ變更シタルトキハ其ノ事由ヲ具シ遲滞ナク之ヲ商工大臣ニ届出ヅベシ

第三條 金製鍊業者又ハ産金法第三條第一項後段ノ免許ヲ受ケ業トシテ含金鑛產物ノ買入ヲ爲ス者（以下含金鑛產物買入業者ト稱ス）其ノ事業ヲ開始シタルトキハ遲滞ナク之ヲ商工大臣ニ届出ヅベシ

第四條 含金鑛產物ニ付産金法施行令第三條第二號又ハ同令第八條第二號ノ許可ヲ受ケントスル者ハ其ノ事由、含金鑛產物ノ種類及數量ヲ記載シタル許可申請書ヲ商工大臣ニ提出スベシ

第五條 金製鍊業者其ノ事業ノ廢止又ハ休止ノ許可ヲ受ケントスルトキハ其ノ事由及休止ノ期間ヲ記載シタル許可申請書ヲ商工大臣ニ提出スベシ

第六條 金製鍊業者休止シタル事業ヲ再ビ開始シタルトキハ遲滞ナク之ヲ商工大臣ニ届出ヅベシ

當事者連署ノ上之ヲ商工大臣ニ提出スベシ
前項ノ認可申請書ニハ左ニ掲グル書類ヲ添附スベシ

一 讓渡契約ヲ證スル書類

二 讓渡人又ハ讓受人ガ會社ナル場合ニ於テハ讓渡ニ關スル株主總會ノ決議録又ハ總社員ノ同意書ノ謄本、其ノ他ノ法人ナル場合ニ於テハ讓渡ニ關スル社員總會ノ決議録ノ謄本、組合ナル場合ニ於テハ讓渡ニ關スル總組合員ノ同意書ノ謄本

三 讓受人ガ法人ナル場合ニ於テハ其ノ定款、組合ナル場合ニ於テハ其ノ契約書

讓渡終了シタルトキハ當事者連署ノ上遲滞ナク之ヲ商工大臣ニ届出ヅベシ

第七條 前條ノ規定ハ金製鍊業者ヲ營ム會社ノ合併ニ付之ヲ準用ス

第八條 金製鍊業者ヲ營ム會社ノ解散ノ認可申請書ニハ解散ノ事由ヲ記載シ且解散ニ關スル株主總會ノ決議録又ハ總社員ノ同意書ノ謄本ヲ添附スベシ

第九條 相續人被相續人ノ金製鍊業者ヲ承繼シタルトキハ承繼ヲ知リタル日ヨリ一月以内ニ其ノ旨ヲ商工大臣ニ届出ヅベシ

前項ノ届書ニハ承繼ノ事由ヲ記載シタル書類ヲ添附スベシ

第十條 含金鑛產物買入業者其ノ事業ヲ廢止シ又ハ休止シタルトキハ其ノ事由ヲ具シ遲滞ナク之ヲ商工大臣ニ届出ヅベシ

第十一條 商工大臣ハ金製鍊業者又ハ含金鑛產物買入業者ニ付左ニ掲グル事項ヲ告示ス告示シタル事項ニ變更アリタルトキ亦同ジ

一 産金法第三條第一項ノ免許ヲ爲シタルトキハ其ノ氏名名稱又ハ商號及製鍊場又ハ本店ノ所在地並ニ免許ノ年月日

二 産金法第四條ノ規定ニ依リ事業ノ廢止ヲ許可シ又ハ事業ノ讓渡若ハ法人ノ合併、解散ノ決議若ハ總社員ノ同意ヲ認可シ又ハ第九條ノ規定ニ依ル事業ノ承繼若ハ前條ノ規定ニ依ル事業ノ廢止ノ届出アリタル場合ニ於テ金製鍊業者又ハ含金鑛產物買入業者タル資格ヲ失フ人若ハ法人又ハ金製鍊業者タル資格ヲ得ル人若ハ法人アルトキハ其ノ氏名名稱又ハ商號及製鍊場又ハ本店ノ

所在地並ニ資格得喪ノ原因及許可、認可又ハ届出ノ年月日

三 産金法第十八條ノ規定ニ依リ同法第三條第一項ノ免許ノ取消ヲ爲シタルトキハ其ノ氏名名稱又ハ商號及製鍊場又ハ本店ノ所在地並ニ取消ノ年月日

第十二條 金製鍊業者ハ毎年一月一日ヨリ十二月三十一日ニ至ル期間ノ事業計畫ヲ定メ其ノ前年十一月三十日迄ニ之ヲ商工大臣ニ届出ヅベシ但シ處理鑛量年三千匁ニ滿タザル者ハ此ノ限ニ在ラズ

第十三條 金製鍊業ノ事業計畫書ニハ左ニ掲グル事項ヲ記載スベシ

一 製鍊設備ノ擴張又ハ變更計畫

二 操業計畫ノ概要

(イ) 元鑛ノ種類別品位及處理量

(ロ) 製鍊實收率

(ハ) 製品ノ種類別品位及產出量

(ニ) 操業日數

三 製品ノ處分方法

四 年始ニ於ケル貯鑛數量

第十四條 金鑛業者ハ毎年一月一日ヨリ十二月三十一日ニ至ル期間ノ事業計畫ヲ定メ前年十一月三十日迄ニ之ヲ商工大臣ニ届出ヅベシ但シ含金鑛物掘採量年一萬匁又ハ砂金採取量年二十匁ニ滿タザル者ハ此ノ限ニ在ラズ

第十五條 金鑛業ノ事業計畫書ニハ左ニ掲グル事項ヲ記載スベシ

一 探鑛、掘採、採取又ハ選鑛ニ關スル計畫ノ概要

二 掘採又ハ採取鑛物ノ種類別品位及數量

三 選鑛ヲ爲ス者ニ在リテハ元鑛及精鑛ノ品位及數量

四 鑛石又ハ砂金ノ處分方法

第十六條 商工大臣産金法第五條第二項又ハ同法第七條第二項ノ規定ニ依リ事業計畫ノ變更ヲ命ズル場合ニ於テハ其ノ變更スベキ事項及期間ヲ指定シテ之ヲ爲ス

第十七條 鑛業法施行細則第四條、第六條、第五十八條乃至第六十三條及第六十八條、第六十九條及第七十一條ノ規定ハ金鑛業者ニ非ザル金製鍊業者ニ關シ之ヲ準用ス

第十八條 産金法施行令第十條ニ規定スル物品ハ左ニ掲グルモノトス

一 關稅定率別表輸入稅表ニ掲グル物品ニシテ本則ノ別表ニ掲グルモノ

二 前號ニ該當スル器具又ハ機械ノ部分品及附屬品

三 第一號ニ該當スル機械ト共ニ一組トシテ輸入セラルル附屬原動機及其ノ附屬裝置

第十九條 産金法第十五條ノ認可ヲ受ケントスル者ハ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル認可申請書ヲ商工大臣ニ提出スベシ

一 輸入セントスル物品ノ品名、型式、能力、性質、數量及價額

二 輸入セントスル物品ノ用途

三 輸入ヲ必要トスル事由

四 製造者及輸出者

産金法施行規則

五 輸入豫定ノ時期及港

前項第五號ニ掲グル事項ヲ變更セントスルトキハ豫メ之ヲ商工大臣ニ届出ヅベシ

第二十條 産金法第十五條ノ規定ニ依リ認可ヲ受ケ輸入ヲ爲シタル者ハ輸入後遲滞ナク左ニ掲グル

事項ヲ記載シタル届出書ニ輸入認可書寫ヲ添附シ之ヲ商工大臣ニ提出スベシ

一 輸入シタル物品ノ品名及數量

二 輸入ノ年月日及港

第二十一條 産金法施行令第十二條ノ認可ヲ受ケントスル者ハ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル認可申

請書ニ輸入認可書寫ヲ添附シ之ヲ商工大臣ニ提出スベシ

一 用途ヲ變更セントスル物品ノ品名、數量及用途

二 變更セントスル用途

三 用途ノ變更ヲ必要トスル事由

四 輸入ノ年月日及港

第二十二條 産金法第十五條ノ規定ニ依リ輸入税ノ免除ヲ受ケタル物品ヲ目的タル用途ニ供シタル

トキハ遲滞ナク左ニ掲グル事項ヲ記載シタル届出書ニ輸入認可書寫ヲ添附シ之ヲ商工大臣ニ提出

スベシ

一 輸入シタル物品ノ品名、數量及用途

二 用途ニ供シタル年月日

三 輸入ノ年月日及港

産金法第十五條ノ規定ニ依リ輸入税ノ免除ヲ受ケタル物品ヲ目的タル用途ニ供セザルニ至リタル
トキハ遲滞ナク其ノ事由竝ニ前項第一號及第三號ニ掲グル事項ヲ記載シタル届出書ニ輸入認可書
寫ヲ添附シ之ヲ商工大臣ニ提出スベシ

第二十三條 金製鍊業者ハ製鍊場毎ニ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル事業月報ヲ翌月十五日迄ニ商工

大臣ニ提出スベシ

一 元鑛ノ種類別品位及處理量

二 製鍊實收率

三 製品ノ種類別品位及產出量並賣却量(賣却先別ニ記載スベシ)

四 操業日數

第二十四條 含金鑛產物買入業者ハ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル事業月報ヲ翌月十五日迄ニ商工大

臣ニ提出スベシ

一 買入レタル含金鑛產物ノ種類別品位、價格及數量(買入先別ニ記載スベシ)

二 賣却シタル含金鑛產物又ハ精製金地金ノ種類別品位、價格及數量(賣却先別ニ記載スベシ)

三 月末ニ於ケル含金鑛產物ノ種類別保有數量

第二十五條 金鑛業者、金製鍊業者又ハ含金鑛產物買入業者法人ナルトキハ營業期經過後遲滞ナク

財産目録、貸借對照表、營業報告書、損益計算書及利益ノ處分ニ關スル書類ヲ商工大臣ニ提出ス

ベシ

第二十六條 第六條乃至第九條及第二十五條ノ規定ニ依リ金鑛業者又ハ金製鍊業者ヨリ商工大臣ニ

産金法施行規則

提出スル書類ハ其ノ本店ノ所在地ヲ管轄スル鑛山監督局長ヲ經由スベシ
 第一條、第三條、第五條、第十二條、第十四條及第二十三條ノ規定ニ依リ商工大臣ニ提出スル書類ハ鑛業者ヨリ提出スル場合ニ在リテハ其ノ鑛山ノ所在地ヲ管轄スル鑛山監督局長ヲ、金製鍊業者ヨリ提出スル場合ニ在リテハ其ノ製鍊場ノ所在地ヲ管轄スル鑛山監督局長ヲ經由スベシ
第二十七條 第十七條ノ規定ニ依リ準用シタル鑛業法施行細則第六十一條又ハ第六十三條ノ規定ニ違反シタル者ハ百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

附則

本則ハ産金法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

産金法施行ノ際現ニ金製鍊業ヲ營ム者又ハ其ノ事業ヲ承繼シタル者ニシテ同法施行ノ日又ハ事業ヲ承繼シタル日ヨリ三週間以内ニ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル書類ヲ商工大臣ニ提出セザルモノニ付テハ同法附則第三項ノ規定ハ之ヲ適用セズ

- 一 製鍊場ノ名稱及所在地
- 二 製鍊方式
- 三 主要ナル製鍊設備及其ノ能力

(別表)

輸入税
表番號
九五
品名
植物性揮發油
二 其ノ他

名

乙 其ノ他ノ内

- 二二九 別號ニ掲ケサル藥材、化學藥及製藥ノ内 青化石灰
- 二三〇 藥材、化學藥及製藥ノ調合品(別號ニ掲ケサルモノ)ノ内浮游選鑛劑
- 四六二 鐵(別號ニ掲ケタル特殊鋼ヲ除ク)
 - 二 條及竿(テI形、アングル形等ノ形狀ヲ有スルモノヲ含ム)ノ内 鑿岩機用ノ工具鋼

四六二ノ二 特殊鋼

- 二 全重量百分中炭素ノ重量〇・七以上ヲ含有シ且磷及硫黃ノ各重量〇・〇二以下ノ塊、錠、條及竿ノ内 鑿岩機用ノ工具鋼
- 五八四 キヤプスタン、ウインチ、ウインドラス其ノ他別號ニ掲ケサルワインディングマシン
 - 一 原動力機ト結合シタルモノ
 - 甲 一箇ノ重量千キログラムヲ超エサルモノノ内 エヤーホイスト
 - 五九五 ニウマチツクツール及ニウマチツクマシン
 - 六〇四 別號ニ掲ケサル機械

附則

本令ハ昭和十六年六月一日ヨリ之ヲ施行ス

産金獎勵規則

昭和十二年十月
商工省令第二十二號

改正 昭和十四年第一六號、一五年第二三號

一四八

第一條 商工大臣ハ本則ニ依リ金鑛業者又ハ金製鍊業者ニ對シ探鑛又ハ選鑛場若ハ製鍊場ノ設置ニ付毎年度豫算ノ範圍内ニ於テ獎勵金ヲ交付シ又ハ金鑛業者ニ對シ探鑛ノ爲鑿岩用機械器具類ヲ貸與ス

第二條 探鑛獎勵金ノ額ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル金額ヲ限度トス

- 一 水平坑道（三十度未満ノ傾斜ヲ有スル斜坑ヲ含ム以下同ジ）ニ在リテハ延長一メートルニ付三十圓
- 二 堅坑（三十度以上ノ傾斜ヲ有スル斜坑ヲ含ム以下同ジ）ニ在リテハ延長一メートルニ付九十圓
- 三 金鑛ヲ目的トスル試錐ニ在リテハ延長一メートルニ付二十圓
- 四 砂金ヲ目的トスル試錐ニ在リテハ錐孔一本ニ付十五圓

第三條 選鑛場又ハ製鍊場ノ設置ニ付交付スル獎勵金ノ額ハ其ノ設置ニ要シタル費用ノ七割以内トス

第四條 探鑛獎勵金ノ交付ヲ受ケントスル者ハ様式第一號ニ依ル申請書ヲ商工大臣ニ提出スベシ

第五條 選鑛場又ハ製鍊場ノ設置ニ付獎勵金ノ交付ヲ受ケントスル者ハ様式第二號ニ依ル申請書ヲ

商工大臣ニ提出スベシ

第六條 獎勵金交付ノ指令ヲ受ケタル者前二條ノ申請書ニ記載シタル事項ヲ變更セントスルトキハ豫メ商工大臣ノ承認ヲ受クベシ

第七條 獎勵金ハ探鑛作業ガ豫定ノ延長ニ達シ又ハ選鑛場若ハ製鍊場ノ設置工事完成シタル後之ヲ交付ス但シ特別ノ事由アルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第八條 獎勵金ハ其ノ交付ヲ受ケタル目的以外ニ之ヲ使用スルコトヲ得ズ

第九條 探鑛獎勵金交付ノ指令ヲ受ケタル者ハ探鑛日誌ヲ備ヘ掘鑿ノ狀況及地質鑛床ノ状態ヲ記載スベシ

第十條 選鑛場又ハ製鍊場ノ設置ニ付獎勵金交付ノ指令ヲ受ケタル者ハ工事日誌、工事費支出簿及設備臺帳ヲ備ヘ工事日誌ニハ工事ノ狀況ヲ、工事費支出簿ニハ工事ニ關スル支出ヲ、設備臺帳ニハ設置シタル機械器具其ノ他ノ設備ヲ記載スベシ

第十一條 獎勵金交付ノ指令ヲ受ケタル者ハ探鑛日誌又ハ工事日誌ニ基キ毎月十日迄ニ其ノ前月分ノ掘鑿ノ狀況及地質鑛床ノ状態又ハ工事ノ狀況ニ關シ様式第三號、様式第四號又ハ様式第五號ニ依ル報告書ヲ商工大臣ニ提出スベシ

第十二條 重大ナル事故ニ因リ探鑛作業又ハ選鑛場若ハ製鍊場ノ設置工事ニ支障ヲ來シタルトキハ獎勵金交付ノ指令ヲ受ケタル者ハ其ノ概要ヲ遲滞ナク商工大臣ニ報告スベシ

第十三條 獎勵金交付ノ指令ヲ受ケタル者探鑛作業又ハ選鑛場若ハ製鍊場ノ設置工事ヲ休止シ又ハ

廢止セントスルトキハ豫メ商工大臣ノ承認ヲ受クベシ

第十四條 獎勵金交付ノ指令ヲ受ケタル者鑛業權、砂鑛權又ハ金製鍊業ヲ移轉シ承繼人ニ於テ探鑛作業又ハ選鑛場若ハ製鍊場設置工事ヲ繼續セントスルトキハ當時者連署ノ上商工大臣ノ承認ヲ受クベシ

第十五條 獎勵金ノ交付ヲ受ケテ設置シタル選鑛場ハ工事完成ノ日ヨリ五年間ハ商工大臣ノ承認ヲ受クルニ非ザレバ之ヲ讓渡スルコトヲ得ズ

第十五條ノ二 獎勵金ノ交付ヲ受ケテ設置シタル選鑛場ノ事業主ハ工事完成ノ日ヨリ五年間毎月ノ事業ノ狀況ニ關シ様式第六號ニ依ル事業月報ヲ翌月十五日迄ニ商工大臣ニ提出スベシ
前項ノ事業主前項ノ期間内ニ其ノ事業ヲ廢止又ハ休止シタルトキハ遲滯ナク其ノ旨ヲ商工大臣ニ届出ヅベシ其ノ休止シタル事業ヲ再ビ開始シタルトキ亦同ジ
前項ノ廢止又ハ休止ノ届書ニハ其ノ事由及休止ノ期間ヲ記載スベシ

第十六條 商工大臣必要アリト認ムルトキハ探鑛獎勵金交付ノ指令ヲ受ケタル者ニ對シ探鑛作業ノ中止又ハ探鑛作業計畫ノ變更ヲ命ズルコトアルベシ

第十七條 探鑛作業ガ豫定ノ延長ニ達シ又ハ選鑛場若ハ製鍊場ノ設置工事完成シタルトキハ遲滯ナク其ノ旨ヲ商工大臣ニ届出ヅベシ

第十八條 獎勵金交付ノ指令ヲ受ケタル者獎勵金ノ交付ヲ受ケントスルトキハ様式第七號又ハ様式第八號ニ依ル申請書ヲ商工大臣ニ提出スベシ

第十九條 商工大臣必要アリト認ムルトキハ獎勵金交付ノ指令ヲ受ケタル者ニ對シ其ノ探鑛作業、

選鑛場若ハ製鍊場ノ設置工事又ハ會計ニ關シ報告ヲ爲サシメ書類、帳簿又ハ探鑛作業若ハ工事ノ狀況ノ検査ヲ爲スコトアルヘシ

第二十條 金鑛業者鑛岩用機械器具類ノ貸與ヲ受ケントスルトキハ様式第九號ニ依ル申請書ヲ商工大臣ニ提出スベシ

貸與スベキ鑛岩用機械器具類ハ商工大臣之ヲ告示ス

第二十一條 獎勵金交付ノ指令ヲ受ケタル者又ハ獎勵金ノ交付ヲ受ケタル者左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ商工大臣ハ獎勵金交付ノ指令ヲ取消シ、獎勵金ノ額ヲ減少シ又ハ既ニ交付シタル獎勵金ノ全部若ハ一部ノ返還ヲ命ズルコトアルベシ

一 本則又ハ本則ニ基キテ命ジタル事項ニ違反シタルトキ

二 獎勵金交付ノ條件ニ違反シタルトキ

三 探鑛作業計畫又ハ選鑛場若ハ製鍊場ノ設置工事計畫ヲ變更シタルトキ

四 探鑛作業又ハ選鑛場若ハ製鍊場ノ設置工事ヲ休止シ又ハ廢止シタルトキ

五 探鑛作業中止ノ命令ヲ受ケタルトキ

六 不正ノ行爲又ハ怠慢アリタルトキ

七 選鑛場又ハ製鍊場ノ設置工事ノ支出額カ豫算額ニ比シ著シク相違スルトキ

第二十二條 鑛岩用機械器具類ノ貸與ヲ受ケタル者貸與ニ付不正ノ行爲アリタルトキ又ハ貸與ノ條件ニ違反シタルトキハ返還其ノ他必要ナル事項ヲ命ズルコトアルベシ

第二十三條 本則ノ規定ニ依リ商工大臣ニ提出スル書類ハ金鑛業者ヨリ提出スル場合ニ於テハ其ノ

鑛山ノ所在地ヲ管轄スル鑛山監督局長ヲ、金製鍊業者ヨリ提出スル場合ニ於テハ其ノ製鍊場ノ所在地ヲ管轄スル鑛山監督局長ヲ經由スベシ

附則

本則ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

附則(昭和十四年商工省令第十六號)

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行前探鑛獎勵金交付ノ指令ヲ受ケタル者及探鑛獎勵金ノ交付ヲ受ケタル者ニ付テハ仍從前ノ例ニ依ル

樣式第一號

金鑛(砂金)探鑛獎勵金交付申請書

鑛區(砂鑛區)所在地

鑛區(砂鑛區)番號

登錄年月日(試掘鑛區ニ限リ)

鑛山名

右鑛區(砂鑛區)ニ於テ探鑛作業致度候條探鑛獎勵金 圓交付相成度別紙探鑛作業計畫書並ニ探鑛作業計畫ヲ示シタル鑛區圖(砂鑛區圖) 寫及圖面相添此段及申請候也

年月日

住所

申請人氏

名印

(鑛業權者又ハ砂鑛權者二人以上ノ場合ハ連署スルコト)

商工大臣宛

備考

一 鑛區(砂鑛區)所在地ヲ明示シタル陸地測量部五萬分ノ一地形圖ヲ添附スルコト

二 探鑛作業計畫ヲ示シタル鑛區圖(砂鑛區圖) 寫及圖面ハ左ノ要領ニ依リ之ヲ調製スルコト

(一) 鑛區圖(砂鑛區圖) 寫
關係坑口又ハ試錐孔口ノ位置ヲ示シ附近ノ標杭ニ結測シ其ノ方位及距離ヲ記入スルコト

(二) 圖 面
(イ) 平面圖及截面圖トシ縮尺ハ五百分ノ一乃至三千分ノ一トスルコト

(ロ) 鑛床及露頭ト探鑛坑道又ハ試錐孔トノ關係ヲ示スコト

(ハ) 坑口及坑道又ハ試錐孔口及試錐孔ヲ示シ坑道又ハ試錐孔ノ掘進方向及延長ヲ記入スルコト

(ニ) 各坑道及各試錐孔ノ番號ヲ記入スルコト

(ホ) 坑道掘鑿開始箇所又ハ試錐開始箇所ト坑口トノ距離ヲ記入スルコト但シ新ニ開鑿スル場合ニ於テハ坑口又ハ試錐孔口ト最寄ノ基點トヲ結測シ其方位及距離ヲ記入スルコト

(ハ) 稼行シタル坑道ヲ記入スルコト

(別紙)

産金獎勵規則

探鑛作業計畫書

一 地質鑛床ノ状態及從來ノ稼行狀況

(一) 地質鑛床ノ状態

(鑛床ノ状態ニ付テハ其ノ種類、形状、走向、傾斜、幅、延長及深サノ概要、露頭ノ狀況並ニ品位ヲ記載スルコト)

(二) 從來ノ稼行狀況

(イ) 沿革ノ概要

(鑛業權又ハ砂鑛權ノ移動、鑛區又ハ砂鑛區ノ増減、資本投下ノ狀況等ヲ記載スルコト)

(ロ) 從來ノ探鑛又ハ採取及探鑛作業ノ狀況

(探鑛又ハ採取及探鑛作業別鑛夫數、一米當リ使用鑛夫數及爆藥使用量、探鑛坑道又ハ試錐孔ノ月平均掘進延長等ヲ記載スルコト)

(ハ) 最近三年間ニ産出シタル粗鑛及精鑛又ハ砂金ノ各年ニ於ケル種類別品位及數量並ニ其ノ處分狀況

(休業中ノ鑛山ニ在リテハ休業前ノモノニ付記載スルコト)

(ニ) 其ノ他參考トナルベキ事項

二 探鑛作業計畫

(一) 掘鑿スベキ坑道又ハ試錐孔

(イ) 水平坑道

坑道 番號	坑道 名	探鑛作 業ノ目 的	掘鑿開 始箇所	坑道掘 進方 位	坑道 大サ (米)	掘鑿方 法	當該年 度ノ豫 定延 長 (米)	完 成 期 間
計						手掘 電鑿掘 空鑿掘		

(ロ) 豎坑

坑道 番號	坑道 名	探鑛作 業ノ目 的	掘鑿開 始箇所	坑道掘 進方 位	坑道 大サ (米)	傾斜 (度)	掘鑿方 法	當該年 度ノ豫 定延 長 (米)	完 成 期 間
計							手掘 電鑿掘 空鑿掘		

(ハ) 試 錐

試錐 番號	探鑛作業 ノ目的	試錐開 始箇所	地 質	試錐孔ノ 大サ(種)	掘鑛 位及傾 斜(度)	試錐方法	當該年度 ノ豫定延 長(米)	完 成 期 間

備考

- 一 探鑛作業ノ目的ハ何レ鍾向鑛入、何々鍾錘押又ハ何々鍾下部探鑛ノ如ク簡單ニ記載スルコト
- 二 坑道掘鑛開始箇所又ハ試錐開始箇所ハ何々坑口ヨリ何米又ハ何々基點ヨリ何度何分、何米ト記載スルコト
- 三 試錐方法ハ手掘、上總掘、利根式、ヤマト式等ノ如ク記載スルコト
- (二) 掘鑛作業ニ從事スル鑛夫ノ職別實員數、一日ノ就業時間、交替制ノ有無及一月ノ稼働日數(當該作業ノ爲鑛夫ノ新規雇入ヲ要スル場合ニ於テハ其ノ員數及雇入方法ヲ記載スルコト)
- (三) 機械掘ヲ爲ス場合ニ於テハ使用スル鑿岩機又ハ試錐機及其ノ附帶設備ノ種類、型式、大サ

及臺數

- (四) 排水施設ヲ爲ス場合ニ於テハ當該坑道名及排水設備ノ概要
 - (五) 原動機ノ種類、キロワット數及臺數
- (電力ヲ使用スル場合ニ於テハ其ノ供給關係ヲ記載スルコト)

樣式第二號

選鑛場(製鍊場)設置獎勵金交付申請書

鑛區所在地
鑛區番號
登錄年月日(試掘鑛區ニ限リ記載スルコト)
鑛山名
選鑛場(製鍊場)名
鑛業權者

選鑛場(製鍊場)設置致度候條設置獎勵金 圓交付相成度別紙選鑛場(製鍊場)設置計畫書及選鑛場(製鍊場)設置費豫算書相添此段及申請候也

年 月 日

住所 申請人氏 名 印

商工大臣宛

產金獎勵規則

備考

二人以上ノ鑛業權者ガ共同シテ選鑛場（製鍊場）ヲ設置セントスル場合ニ於テハ連署ヲ以テ申請スルコト

（別紙）

選鑛場（製鍊場）設置計畫書

- 一 選鑛場（製鍊所）設置場所
（設置場所ヲ明示シタル陸地測量部五萬分ノ一地形圖ヲ添附スルコト）
- 二 選鑛（製鍊）元鑛ノ種類別品位及一月ノ種類別處理量
（二以上ノ鑛山ノ鑛石ヲ取扱フ場合ニ於テハ產出鑛山別ニ記載スルコト）
- 三 製品ノ種類別品位及一月ノ種類別產出量
- 四 選鑛場（製鍊場）ノ敷地面積並ニ敷地所有者及敷地ガ自己ノ所有ニ係ラザル場合ニ於テハ其ノ使用ノ權利ニ關スル事項
（土地使用契約濟ナル場合ニ於テハ其ノ契約書寫ヲ添附スルコト）
- 五 土木工事及建物建設工事ノ概要
（仕様書及建物ノ設計圖ヲ添附スルコト）
- 六 機械器具類
（機械器具類ノ名稱、數量、新古別、型式、大サ、能力、用途、製造者及購入先ヲ記載シ其ノ配置圖ヲ添附スルコト）

- 七 選鑛（製鍊）方法
- 八 使用動力ノ種類及キロワット數
- 九 一月ノ操業日數及一日ノ操業時間
- 十 使用鑛夫數
- 十一 附近ノ地形、地目及選鑛場（製鍊場）ト坑口トノ關係
（圖面ヲ以テ示スコト）
- 十二 工事ノ著手及完成ノ期日

備考

元鑛產出鑛山ニ付左ニ掲グル事項ヲ記載シタル書類ヲ添附スルコト

一 沿革
二 現狀

- （一）地質鑛床ノ狀態及見込鑛量
（鑛床ノ狀態ニ付テハ其ノ種類、形狀、走向、傾斜、幅、延長及深サノ概要、露頭ノ狀況並ニ品位ヲ記載スルコト）
- （二）最近三年間ニ產出シタル粗鑛及精鑛ノ各年ニ於ケル種類別品位及數量並ニ其ノ處分狀況
（休業中ノ鑛山ニ在リテハ休業前ノモノニ付記載スルコト）
- （三）現ニ存スル選鑛場（製鍊場）ノ設備ノ概要及處理能力
- （四）業務別鑛夫數

産金獎勵規則

(五) 其ノ他參考トナルヘキ事項

(別紙)

選鑛場(製鍊場)設置費豫算書

一 土木工事費

費目	數量	單價	金額	備考
地形費				
立木伐採				
岩石切取				
土砂盛土				
計				
土留工事費				
練積石垣				
木造土留				
排水溝				
計				
合計				

費目	數量	單價	金額	備考
碎鑛場				
搗鑛場				
浮游選鑛場				
青化場				
計				
合計				

二 建物建設工事費

費目	數量	單價	金額	備考
碎鑛場				
搗鑛場				
浮游選鑛場				
青化場				
計				
合計				

産金獎勵規則

三 機械器具類設置費

費目	數量	單價	金額	運搬費	基礎工事費	据付費	計	備考
ブレイクラツ								
シヤ								
ドアーシツクナ								
、、、、								
、、、、								
合計								

備考

機械類ノ運搬費、基礎工事費及据付費ハ機械ノ種類毎ニ記載シ難キ場合ニ於テハ一括シテ之ヲ記載スルコト

四 附帯工事費

費目	數量	單價	金額	備考
鐵管類				
シヤフテイソグ				
、、、、				
合計				

五 總計

様式第三號

金鑛探鑛作業狀況報告書(昭和 年 月 日)

年 月 日

住所

氏

名印

商工大臣宛

産金獎勵規則第十一條ノ規定ニ依リ左ノ通及届出候也

坑道番号	掘鑿坑道名	掘進延長(米)	掘進累計(米)	殘延長(米)	掘鑿狀況	地質鑛床ノ狀況	指令番號	鑛區番號	鑛山名
							計	水平坑道	豎坑

産金獎勵規則

備考

一 掘鑿工程少キ場合ニ於テハ其ノ理由ヲ掘鑿狀況ノ欄ニ記載スルコト
 二 地質鑛床ノ狀態ハ鑛入ニ於テハ地質ノ狀態(會脈セル場合ニ於テハ其ノ走向、傾斜、幅、品位等)、錘押ニ於テハ母岩ノ狀態及鑛床ノ幅、品位等ヲ記載スルコト

樣式第四號

金鑛(砂金) 探鑛作業狀況報告書(昭和 年 月 日分)

年 月 日

住所

氏

名印

商工大臣宛

産金獎勵規則第十一條ノ規定ニ依リ左ノ通及届出候也

指令番號 鑛區(砂鑛區)番號 鑛山名	試錐 番號	掘進延長(米)	掘進累計(米)	殘延長(米)	掘鑿狀況	地質鑛床ノ狀態

備考

- 一 試錐柱狀圖ヲ添附スルコト
- 二 掘鑿工程少キ場合ニ於テハ其ノ理由ヲ掘鑿狀況ノ欄ニ記載スルコト

樣式第五號

選鑛場(製鍊場) 設置工事狀況報告書(昭和 年 月 日分)

年 月 日

住所

氏

名印

商工大臣宛

産金獎勵規則第十一條ノ規定ニ依リ左ノ通及届出候也

指令番號 鑛區番號 鑛山名 選鑛場(製鍊場)名	土木工事	建物建設工事	機械器具据付工事	附帶工事

産金獎勵規則

様式第六號

選鑛場事業月報 (昭和 年 月 分)

年 月 日

住所

氏

名印

商工大臣宛

産金獎勵規則第十五條ノ二ノ規定ニ依リ左ノ通及届出候也

指令番號

鑛區番號

鑛山名

選鑛場名

- 一 元鑛ノ品位及數量
- 二 精鑛ノ種類別品位及數量
- 三 鑛尾ノ品位及數量
- 四 選鑛實收率
- 五 操業日數
- 六 精鑛ノ處分狀況

様式第七號

金鑛 (砂金) 探鑛獎勵金交付申請書

指令番號

鑛區 (砂鑛區) 所在地

鑛區 (砂鑛區) 番號

鑛山名

右鑛區 (砂鑛區) ニ於ケル金鑛 (砂金) 探鑛作業完了致候條探鑛獎勵金 圓交付相成度掘鑿ノ

狀況及地質鑛床ノ狀態ヲ示シタル圖面相添此段及申請候也

年 月 日

住所

申請人氏

名印

(鑛業權者二人以上ノ場合ハ連署スルコト)

商工大臣宛

備考

掘鑿ノ狀況及地質鑛床ノ狀態ヲ示シタル圖面ニハ探鑛ノ結果判明セル地質鑛床ノ狀態及獎勵金ノ交付ヲ受クベキ探鑛坑道又ハ試錐孔ノ部分ヲ明示スルコト

様式第八號

選鑛場 (製鍊場) 設置獎勵金交付申請書

指令番號

産金獎勵規則

選鑛場（製鍊場）設置工事完成致候條選鑛場（製鍊場）設置獎勵金 圓交付相成度工事費支出
明細書相添此段及申請候也

年 月 日

住所

申請人氏

名 印

商工大臣宛

備考

- 一 二人以上ノ鑛業權者ガ共同シテ選鑛場（製鍊場）ヲ設置シタル場合ニ於テハ連署ヲ以テ申請スルコト
- 二 工事費支出明細書ハ設置費豫算書ノ様式ニ準ジテ之ヲ作成シ決算額ガ豫算額ト著シク相違スル場合ニ於テハ其ノ理由ヲ備考欄ニ記載スルコト

様式第九號

鑿岩用機械器具類貸與申請書

鑛區所在地
鑛區番號
登錄年月日
鑛山名

（試掘鑛區ニ限リ記載スルコト）

右鑛區ニ於テ探鑛作業致度候條左記鑿岩用機械器具類貸與相成度別紙探鑛作業計畫書並ニ探鑛作業計畫ヲ示シタル鑛區圖寫及圖面相添此段及申請候也

年 月 日

住所

申請人氏

名 印

（鑛業權者二人以上ノ場合ハ連署スルコト）

商工大臣宛

記

一、
一、
一、
一、
一、
一、
一、
一、
一、
一、

備考

- 一 鑛區所在地ヲ明示シタル陸地測量部五萬分ノ一地形圖ヲ添附スルコト
- 二 探鑛作業計畫書ハ探鑛獎勵金交付申請書ニ添附スベキ探鑛作業計畫書ノ様式ニ準ジ之ヲ作成スルコト

産金獎勵規則

三 探鑛作業計畫ヲ示シタル鑛區圖寫及圖面ハ様式第一號備考ニ準ジ之ヲ調製スルコト

一七〇

鑛區稅法

昭和十五年三月
法律第三一號

第一條 本法施行地ニ在ル鑛區及砂鑛區ニハ本法ニ依リ鑛區稅ヲ課ス

第二條 鑛區稅ハ左ノ稅率ニ依リ之ヲ賦課ス

- 一 試掘鑛區 面積千坪毎ニ 三十錢
- 二 探掘鑛區 面積千坪毎ニ 六十錢
- 三 砂鑛區

河床 延長一町毎ニ 三十錢

河床ニ非ザルモノ 面積千坪毎ニ 三十錢

前項ノ場合ニ於テ千坪未滿又ハ一町未滿ノ端數ハ之ヲ千坪又ハ一町トシテ計算ス

第三條 鑛區稅ハ毎年十二月中ニ翌年分ヲ徵收ス

鑛區又ハ砂鑛區ノ合併又ハ分割ニ因リ設定セラレタル場合ヲ除クノ外鑛業權(砂鑛權ヲ含ム以下同ジ)ノ設定又ハ變更ノ登録ニ依リ新ニ負擔シ又ハ不足セル鑛區稅ニシテ其ノ登録ノ年ニ係ルモノハ直ニ之ヲ徵收ス

試掘權ノ存續期間滿了ノ年ニ係ル鑛區稅及前項ノ規定ニ依リ徵收スベキ鑛區稅ハ月割ヲ以テ之ヲ計算ス

第四條 鑛區稅ハ納期開始ノ時ニ於ケル鑛業權者(砂鑛權者ヲ含ム以下同ジ)ヨリ之ヲ徵收ス

共同鑛業權者ハ連帶シテ納稅ノ義務ヲ負フ

公賣及競賣以外ノ原因ニ因リ鑛業權ノ移轉アリタル場合ニ於テ未納ニ係ル鑛區稅アルトキハ新鑛業權者ハ當該鑛區稅ニ付舊鑛業權者ト連帶シテ納稅ノ義務ヲ負フ

第五條 鑛業權者鑛業代理人(砂鑛業代理人ヲ含ム以下同ジ)ヲ選任シタルトキハ其ノ鑛業代理人ハ鑛區稅ニ關スル事項ノ處理ヲ委任セラレタルモノト看做ス

納稅義務者及鑛業代理人鑛區又ハ砂鑛區ノ所在地ヲ管轄スル稅務署ノ管轄區域内ニ現住セザルトキハ鑛區稅ニ關スル事項ヲ處理セシムル爲其ノ地ニ於テ納稅管理人ヲ定メ政府ニ申告スベシ

附則

第六條 本法ハ昭和十五年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

第七條 砂鑛區稅法ハ之ヲ廢止ス但シ昭和十五年分以前ノ砂鑛區稅及同附加稅ニ付テハ仍從前ノ例ニ依ル

第八條 鑛業法中左ノ通改正ス

第十三條 削除

第四十一條中「鑛業稅」ヲ「鑛區稅」ニ改ム

第七章 削除

第八十一條乃至第八十八條 削除

第一百條 削除

鑛區稅法

一七一

第九條 昭和十五年三月三十一日以前ニ産出シタル鑛産物ニ對スル鑛産稅及同附加稅並ニ昭和十五年分以前ノ鑛區稅及同附加稅ニ付テハ仍從前ノ例ニ依ル但シ昭和十五年一月一日以後昭和十五年三月三十一日迄ニ産出シタル鑛産物ニ對スル鑛産稅ハ昭和十五年六月中ニ之ヲ徵收ス

第十條 北海道 府縣、市町村其ノ他ノ公共團體ハ昭和十六年度分迄直接鑛業又ハ砂鑛業ノ用ニ供スル家屋ニ對シ地方稅ヲ課スルコトヲ得ズ

第十一條 砂鑛法第二十三條中「第八十七條乃至第八十九條」ヲ「第八十九條」ニ改ム

登録稅法 (拔萃)

明治二十九年三月
法律第二十七號

改正 昭和一六年第四六號、第五一號、第六五號

第三條ノ四 (上略) 鑛業財團登記簿 (中略) ニ登記ヲ受クルトキハ左ノ區別ニ從ヒ登録稅ヲ納ム

- 一 抵當權ノ取得 債權金額 千分ノ一
- 二 信託ノ登記 債權金額 千分ノ一
- 三 競賣、強制管理ノ申立 債權金額 千分ノ一
- 四 假差押、假處分 債權金額 千分ノ一
- 五 抵當アル債權ノ差押 債權金額 千分ノ一
- 六 滯納處分以外ノ原因ニ因ル權利ノ處分ノ制限ニシテ特ニ掲ケサルモノ 債權金額 千分ノ一

- 七 抹消シタル登記ノ回復 每一件 金二圓
- 八 假登記 每一件 金二圓
- 九 附記登記 每一件 金二圓
- 十 登記ノ更正、變更又ハ抹消 每一件 金二圓

第十四條 鑛業權ニ關シ鑛業原簿ニ登録ヲ受クルトキハ左ノ區別ニ從ヒ登録稅ヲ納ムヘシ

- 一 試掘權ノ設定 每一件 金百圓
- 二 試掘權ノ變更
 - 增區又ハ増減區 每一件 金四十五圓
 - 減區 每一件 金十圓
- 三 試掘權ノ移轉
 - 相續 每一件 金十圓
 - 相續以外ノ原因ニ因ル移轉 每一件 金四十五圓
- 四 採掘權ノ設定
 - 新規登録 每一件 金二百圓
 - 鑛區合併 每一件 金五十圓
 - 鑛區分割 設定鑛區 每一件 金五十圓
 - 採掘權ノ變更 每一件 金五十圓
 - 鑛區訂正 每一件 金五十圓
- 五 採掘稅法 一七三

增區又ハ増減區 每一件 金百圓

減區 每一件 金二十圓

六 探掘權ノ移轉 相續 每一件 金二十圓

相續以外ノ原因ニ因ル移轉 每一件 金百圓

七 抵當權ノ設定 新規登録 債權金額 千分ノ五、五

礦業法第三十五條第二項ニ基キ爲シタル承諾及協定ニ因ル設定 每一件 金五圓

八 順位ノ變更ニ因ル抵當權ノ變更 每一件 金十圓

九 抵當權ノ移轉 相續 每一件 金五圓

相續以外ノ原因ニ因ル移轉 每一件 金十圓

十 信託ノ登録 每一件 金十圓

十一 共同礦業權者ノ脱退 每一件 金五圓

十二 滯納處分以外ノ原因ニ因ル礦業權又ハ抵當權ノ處分ノ制限 債權金額 千分ノ四

十三 廢業ニ因ル礦業權ノ消滅 每一件 金五圓

十四 抹消シタル登録ノ回復 每一件 金四十錢

十五 假登録 每一件 金四十錢

十六 登録ノ更正、變更又ハ抹消 每一件 金二十錢

第十五條 砂鑛業ニ關シ砂鑛業原簿ニ登録ヲ受クルトキハ左ノ區別ニ從ヒ登録稅ヲ納ムヘシ

一 砂鑛權ノ設定 新規登録 採取區域 河床ハ每二里迄 其ノ他ハ每十萬坪迄 每一件 金十五圓

砂鑛區合併 每一件 金三圓

砂鑛區分割 設定砂鑛區 每一箇 金三圓

二 砂鑛權ノ變更 增區 採取區域 河床ハ每二里迄 其ノ他ハ每十萬坪迄 每一件 金十五圓

減區 但シ增區ト同時ニ爲ス減區ニ付テハ此ノ限ニ在ラス 每一件 金一圓

三 砂鑛權ノ移轉 相續 每一件 金五圓

相續以外ノ原因ニ因ル移轉 每一件 金十五圓

四 抵當權ノ設定 新規登録 債權金額 千分ノ五、五

砂鑛區ノ合併又ハ分割ノ出願ニ付砂鑛法ニ基キ爲シタル承諾又 每一件 金五圓

ハ協定ニ因ル設定 每一件 金五圓

登録稅法 一七五

五 順位ノ變更ニ因ル抵當權ノ變更
六 抵當權ノ移轉

相續

相續以外ノ原因ニ因ル移轉

七 信託ノ登録

八 滯納處分以外ノ原因ニ因ル砂鑛權又ハ抵當權ノ處分ノ制限

九 廢業ニ因ル砂鑛權ノ消滅

十 抹消シタル登録ノ回復

十一 假登録

十二 登録ノ更正、變更又ハ抹消

第十六條ノ二 債權金額ニ依リ課稅額ヲ定ムル場合ニ於テ一定ノ債權金額ナキトキハ債權ノ目的タ

ルモノ又ハ處分ノ制限ノ目的タルモノノ價格ヲ以テ債權金額ト看做シ先取特權、質權、抵當權又ハ處分ノ制限ノ目的タルモノノ價格カ債權金額ヨリ少キトキハ其ノ目的タルモノノ價格ヲ以テ債權金額ト看做ス但シ抵當アル債權ノ差押ヲ登記又ハ登録スル場合ニ於テハ差押ヘラルヘキ債權ノ額又ハ質權若ハ抵當權ノ目的タルモノノ價格カ債權金額ヨリ少キトキハ其ノ最少キモノヲ以テ債權金額ト看做ス

第十六條ノ三 管轄ヲ異ニスル登記所ニ於テ順次ニ不動産登記法第二百二十二條ノ規定ニ依ル登記ヲ受クル場合ニ於テ各登記所ニ於テ受クル登記ニ付テハ債權金額ヨリ既ニ登記ヲ受ケタルモノノ價

每一件 金十圓

每一件 金五圓

每一件 金十圓

每一件 金五圓

債權金額 千分ノ四

每一件 金一圓

每一件 金四十錢

每一件 金四十錢

每一件 金二十錢

格ヲ控除シタル殘額ヲ以テ債權金額ト看做ス

第十六條ノ四 同一ノ債權ノ爲ニ先取特權、質權又ハ抵當權ニ關シ種類ヲ異ニスル二以上ノ登記登録ヲ受クル場合ニ於ケル登録稅ニ關シテハ前條ノ規定ニ準シ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第十七條 登録稅ハ印紙ヲ以テ之ヲ納ムヘシ但シ勅令ノ定ムル所ニ依リ現金ヲ以テ之ヲ徵收スルコトヲ得

第十九條 左ニ掲クルモノニハ登録稅ヲ課セス(下略)

一 政府自己ノ爲ニスル登記又ハ登録(二號以下略)

第十九條ノ二 信託ニ因ル財產權取得ノ登記又ハ登録ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノニハ登録稅ヲ課セス

- 一 委託者ヨリ受託者ニ移ス場合ニ於ケル財產權取得ノ登記
- 二 委託者ノミカ信託財產ノ元本ノ受益者タル信託ニ因リ受託者ヨリ受益者ニ信託財產ヲ移ス場合ニ於ケル財產權取得ノ登記又ハ登録
- 三 受託者ノ更送ノ場合ニ於ケル新受託者ノ財產權取得ノ登記又ハ登録

前項第二號ノ規定ハ委託者ノ相續人ニ信託財產ヲ移ス場合ニ於テハ之ヲ適用セス此ノ場合ニ於テハ當該相續人ノ財產權取得ノ登記又ハ登録ヲ以テ相續ニ因ル財產取得ノ登記又ハ登録ト看做シ登録稅ヲ課ス

第十九條ノ四 登記又ハ登録ノ抹消又ハ錯誤若ハ遺漏カ當該官吏ノ過誤ニ出テタルトキハ其ノ回復

又ハ更正ノ登記又ハ登録ニ付テハ登録稅ヲ課セス

登錄稅法

一七七

登録税法施行規則 (抜萃)

明治三十二年五月、
勅令第二百五號

改正 昭和一五年第四六一號

- 第一條 印紙ヲ以テ納ムル登録税ハ登録ニ關スル書類ニ收入印紙ヲ貼用シテ之ヲ納ムヘシ
- 第四條 同一債權ノ爲ニ先取特權、質權又ハ抵當權ニ關シ種類ヲ異ニスルニ以上ノ登記又ハ登録ヲ受クル場合ニ於テ登記所又ハ登録官廳ニ於テ受クル登記又ハ登録ニ付テハ債權金額ヨリ既ニ登記又ハ登録ヲ受ケタルモノノ價格ヲ控除シタル殘額ヲ以テ債權金額ト看做シテ登録税ヲ徴收ス
- 前項ノ場合ニ於テ其ノ登記又ハ登録中ニ登録税法第三條ノ三又ハ第三條ノ四ニ該當スルモノト其ノ他ノモノトヲ包含スルトキハ先ツ登録税法第三條ノ三又ハ第三條ノ四ニ該當スルモノノ登記又ハ登録ニ付登録税ヲ徴收ス

鑛業登録令

明治三十八年六月、
勅令第百八十三號

改正 明治四二年第一六三號、大正一一年第五一四號、
昭和四年第三一五號、一六年第五八四號

第一章 總 則

- 第一條 鑛業ニ關スル登録ハ鑛山監督局ニ於テ之ヲ爲ス
- 第二條 同一ノ鑛業權ニ關シテ登録シタル權利ノ順位ニ付法令ニ別段ノ定ナキトキハ其ノ順位ハ登録ノ前後ニ依ル
- 第三條 附記登録ノ順位ハ主登録ノ順位ニ依ル但シ附記登録間ノ順位ハ其ノ前後ニ依ル
- 第四條 假登録ヲ爲シタルモノニ付本登録ヲ爲シタル場合ニ於テハ其ノ順位ハ假登録ノ順位ニ依ル

第二章 鑛業原簿

- 第五條 鑛業原簿ハ試掘原簿、探掘原簿ノ二種トス
共同鑛業權者ニ付テハ共同人名簿、鑛區圖ニ付テハ鑛區圖綴込帳、信託ニ付テハ鑛業信託原簿ヲ設ケ鑛業原簿ノ一部トス
- 第六條 何人ト雖手數料ヲ納付シテ鑛業原簿ノ謄本、抄本ノ交付ヲ請求シ又ハ鑛業原簿若ハ其ノ附屬書類ノ閱覽ヲ請求スルコトヲ得
- 第七條 鑛業原簿ノ全部又ハ一部カ滅失シタル場合ニ於テ其ノ調製ニ關スル手續ハ商工大臣之ヲ定ム
- 前項ニ依リテ調製シタル原簿ハ滅失前ノ鑛業原簿ト看做ス

- 第八條 前條鑛業原簿ノ調製ヲ終リタルトキハ其ノ登録ノ謄本又ハ抄本ヲ登録名義人ニ交付スルコ

鑛業登録令

トヲ要ス

第三章 登録手續

第一節 通 則

第九條 登録ハ法令ニ別段ノ定アル場合ヲ除クノ外申請、囑託又ハ命令アルニ非サレハ之ヲ爲スコトヲ得ス

囑託又ハ命令ニ因ル登録ノ手續ニ付テハ法令ニ別段ノ定アル場合ヲ除クノ外申請ニ因ル登録ニ關スル規定ヲ準用ス

第十條 登録ハ登録權利者及登録義務者又ハ其ノ代理人出頭シ又ハ書留郵便ヲ以テ申請スルコトヲ要ス

第十一條 判決若ハ相續其ノ他ノ一般承繼ニ因ル登録又ハ死亡ニ因ル共同鑛業權者ノ脱退ノ登録ハ登録權利者ノミニテ之ヲ申請スルコトヲ得

第十二條 登録名義人ノ表示ノ變更又ハ更正ノ登録ハ登録名義人ノミニテ之ヲ申請スルコトヲ得

第十三條 左ノ登録ニ付テハ官廳又ハ公署ハ囑託書ニ登録原因ヲ證スル書面ヲ添附シテ囑託スルコトヲ要ス

- 一 處分ノ制限ノ登録
- 二 公賣處分ニ因ル鑛業權移轉ノ登録

第十四條 鑛業權ヲ取消シタルトキ又ハ取消處分ノ取消ヲ爲シタルトキハ商工大臣ハ其ノ登録ヲ命スルコトヲ要ス

第十五條 登録ヲ申請スルニハ左ノ書類ヲ提出スルコトヲ要ス

- 一 申請書
 - 二 登録原因ヲ證スル書面
 - 三 登録原因ニ付第三者ノ許可、同意又ハ承諾ヲ要スルトキハ之ヲ證スル書面
 - 四 代理人ニ依リテ登録ヲ申請スルトキハ其ノ權限ヲ證スル書面
- 採掘權ノ設定、變更ニ關スル試掘權ノ抹消登録ノ申請又ハ共同鑛業ノ場合ヲ除クノ外廢業登録ノ申請ニ付テハ前項第二號ノ書面ヲ提出スルコトヲ要セス
- 登録原因ヲ證スル書面カ執行力アル判決ナルトキハ第一項第三號ニ掲ケタル書面ヲ提出スルコトヲ要セス

國、法人ノ代表者又ハ共同鑛業ノ代表者ニ依リテ申請スル場合ニ於テハ第一項第四號ノ書面ヲ提出スルコトヲ要セス

第十六條 申請書ニハ左ノ事項ヲ記載シ申請人之ニ署名捺印スルコトヲ要ス

- 一 鑛區所在地
- 二 鑛業權ノ登録番號

鑛業登録令

- 三 申請人ノ氏名又ハ名稱及住所
- 四 代理人又ハ代表者ニ依リテ登録ヲ申請スルトキハ其ノ氏名及住所
- 五 登録原因及其ノ日附
- 六 登録ノ目的
- 七 年月日

第三十條第二項ノ規定ニ依ル抵當權設定ノ申請ニ付テハ前項第二號ノ記載ヲ要セス
前條第二項ノ申請ニ付テハ第一項第五號ノ記載ヲ要セス

第十六條ノ二 債權者カ民法第四百二十三條ノ規定ニ依リ債務者ニ代位シテ登録ヲ申請スルニハ第十五條第一項ニ掲ケタル書面ノ外代位原因ヲ證スル書面ヲ提出シ且申請書ニ第十六條第一項ニ記載シタル事項ノ外債權者ノ氏名又ハ名稱及住所並代位ノ原因ヲ記載シ之ニ署名捺印スルコトヲ要ス

第十七條 左ノ場合ニ於テハ申請人ハ申請書ニ其ノ事實ヲ證スル戸籍若ハ登記簿ノ謄本若ハ抄本又ハ之ヲ證スルニ足ルヘキ書面ヲ添附スルコトヲ要ス

- 一 申請人カ相續人其ノ他ノ一般承繼人ナルトキ
- 二 登録名義人カ其ノ表示ノ變更又ハ更正ノ登録ヲ申請スルトキ
- 三 死亡ニ因ル共同鑛業權者脱退ノ登録ヲ申請スルトキ

第十八條 申請書ニ第三者ノ許可、同意又ハ承諾ヲ證スル書面ヲ添附スルコトヲ要スル場合ニ於テハ其ノ第三者ヲシテ申請書ニ署名捺印セシメテ其ノ書面ニ代フルコトヲ得

第十九條 同一鑛山監督局ノ管轄ニ屬スル數個ノ鑛區ニ關シ抵當權ノ設定ノ登録ヲ申請スル場合ニ於テハ登録原因及登録ノ目的カ同一ナルトキニ限り同一ノ申請書ヲ以テ登録ヲ申請スルコトヲ得前項ノ規定ハ鑛業權又ハ抵當權ノ處分ノ制限ノ登録ヲ囑託スル場合ニ之ヲ準用ス

第二十條 登録ハ受附ノ順序ニ從ヒテ之ヲ爲スコトヲ要ス

第二十一條 左ノ場合ニ於テハ登録ノ申請ハ之ヲ受理セス

- 一 事件カ管轄ニ屬セサルトキ
- 二 事件カ登録スヘキモノニ非サルトキ
- 三 當事者カ出頭セス又ハ申請書ヲ書留郵便ヲ以テ差出ササルトキ
- 四 申請書カ方式ニ適合セサルトキ
- 五 申請書ニ掲ケタル鑛業權又ハ抵當權ノ表示カ鑛業原簿ト抵觸スルトキ
- 六 第十七條第一號ノ場合ヲ除クノ外申請書ニ掲ケタル登録義務者及共同鑛業代表者ノ表示カ鑛業原簿ト符合セサルトキ又ハ申請人タル者カ登録名義人タル場合ニ於テ其ノ表示カ鑛業原簿ト符合セサルトキ

七 申請書ニ掲ケタル事項カ登録原因ヲ證スル書面ト符合セサルトキ

八 申請ニ必要ナル書面ヲ提出セサルトキ
九 登録稅ヲ納付セサルトキ

第二十二條 登録名義人ノ表示ノ變更若ハ更正ノ登録又ハ共同鑛業權者脫退及其ノ代表者變更ノ登録ハ附記ニ依リテ之ヲ爲ス

第二十三條 行政區畫又ハ其ノ名稱ノ變更アリタルトキハ鑛業原簿ニ記載シタル行政區畫又ハ其ノ名稱ハ當然之ヲ變更シタルモノト看做ス大字若ハ字又ハ其ノ名稱ノ變更アリタルトキ亦同シ
前項ノ變更アリタルトキハ鑛山監督局長ハ鑛業權ノ表示ニ付テハ其ノ變更ヲ記載スルコトヲ要ス

第二十四條 登録ヲ完了シタル後其ノ登録ニ付錯誤又ハ遺漏アルコトヲ發見シタルトキハ其ノ旨ヲ登録權利者及登録義務者ニ通知スルコトヲ要ス

第十六條ノ二ノ場合ニ於テハ債權者ニ對シテモ亦之ヲ爲スコトヲ要ス
錯誤又ハ遺漏カ鑛業權ノ表示ニ關スル登録ニ係ルトキハ更正ノ登録ヲ爲シタル後前項ノ通知ヲナスコトヲ要ス

錯誤又ハ遺漏カ前項以外ノ登録ニ係ルトキハ登録更正ノ申請アリタル場合ニ於テ登録上利害ノ關係ヲ有スル第三者ナキトキ又ハ申請書ニ登録上利害ノ關係ヲ有スル第三者ノ承諾書若ハ之ニ對抗スルコトヲ得ヘキ裁判ノ謄本ヲ添附シタルトキニ限り附記ニ依リ更正ノ登録ヲ爲ス

第二十五條 抹消シタル登録ノ回復ヲ申請スル場合ニ於テ登録上利害ノ關係ヲ有スル第三者アルトキハ申請書ニ其ノ承諾書又ハ之ニ對抗スルコトヲ得ヘキ裁判ノ謄本ヲ添附スルコトヲ要ス

第二十六條 申請書其ノ他登録ニ關スル書面ヲ作ルニハ字畫明瞭ナルコトヲ要ス
金錢其ノ他ノ物ノ數量、年月日及番號ヲ記載スルニハ壹、貳、參、拾ノ文字ヲ用ウルコトヲ要ス

文字ハ之ヲ改竄スルコトヲ得ス若シ訂正、挿入又ハ削除ヲ爲シタルトキハ其ノ字數ヲ欄外ニ記載シ又ハ文字ノ前後ニ括弧ヲ附シ之ニ捺印シ其ノ削除ニ係ル文字ハ尙讀得ヘキ爲字體ヲ存スルコトヲ要ス

第二節 鑛業權ニ關スル登録手續

第二十七條 鑛業ノ出願許可スヘキモノト決定シタル場合ニ於テ登録稅ノ納付アリタルトキハ鑛山監督局長ハ鑛業權ノ設定又ハ變更ノ登録ヲ爲スコトヲ要ス鑛業權ノ表示ノ變更又ハ鑛種名更正ニ依ル表示ノ更正ノ場合亦同シ

第二十八條 破産又ハ禁治産ニ因ル共同鑛業權者脫退ノ登録ハ登録權利者又ハ登録義務者ノミニテ之ヲ申請スルコトヲ得

第二十九條 削除
第三十條 鑛業法第三十五條第二項ノ場合ニ於テ探掘權設定ノ登録ヲ爲サムトスルトキハ其ノ旨ヲ抵當權者ニ通知スルコトヲ要ス

前項ノ抵當權者ハ其ノ通知ヲ受ケタル日ヨリ三十日以内ニ抵當權設定ノ登録ヲ申請スルコトヲ要ス此ノ場合ニ於テハ抵當權ノ順位ハ協定ノ順位ニ依ル
前項ノ申請ニ付テハ最後ニ通知ヲ受ケタル者ニ對スル前項ノ期間滿了ノ日ノ翌日ニ於テ探掘權設定ノ登録ト共ニ其ノ登録ヲ爲スコトヲ要ス

期間滿了前ト雖總抵當權者ノ申請アリタルトキハ直ニ前項ノ手續ヲ爲スコトヲ要ス
第三節 抵當權ニ關スル登録手續

第三十一條 鑛業法第三十五條第二項ニ基キ爲シタル承諾及協定ニ因ル抵當權設定ノ登録ハ登録權利者ノミニテ之ヲ申請スルコトヲ得

第三十二條 抵當權設定ノ登録ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ債權額ヲ記載シ若シ登録原因ニ辨濟期ノ定アルトキ、利息ニ關スル定アルトキ、其ノ發生期若ハ支拂時期ノ定アルトキ又ハ債權ニ條件ヲ附シタルトキハ之ヲ記載スルコトヲ要ス

第三十三條 抵當權設定ノ登録ヲ申請スル場合ニ於テ設定者カ債務者ニ非ラサルトキハ申請書ニ債務者ノ表示ヲ爲スコトヲ要ス

抵當權移轉ノ登録ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ抵當權カ債權ト共ニ移轉スルヤ否ヲ記載スルコトヲ要ス

第三十四條 一定ノ金額ヲ目的トセサル債權ノ擔保タル抵當權設定ノ登録ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ其ノ債權ノ價格ヲ記載スルコトヲ要ス

第三十五條 債權ノ一部ノ讓渡又ハ代位辨濟ニ因ル抵當權移轉ノ登録ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ讓渡又ハ代位辨濟ノ目的タル債權額ヲ記載スルコトヲ要ス

第三十六條 抵當權變更ノ登録ノ申請アリタル場合ニ於テハ登録上利害ノ關係ヲ有スル第三者ナキトキ又ハ申請書ニ登録上利害ノ關係ヲ有スル第三者ノ承諾書若ハ之ニ對抗スルコトヲ得ヘキ裁判ノ謄本ヲ添附シタルトキニ限り附記ニ依リ變更ノ登録ヲ爲ス

第三十七條 抵當權ノ移轉、順位ノ變更ニ因ル抵當權ノ變更及其ノ處分ノ制限ノ登録ハ附記ニ依リテ之ヲ爲ス

第四節 抹消ニ關スル登録手續

第三十八條 期限ノ滿了ニ因リ鑛業權カ消滅シタルトキハ其ノ原因ヲ記載シ抹消ノ登録ヲ爲スコトヲ要ス

第三十九條 廢業ニ因ル鑛業權消滅ノ登録ハ登録權利者ノミニテ之ヲ申請スルコトヲ得

第四十條 鑛區ノ合併又ハ分割ニ因ル採掘權設定ノ登録ヲ爲シタルニ因リ其ノ合併又ハ分割前ノ採掘權消滅シタルトキハ其ノ原因ヲ記載シテ抹消ノ登録ヲ爲スコトヲ要ス

第四十一條 抵當權ノ登録アル採掘權ニ關シ廢業ニ因ル抹消ノ申請アリタルトキハ抹消ノ登録ヲ爲スト同時ニ競賣ノ目的ノ範圍内ニ於テ仍存續スル旨ヲ記載スルコトヲ要ス

抵當權者競賣ノ請求ヲ爲ササルトキ又ハ競賣申立ノ登録アリタル場合ニ於テ其ノ登録抹消ノ囑託アリタルトキハ其ノ旨ヲ登録シタル後存續ニ關スル記載ヲ抹消スルコトヲ要ス

第四十二條 前條ノ規定ハ鑛業法第三十八條第一項及第三十九條ノ規定ニ依ル場合ヲ除クノ外抵當權ノ登録アル採掘權取消ニ因ル抹消ノ命令アリタル場合ニ之ヲ準用ス

第四十三條 抵當權カ人ノ死亡ニ因リテ消滅シタル場合ニ於テ申請書ニ其ノ死亡ヲ證スル戶籍ノ謄本其ノ他之ニ相當スル書面ヲ添附スルトキハ登録權利者ノミニテ登録ノ抹消ヲ申請スルコトヲ得

第四十四條 登録權利者カ登録義務者ノ行方ノ知レサルニ因リ之ト共ニ登録ノ抹消ヲ申請スルコト能ハサルトキハ民事訴訟法ノ規定ニ從ヒテ公示催告ノ申立ヲ爲スコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ除權判決アリタルトキハ申請書ニ其ノ謄本ヲ添附シ登録權利者ノミニテ登録ノ抹消ヲ申請スルコトヲ得第一項ノ場合ニ於テ申請書ニ債權證書、債權ノ受取證書並民法第三百七

十四條ノ規定ニ依リ抵當權ヲ行フコトヲ得ル定期金及損害賠償ノ受取證書ヲ添附シタルトキハ登録權利者ノミニテ抵當權ニ關スル登録ノ抹消ヲ申請スルコトヲ得

第四十五條 廢業ニ因ル場合ヲ除ク外登録ノ抹消ヲ申請スル場合ニ於テ其ノ抹消ニ付登録上利害ノ關係ヲ有スル第三者アルトキハ第二十五條ノ規定ヲ準用ス

廢業ニ依ル登録ノ抹消ヲ申請スル場合ニ於テ假登録又ハ豫告登録ヲ爲シタル第三者アルトキハ申請書ニ其ノ承諾書又ハ之ニ對抗スルコトヲ得ヘキ裁判ノ謄本ヲ添附スルコトヲ要ス

第四十六條 第十三條ノ規定ニ依リ公賣處分ニ因ル鑛業權移轉ノ登録ノ囑託アリタル場合ニ於テハ處分ノ制限ノ登録ヲ抹消シ若シ抵當權ノ登録アルトキハ其ノ登録ヲ抹消スルコトヲ要ス

第五節 信託ニ關スル登録手續

第四十七條 鑛業權ノ信託ノ登録ニ付テハ受託者ヲ登録權利者トシ委託者ヲ登録義務者トス

第四十八條 信託法第十四條ノ規定ニ依リテ信託財産ニ屬スル鑛業權ノ信託ノ登録ハ受託者ノミニテ之ヲ申請スルコトヲ得

前項ノ規定ハ信託法第二十七條ノ規定ニ基ク信託財産ノ復舊ノ場合ニ之ヲ準用ス

第四十九條 受益者又ハ委託者ハ受託者ニ代位シテ信託ノ登録ヲ申請スルコトヲ得

第五十條 信託ノ登録ノ申請ハ信託ニ因ル鑛業權移轉ノ登録ノ申請ト同一ノ書面ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ要ス但シ前條ノ規定ニ依リテ受益者又ハ委託者カ受託者ニ代位シテ信託ノ登録ヲ申請スル場

合ハ此ノ限ニ在ラス

前項ノ規定ハ信託法第十四條ノ規定ニ依リテ信託財産ニ屬スル鑛業權ノ信託ノ登録ヲ申請スル場合ニ之ヲ準用ス

第五十一條 受託者更迭ノ場合ニ於テ鑛業權移轉ノ登録ヲ申請スルニハ申請書ニ其ノ更迭ヲ證スル書面ヲ添附スルコトヲ要ス

前項ノ規定ハ信託法第五十條第二項ノ場合ニ於テ爲スヘキ變更ノ登録ニ之ヲ準用ス

第五十二條 受託者ノ任務カ死亡、破産、禁治産、準禁治産又ハ裁判所若ハ主務官廳ノ解任命令ニ因リテ終了シタルトキハ前條ノ登録ハ新受託者又ハ他ノ受託者ノミニテ之ヲ申請スルコトヲ得受託者タル法人ノ任務カ解散ニ因リテ終了シタルトキ亦同シ

第五十三條 信託ノ登録ノ申請書ニハ第十六條ニ掲クル事項ノ外左ノ事項ヲ記載スルコトヲ要ス

- 一 委託者、受託者、受益者及信託管理人ノ氏名又ハ名稱及住所
- 二 信託ノ目的
- 三 信託財産ノ管理方法
- 四 信託終了ノ事由
- 五 其ノ他信託ノ條項

前項ニ掲クル事項ハ職權ヲ以テ鑛業信託原簿ニ之ヲ登録スルコトヲ要ス

第五十四條 裁判所カ信託管理人ヲ選任シ又ハ解任シタルトキハ遲滞ナク鑛業信託原簿ノ登録ヲ鑛山監督局長ニ囑託スルコトヲ要ス主務官廳カ信託管理人ヲ選任シタルトキ亦同シ